オキカラーページプリンタ

MICROLINE 5300

ユーザーズマニュアル
（リファレンス編）

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 5300 → ML5300
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0、の総称→ Windows
- PostScript3 エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POST-SCRIPT3 EMULATION

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriter および TrueType は、米国 Apple Computer Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1．本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2．本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4．本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行なってはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2003 Oki Data Corporation

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Acrobat Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

本ソフトウェアに含まれている Windows Me/98/95 用 PostScript® プリンタドライバ、Windows NT4.0 用 PostScript® プリンタドライバ、Windows Me/98 用 USB ドライバおよびそれに関連する説明資料（以下総称して、「マイクロソフトソフトウェア」といいます。）は、米国ワシントン州法に準拠して設立され、米国ワシントン州（One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399）に本店を置く Microsoft Corporation（マイクロソフト社）からのライセンスに基づいて沖データが提供するものです。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2)第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4)お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
   (5)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   (1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
   (1)沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
   ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
   ・第三者の権利を侵害していないこと。
   ・特定の目的に適合していること。
   (2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
本契約中のうち、マイクロソフトソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国ワシントン州法を準拠法とし、マイクロソフトソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users(米国政府機関のエンドユーザへの注意)
All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Acrobat Reader の使用について
Acrobat Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Acrobat Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社から Acrobat Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

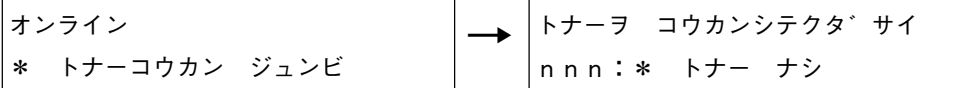
1 メンテナンスをします

1章

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

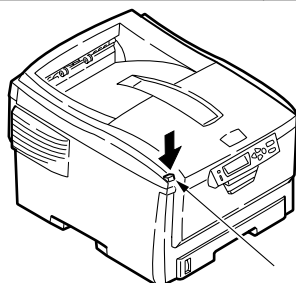
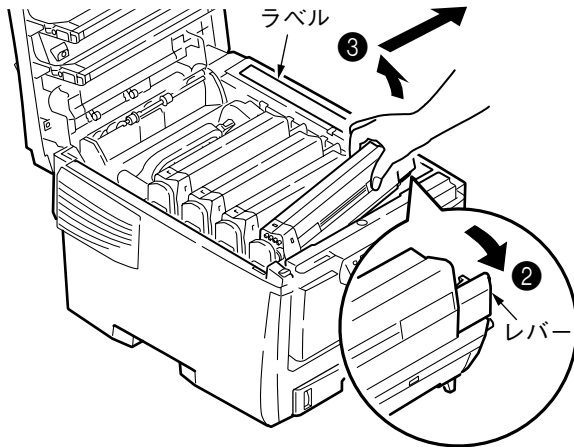
トナーが少なくなると操作パネルに［＊　トナーコウカン　ジュンビ］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度の場合（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4サイズの用紙（片面印刷時）で約5,000枚です。新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときには、交換の目安の枚数は約2/3になります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

オンライン ＊　トナーコウカン　ジュンビ	→	トナーヲ　コウカンシテクダ゛サイ ｎｎｎ：＊　トナー　ナシ

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、A4 5%の印刷密度の場合、約1,500枚印刷可能です。
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、必ずトナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- 純正品以外のトナーカートリッジを使用して不具合が発生した場合は、当社の保証範囲外となります。

トナーカートリッジを交換します

1 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

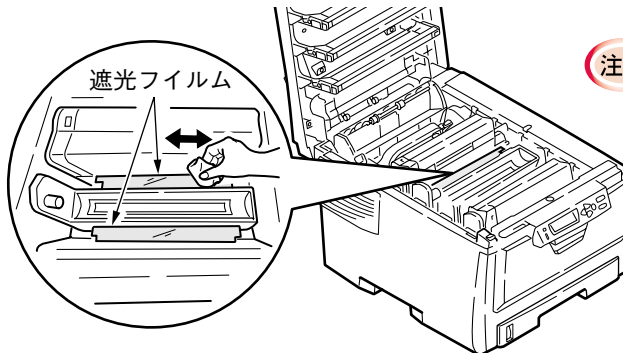
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

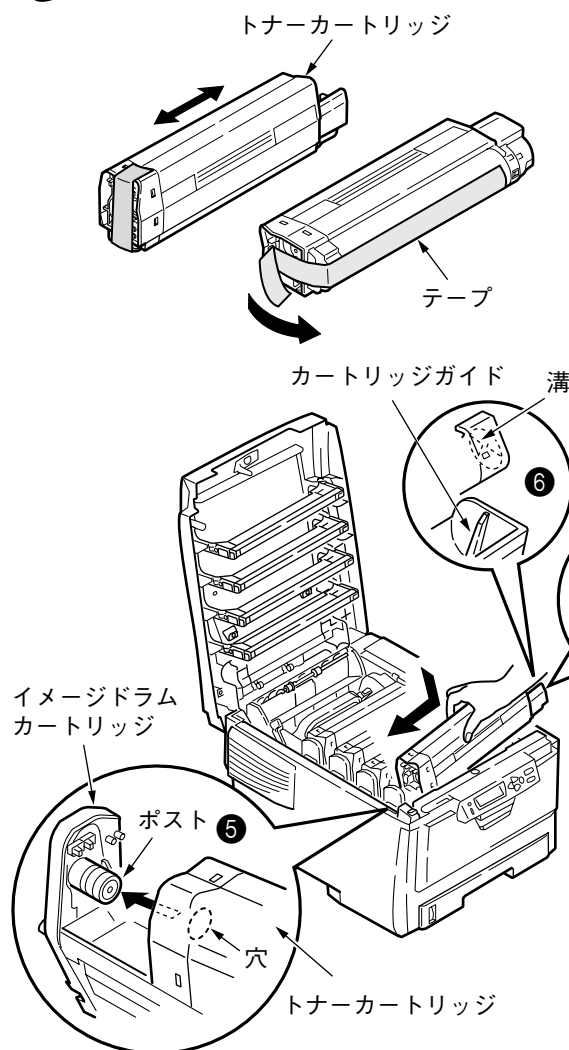
❸ トナーカートリッジのレバー側をゆっくり持ち上げ、いったん力を緩めてから、横にずらすようにして取り出します。

注 トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。

メモ 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(375ページ) をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

注 トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LEDレンズにトナーがつく可能性がります。LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパで拭きとってください。

1
章

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

注 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

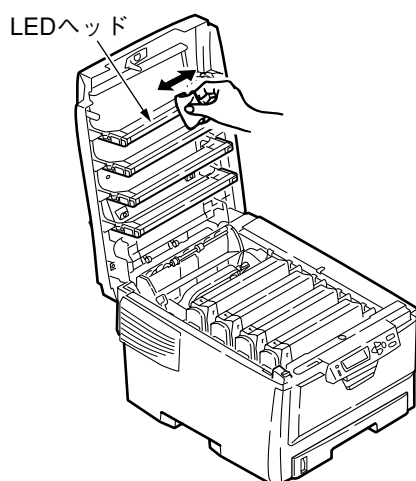
❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

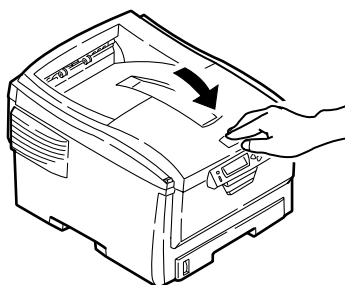
1章

4 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ

LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

5 トップカバーを閉じます。

- トナーカートリッジの交換後に、操作パネルの［トナーコウカン　ジュンビ］または［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- 操作パネルに「トナーセンサエラー」が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされ、トナーカートリッジのレバーが止まるまで回されているか確認してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに［＊　ドラムコウカン　ジュンビ］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［ドラムヲ　コウカンシテクダサイ］を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 15,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に3枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約 22,000 枚に相当します。）

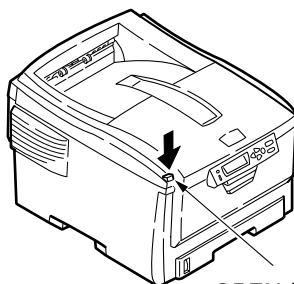
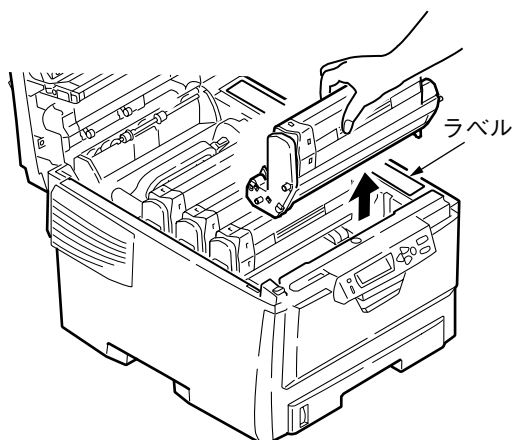
オンライン ＊　ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	→	ﾄﾞﾗﾑｦ　ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ nnn：＊　ﾄﾞﾗﾑ　ｼﾞｭﾐｮｳ

- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 「ドラムヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- 純正品以外のイメージドラムカートリッジを使用して不具合が発生した場合は、当社の保証範囲外となります。

イメージドラムカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

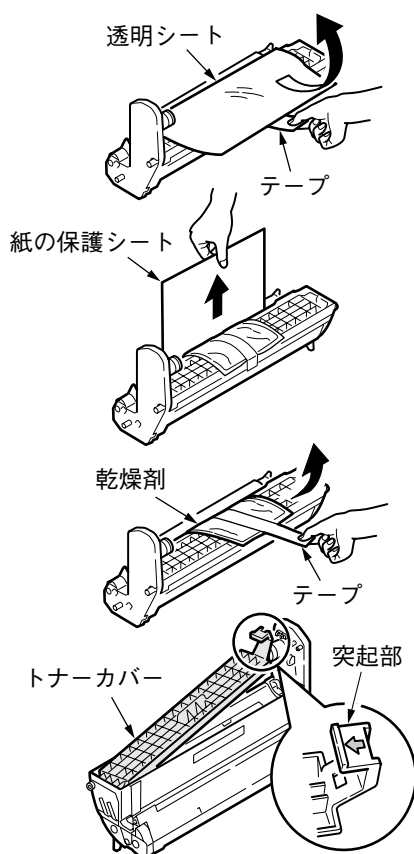
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ イメージドラムカートリッジを取り出します。イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

メモ　使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(375ページ) をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムカートリッジをセットします。

❶ 新しいイメージドラムカートリッジを包装袋から取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

注　新しいイメージドラムカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸ イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印方向に引き抜きます。

❹ テープをはがし、乾燥剤を取り除きます。

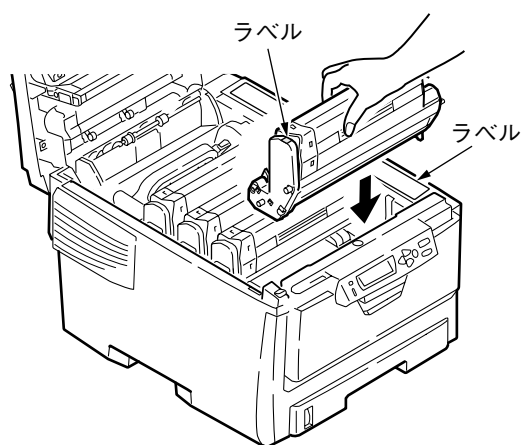
❺ 突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ　トナーカバーは不燃物として処理してください。

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

詳しくは「トナーカートリッジを交換します」（14ページ）をご覧ください。

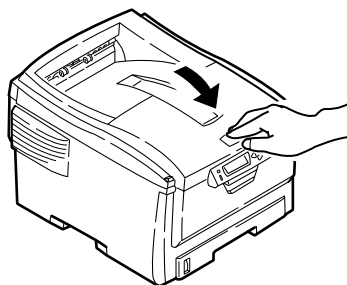
今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

❷ イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

ベルトユニットを交換します

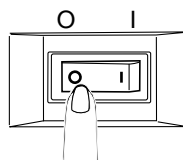
ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに［ベルト　コウカン　ジュンビ］のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［ベルトヲ　コウカンシテクダサイ］を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。
ベルトユニット交換の目安は、A4サイズの用紙（片面印刷時）で約50,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に3枚ずつ）の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

オンライン ヘ゛ルト　コウカン　シ゛ュンヒ゛		ヘ゛ルトヲ　コウカンシテクタ゛サイ nnn：ヘ゛ルト　シ゛ュミョウ

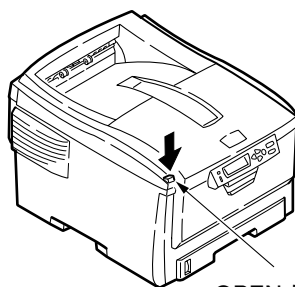
「ベルトヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、ベルトユニットの故障やプリンタの故障の原因となりますので、早めに交換してください。

ベルトユニットを交換します

1 プリンタの電源をOFFにします。

2 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

1章

3 使用済みのベルトユニットを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

❸ ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

メモ
- 使用済みのベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（375ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

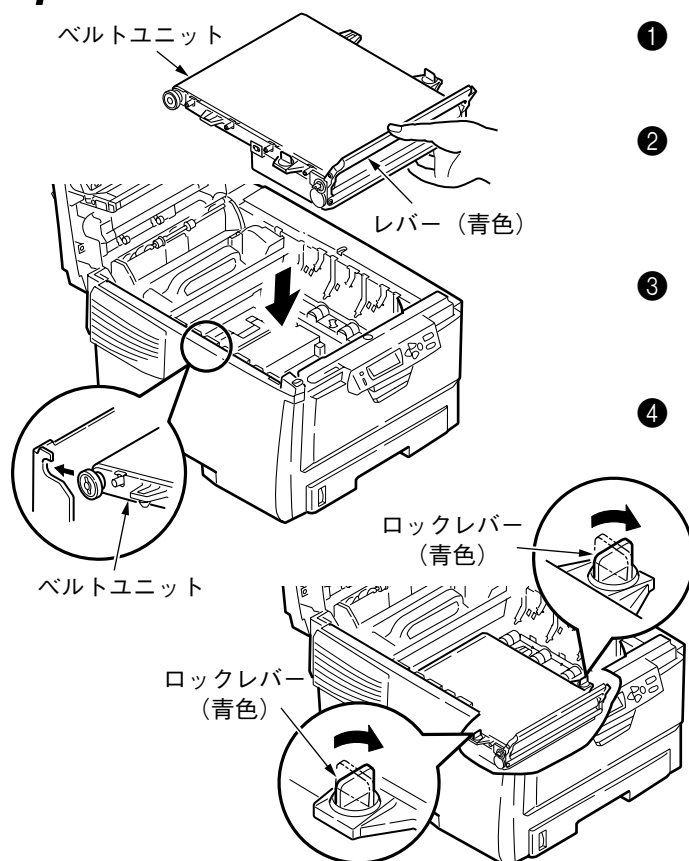
注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいベルトユニットをセットします。

ベルトユニット

レバー（青色）

ベルトユニット

ロックレバー
（青色）

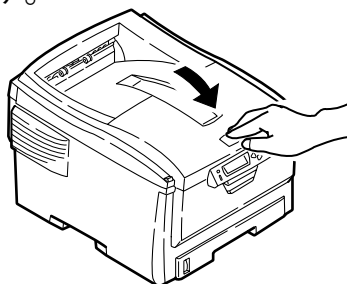
ロックレバー
（青色）

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、ベルトユニットをセットします。

❸ ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かにプリンタに戻します。

5 トップカバーを閉じます。

注 イメージドラムカートリッジがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。

定着器ユニットを交換します

定着器ユニット交換の目安

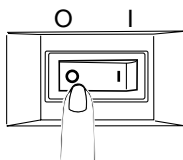
定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに［テイチャクキ　コウカン　ジュンビ］のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに［テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ］のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 45,000 枚です。

オンライン テイチャクキ　コウカン　ジ゛ュンヒ゛

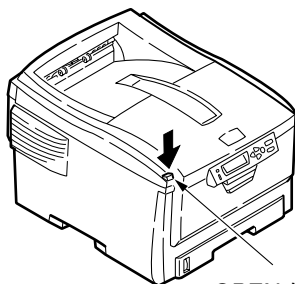
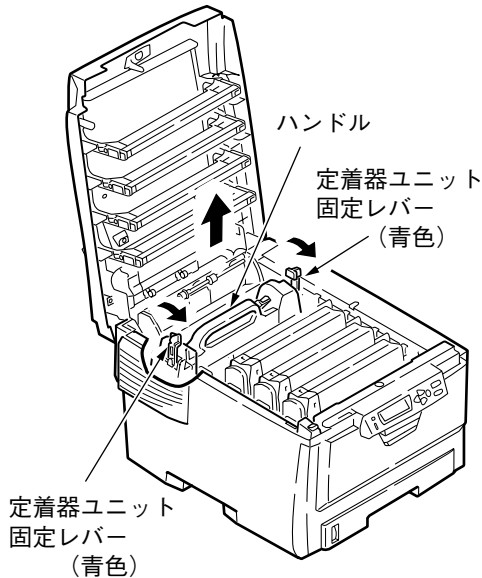
テイチャクキヲ　コウカンシテクタ゛サイ ３５４：テイチャクキ　ジ゛ュミョウ

「テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、定着器ユニットの故障や紙づまりの原因となりますので、早めに交換してください。

定着器ユニットを交換します

1　プリンタの電源を OFF にします。

2　OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

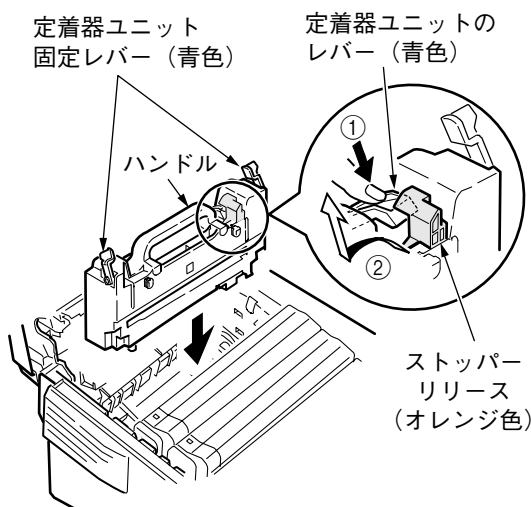
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意 やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

メモ 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（375ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

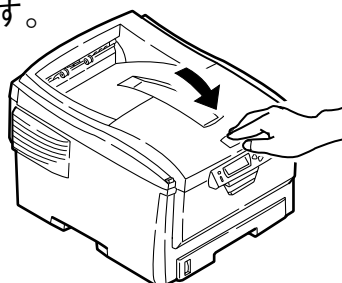
4 新しい定着器ユニットをセットします。

❶ 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

❷ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパーリリース（オレンジ色）を矢印②の方向へ取り外します。

注 ストッパーリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。

❸ 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

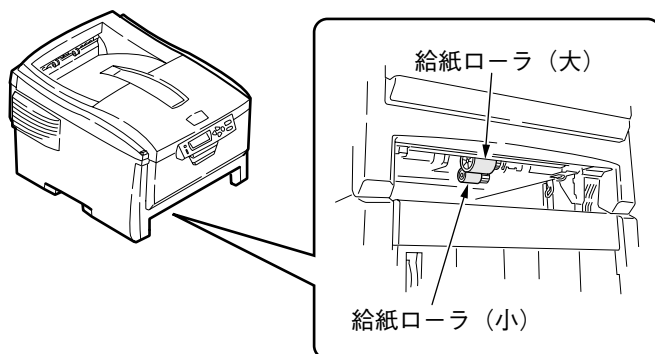
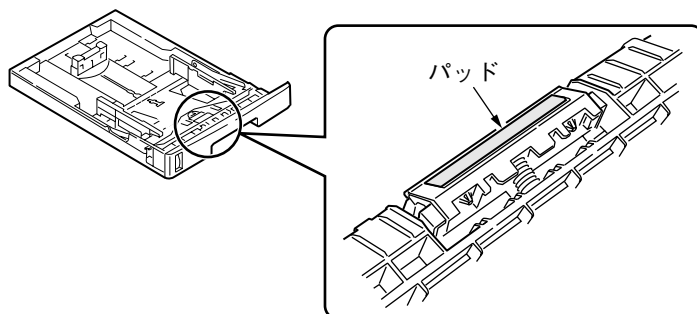
❹ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

5 トップカバーを閉じます。

給紙ローラとパッドを清掃します

［391：ヨウシ　ジャム］が頻発する場合に行ってください。

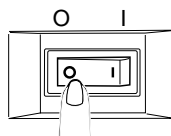
1 用紙カセットを引き出します。

2 給紙ローラ（大）、給紙ローラ（小）を、水を含ませてかたく絞った布またはLEDレンズクリーナで拭きます。

メモ　LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

3 用紙カセットのパッド部分を、水を含ませてかたく絞った布またはLEDレンズクリーナで拭きます。

- ［392：ヨウシ　ジャム］が頻発する場合はセカンドトレイ（オプション）を同様に清掃してください。
- ［390：チェックMPトレイ］が頻発する場合は、マルチパーパストレイの給紙ローラを同様に清掃してください。

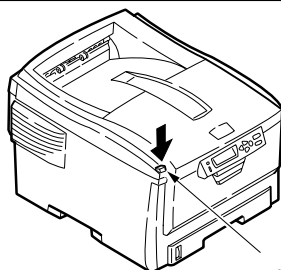
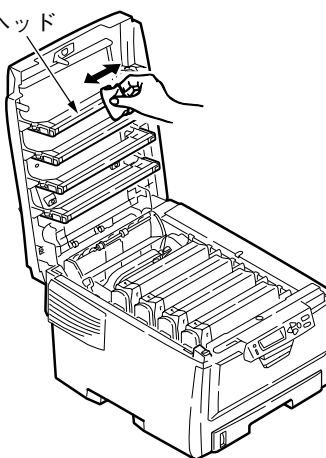
LEDヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1　プリンタの電源をOFFにします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

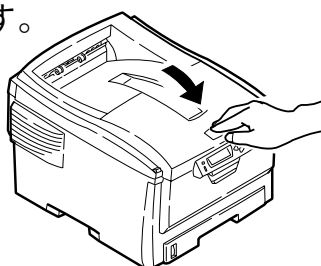
2　OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3　LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面（4ヶ所）を軽く拭きます。

注　メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ　LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

4　トップカバーを閉じます。

1章

色ずれ補正調整をします

プリンタは電源をONにしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき400枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［カラー　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［ジドウ　イロズレ　ホセイ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

［オンライン／カラー　チョウセイチュウ］と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。

濃度補正調整をします

プリンタは新しいイメージドラムカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき500枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［カラー　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

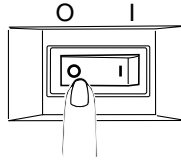
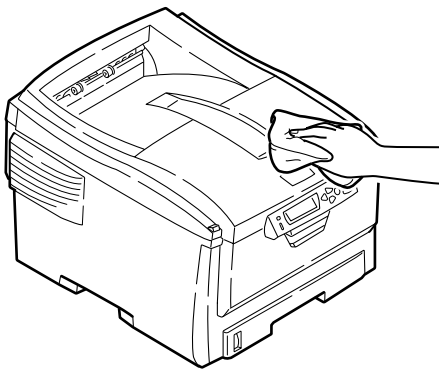
❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［ノウド　ホセイ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

［オンライン／ノウド　ホセイチュウ］と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

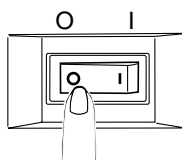
1章

プリンタを輸送するとき

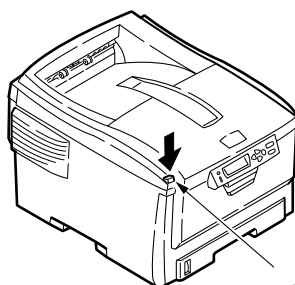
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

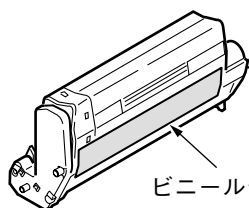
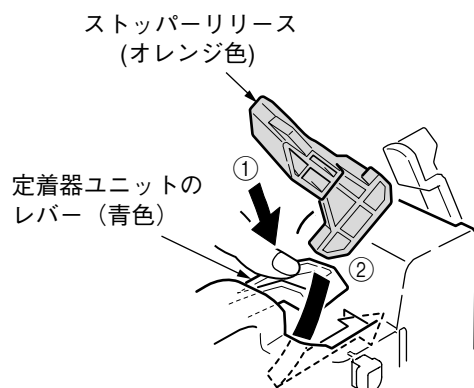
1 プリンタの電源をOFFにし、次の部品を取り外します。

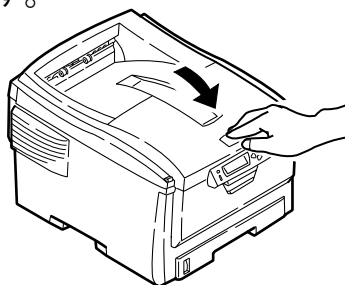
メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 トップカバーを開け、イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

注　プリンタにイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 定着器ユニットにストッパーリリースを取り付けます。

❶ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、矢印②の方向にストッパーリリース（オレンジ色）を取り付けます。

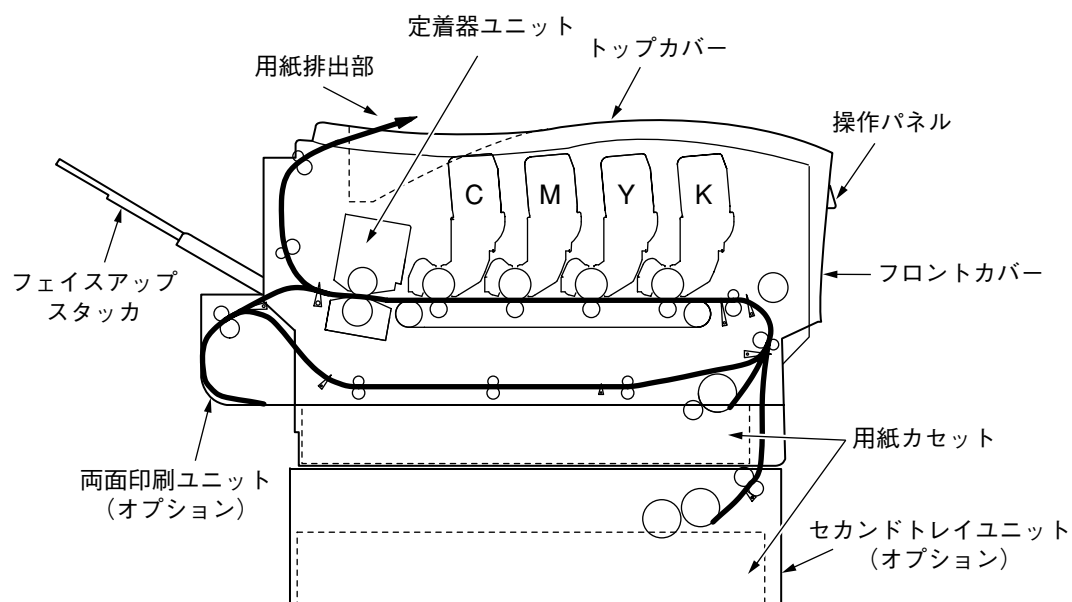
5 トップカバーを閉じます。

6 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

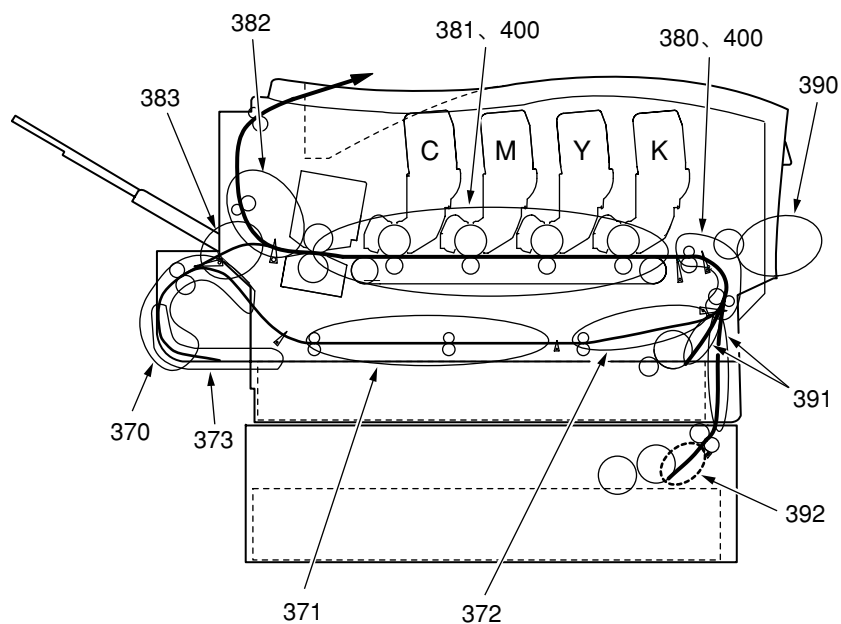
注 プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

メモ プリンタを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがし、ストッパーリリースを取り外してください。

2 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると操作パネルに［ヨウシ　ジャム］メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード

紙づまりの場所がエラーコードで表示されるので、場所を確認します。

1　つまった用紙を取り除きます。

フロントカバー部（コード：372、380、390、391、400）

フロントカバーを開け、用紙の先端および後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

後端が見える場合

用紙

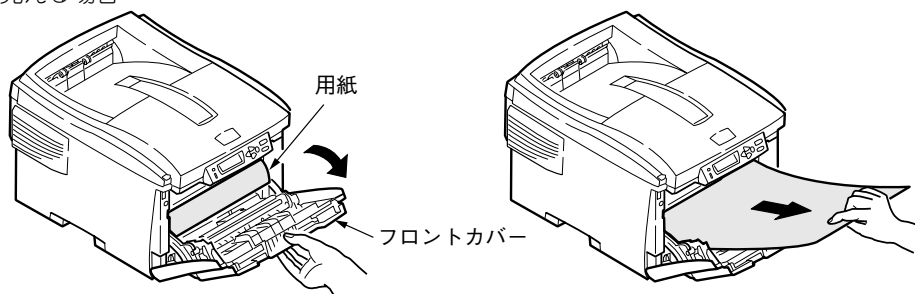
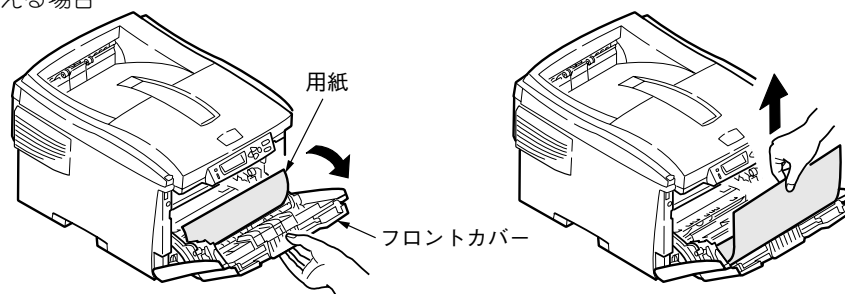
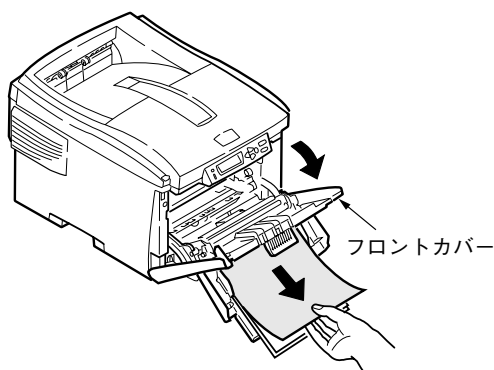
フロントカバー

先端が見える場合

用紙

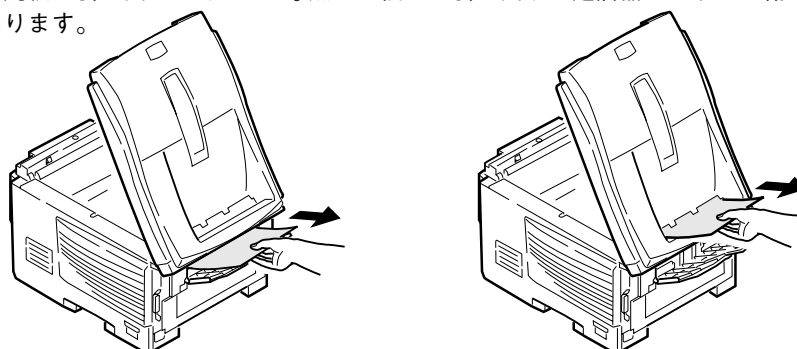
フロントカバー

先端が見えない場合

フロントカバー

用紙排出部（コード：382）

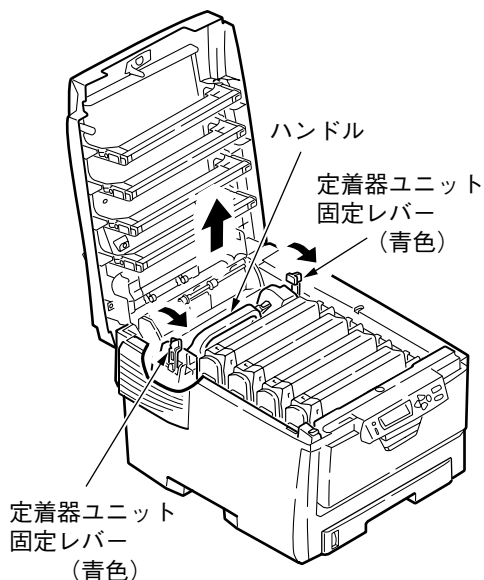
排出口から用紙をゆっくり引き出します。

注 用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

2
章

定着器ユニット部（コード：381、382、383）

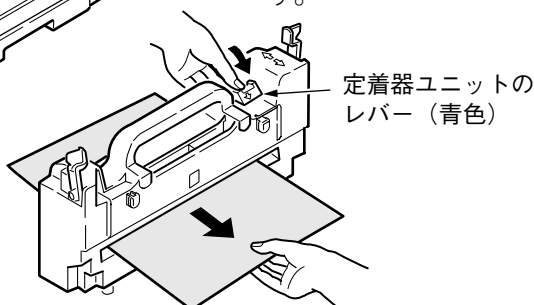
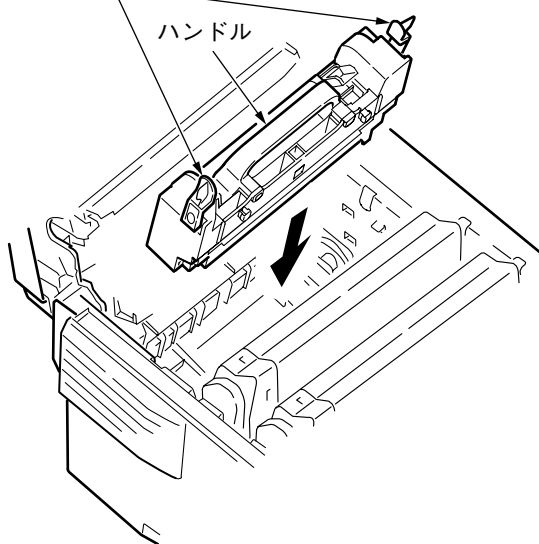
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

ハンドル
定着器ユニット
固定レバー
（青色）
定着器ユニット
固定レバー
（青色）

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

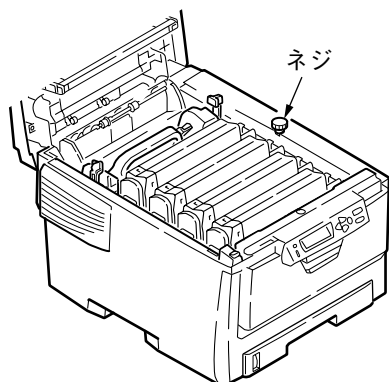
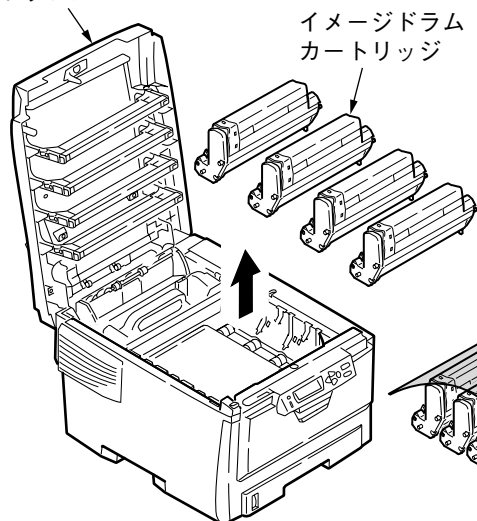
❷ ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印の方向に押しながら､つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

定着器ユニットの
レバー（青色）

定着器ユニット
固定レバー（青色）
ハンドル

❹ ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

❺ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

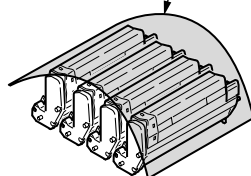
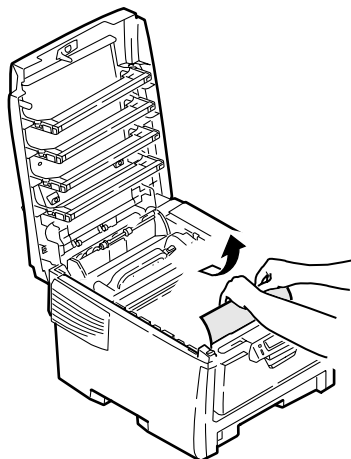
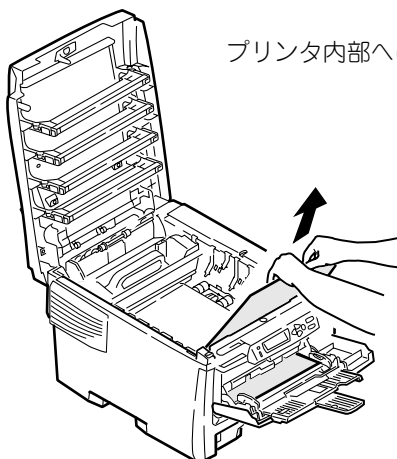
注 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、メニューマップ印刷（「現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）」（253ページ））、白紙等を数回印刷してください。

つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

❶ ネジに手を触れて静電気を逃がします。

❷ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

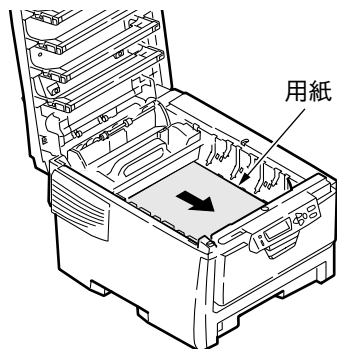
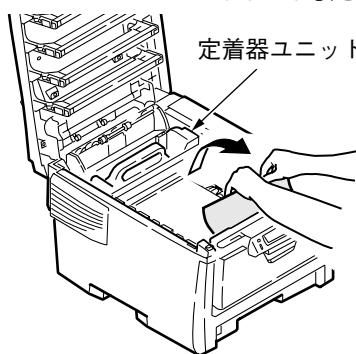
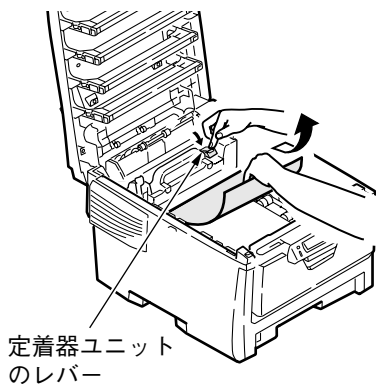
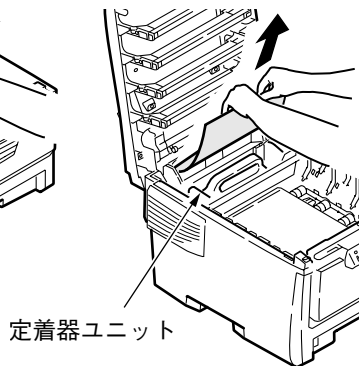
❸ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

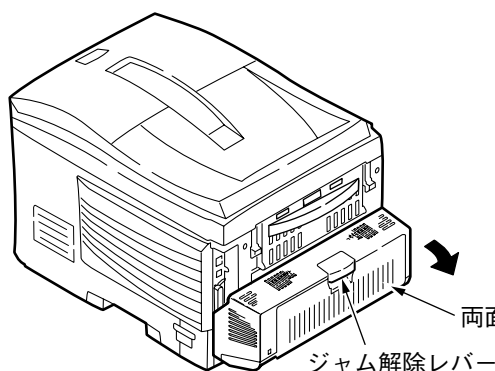
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

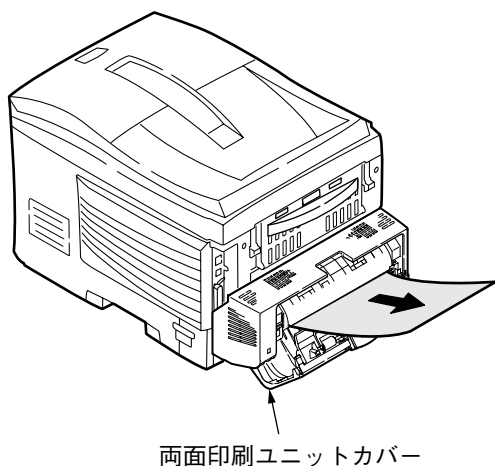
2章

❹ つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙先端が見えている場合

プリンタ内部へゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合

定着器ユニットのレバーを矢印方向に押しながらつまっている用紙をゆっくり引き出します。

❺ イメージドラムカートリッジを戻します。

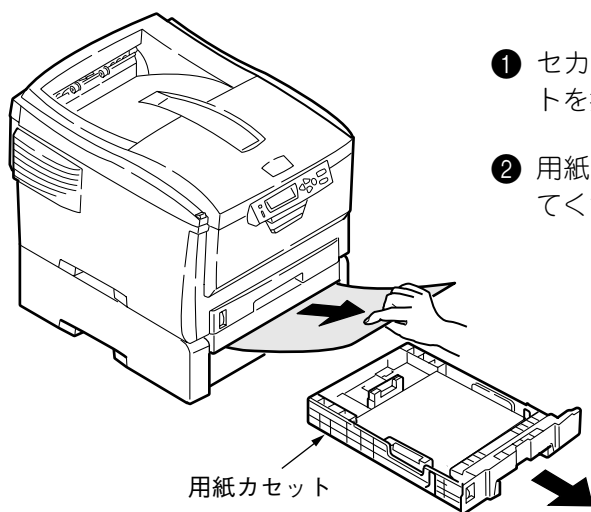
両面印刷ユニット部（オプション）（コード：370、371、373）

両面印刷ユニットカバー

ジャム解除レバー

❶ 両面印刷ユニット部のジャム解除レバーを押して、両面印刷ユニットカバーを開きます。

両面印刷ユニットカバー

❷ つまっている用紙を取り出します。
用紙が見えない場合は、一旦両面印刷ユニットカバーを閉めてください。用紙が自動的に排出されます。

注 両面印刷ユニットを抜く場合は、プリンタの電源をOFFにしてください。

セカンドトレイユニット部（オプション）（コード：391、392）

❶ セカンドトレイユニット部の用紙カセットを抜いて用紙を取り除きます。

❷ 用紙を除去後、フロントカバーを開閉してください。

3 Windows ソフトウェア

Windows スクリーンフォント

Windows スクリーンフォントは添付されていません。

WindowsMe/98/95

プリンタドライバをインストールするだけで、プリンタに搭載されている和文フォント名と欧文フォント名（136書体中42書体）がアプリケーションのフォントリストに表示されます。画面上では Windows のシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

3
章

欧文フォント42書体		
AvantGarde	Helvetica	NewCenturySchlbk
AvantGarde,BOLD	Helvetica Condensed	NewCenturySchlbk,BOLD
AvantGarde,BOLDITALIC	Helvetica Condensed,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
AvantGarde,ITALIC	Helvetica Condensed,BOLDITALIC	NewCenturySchlbk,ITALIC
Bookman	Helvetica Condensed,ITALIC	Palatino
Bookman,BOLD	Helvetica,BOLD	Palatino,BOLD
Bookman,BOLDITALIC	Helvetica,BOLDITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Bookman,ITALIC	Helvetica,ITALIC	Palatino,ITALIC
Courier	Helvetica-Narrow	Times
Courier,BOLD	Helvetica-Narrow,BOLD	Times,BOLD
Courier,BOLDITALIC	Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	Times,BOLDITALIC
Courier,ITALIC	Helvetica-Narrow,ITALIC	Times,ITALIC
	Lubalin Graph	ZapfChancery,ITALIC
	Lubalin Graph,BOLD	ZapfDingbats
	Lubalin Graph,BOLDITALIC	
	Lubalin Graph,ITALIC	

WindowsXP/2000/NT4.0

プリンタドライバを組み込むだけでプリンタに搭載されている書体のうち和文フォント名と欧文フォント名（136 書体中 115 書体）がアプリケーションのフォントリストに表示されます。画面上では Windows のシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

欧文 フォント115書体			
Albertus MT	Courier,BOLD	Helvetica-Narrow,BOLD	StempelGaramond Roman
Albertus MT Lt	Courier,BOLDITALIC	Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	StempelGaramond Roman,BOLD
Albertus MT,ITALIC	Courier,ITALIC	Helvetica-Narrow,ITALIC	StempelGaramond Roman,BOLDITALC
Antique Olive Compact	Eurostile	Joanna MT	StempelGaramond Roman,ITALIC
Antique Olive Roman	Eurostile Bold	Joanna MT,BOLD	Symbol
Antique Olive Roman,BOLD	Eurostile ExtendedTwo	Joanna MT,BOLDITALIC	Times
Antique Olive Roman,ITALIC	Eurostile ExtendedTwo,BOLD	Joanna MT,ITALIC	Times,BOLD
AvantGarde	GillSans	Letter Gothic	Times,BOLDITALIC
AvantGarde,BOLD	GillSans Condensed	Letter Gothic,BOLD	Times,ITALIC
AvantGarde,BOLDITALIC	GillSans Condensed,BOLD	Letter Gothic,BOLDITALIC	Univers 45 Light
AvantGarde,ITALIC	GillSans ExtraBold	Letter Gothic,ITALIC	Univers 45 Light,BOLD
Bodoni	GillSans Light	Lubalin Graph	Univers 45 Light,BOLDITALIC
Bodoni Poster	GillSans Light,ITALIC	Lubalin Graph,BOLD	Univers 45 Light,ITALIC
Bodoni PosterCompressed	GillSans,BOLD	Lubalin Graph,BOLDITALIC	Univers 47 CondensedLight,BOLD
Bodoni,BOLD	GillSans,BOLDITALIC	Lubalin Graph,ITALIC	Univers 47 CondensedLight,BOLDITALIC
Bodoni,BOLDITALIC	GillSans,ITALIC	Marigold,ITALIC	Univers 55
Bodoni,ITALIC	Goudy	Mona Lisa Recut	Univers 55,ITALIC
Bookman	Goudy ExtraBold	NewCenturySchlbk	Univers 57 Condensed
Bookman,BOLD	Goudy,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLD	Univers 57 Condensed,ITALIC
Bookman,BOLDITALIC	Goudy,BOLDITALIC	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC	Univers Extended
Bookman,ITALIC	Goudy,ITALIC	NewCenturySchlbk,ITALIC	Univers Extended,BOLD
Clarendon	Helvetica	Optima	Univers Extended,BOLDITALIC
Clarendon Light	Helvetica Condensed	Optima,BOLD	Univers Extended,ITALIC
Clarendon,BOLD	Helvetica Condensed,BOLD	Optima,BOLDITALIC	ZapfChancery,ITALIC
Cooper Black	Helvetica Condensed,BOLDITALIC	Optima,ITALIC	ZapfDingbats
Cooper Black,ITALIC	Helvetica Condensed,ITALIC	Oxford,ITALIC	
Copperplate32bc	Helvetica,BOLD	Palatino	
Copperplate33bc	Helvetica,BOLDITALIC	Palatino,BOLD	
Coronet,ITALIC	Helvetica,ITALIC	Palatino,BOLDITALIC	
Courier	Helvetica-Narrow	Palatino,ITALIC	

PS ハーフトーン調整ユーティリティ

プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整するユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ
Windows PSプリンタドライバ

インストール

❶ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

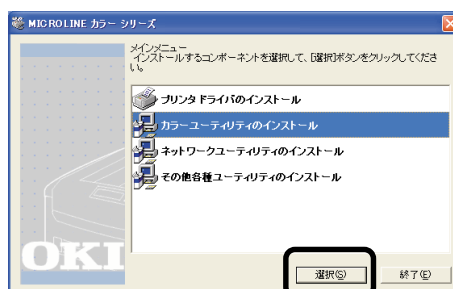
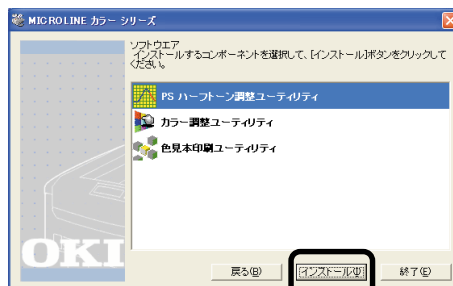
〈WindowsXPの場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
［マイコンピュータ］を開き、［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺ ［カラーユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❻ ［PSハーフトーン調整ユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面で［終了］をクリックします。

起動方法

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラムを表示］）-［沖データ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

詳しくはオンラインヘルプ、または「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（202ページ）をご覧ください。

ストレージデバイスマネージャ

プリンタのハードディスクの設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブの管理をするユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0 以上がインストールされていること

インストール

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROM のアイコンを開きます。

〈WindowsXP の場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

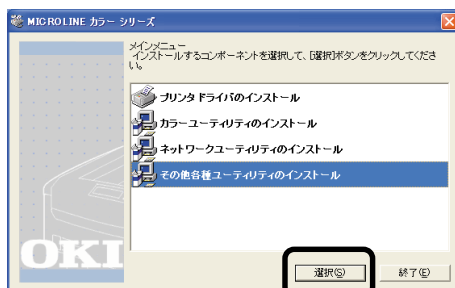
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 の場合〉
［マイコンピュータ］を開き、［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup.exe
Setup Program

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［その他各種ユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❻［ストレージデバイスマネージャ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「MICROLINE カラーシリーズ」画面で［終了］をクリックします。

起動方法

❶［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

色見本印刷ユーティリティ

プリンタでRGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのようなRGB 色の指定をすれば良いか確認することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ

3章

インストール

❶ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXP の場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

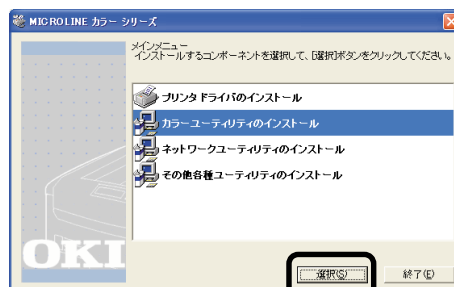
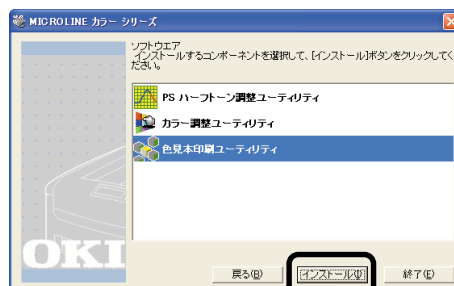
〈WindowsMe/98/2000/NT4.0 の場合〉
［マイコンピュータ］を開き、［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup
Setup Program

セットアッププログラムが起動します。

❹ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺ ［カラーユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❻ ［色見本印刷ユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面で［終了］をクリックします。

起動方法

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

詳しくは「色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい（Windows）」（200ページ）をご覧ください。

カラー調整ユーティリティ

プリンタのカラーマッチングを調整するためのユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ

インストール

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROM のアイコンを開きます。

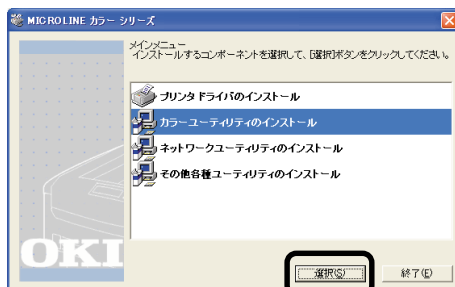
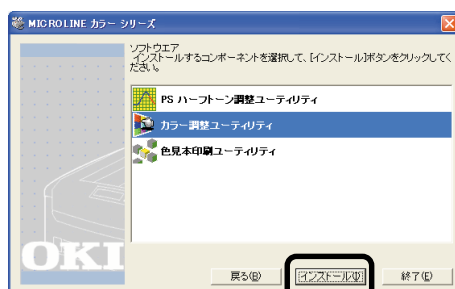
〈WindowsXP の場合〉
[スタート] - [マイコンピュータ] - [リムーバブル記憶域があるデバイス] の [ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 の場合〉
[マイコンピュータ] を開き、[ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❺ [カラーユーティリティのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❻ [カラー調整ユーティリティ] を選択し、[インストール] をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面で [終了] をクリックします。

起動方法

❶ [スタート] - [プログラム] (WindowsXP では [すべてのプログラム]) - [沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [色カラー調整ユーティリティ] を選択します。

詳しくはオンラインヘルプ、または「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい (Windows)」(177 ページ)、「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい (Windows)」(181 ページ) をご覧ください。

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）

プリンタのネットワークの設定や、ステータスの確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0 では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

起動方法

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

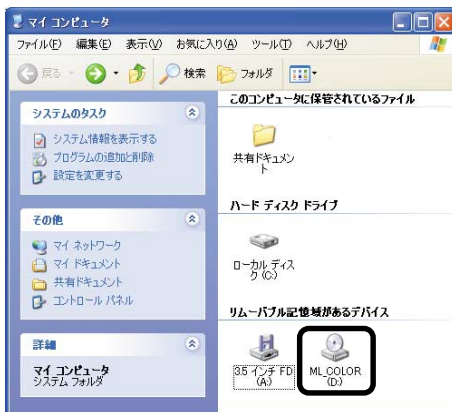
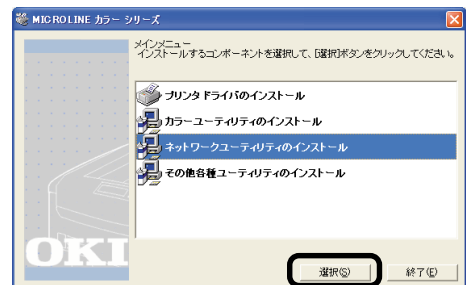
setup

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

3 章

❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

OKI Device の設定

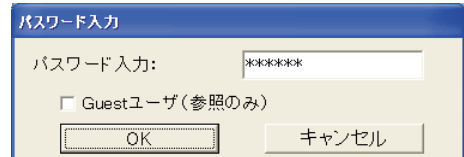
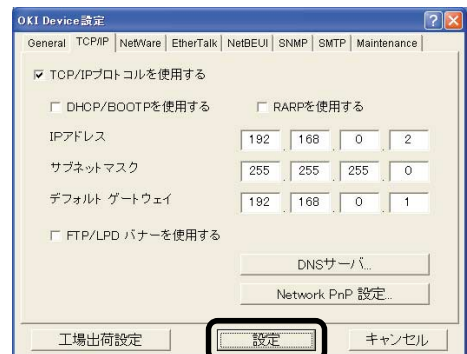
プリンタのネットワークの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（258 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ ［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

❸ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

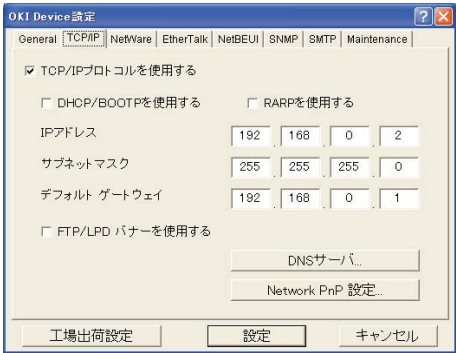
注
- パスワードは、手順 ❶ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

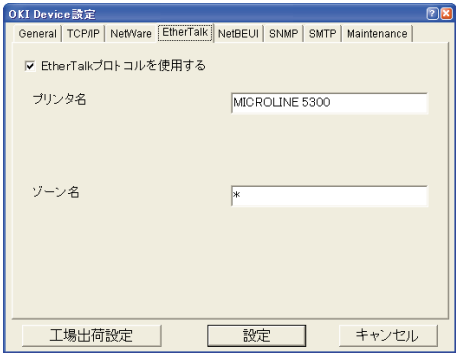
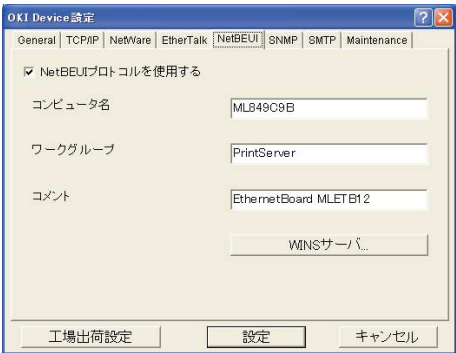
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

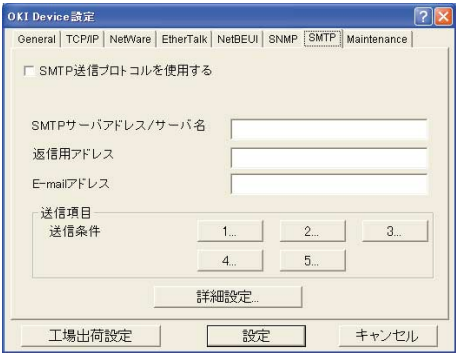
注　この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❼ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

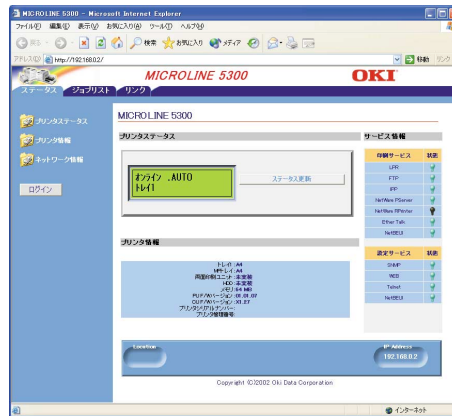
Generalタブ

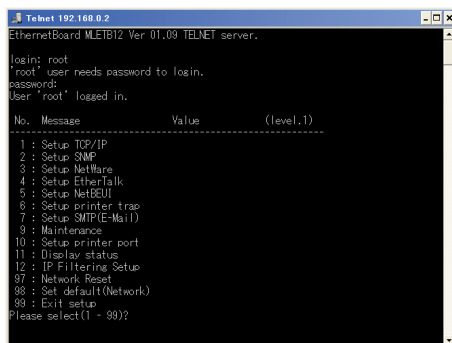
TCP/IPタブ

NetWareタブ

EtherTalkタブ

NetBEUIタブ

SNMPタブ

SMTPタブ

Maintenanceタブ

HTTP による設定

Webブラウザを使用して、プリンタのネットワークの設定や、プリンタのステータスを表示することができます。［設定］メニューの［HTTP による設定］を選択します。

TELNET による設定

telnet を使用して、プリンタの設定をすることができます。
［設定］メニューの［TELNET による設定］を選択します。

リセット

ネットワークの設定値をリセットすることができます。
［設定］メニューの［リセット］を選択します。

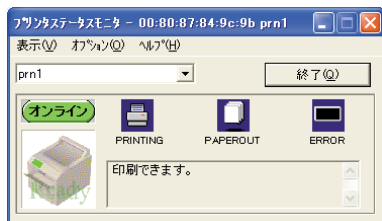
テスト印刷

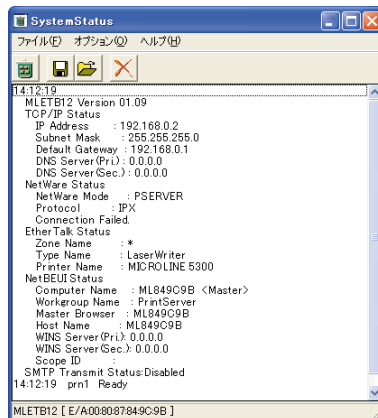
ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷することができます。
［設定］メニューの［テスト印刷］を選択します。

IPアドレス設定

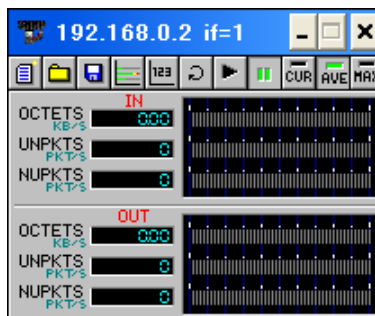
IP アドレスを設定することができます。
［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

プリンタステータス

プリンタのステータスを表示できます。
［ステータス］メニューの［プリンタステータス］を選択します。

システムステータス

プリンタのネットワークのステータスを表示できます。
［ステータス］メニューの［システムステータス］を選択します。

ネットメータ

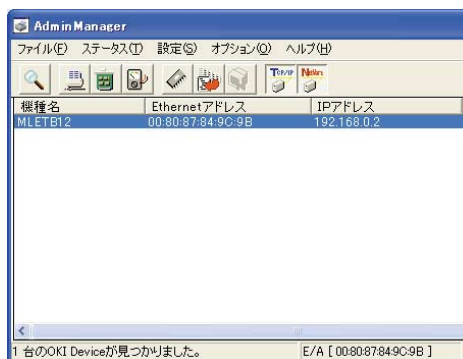
ネットワークの利用状況をリアルタイムで表示できます。
［ステータス］メニューの［ネットメータ］を選択します。

注 ネットメータはフリーソフトウェアです。動作保証されません。

NetWare のキュー作成

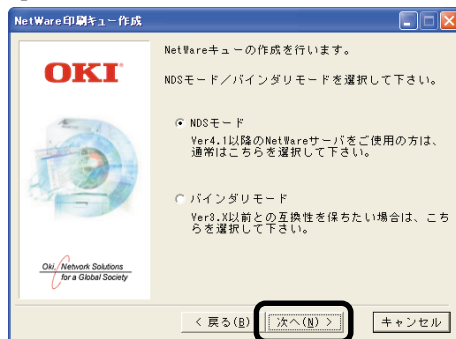
NetWare サーバ上にプリントキューを作成することができます。

注 NetWare6J/5J/4.1J(NDS) リモートプリンタモードのプリントキューは、NDS モードで作成する必要があります。バインダリモードでは作成できません。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ ［設定］メニューの［NetWareのキュー作成］を選択します。

❸ ［次へ］をクリックします。

❹ ネットワーク環境にあわせて、[NDS モード] か［バインダリモード］を選択し、[次へ］をクリックします。

❺ 画面の指示に従い、NetWare キューを作成します。

❻ 設定内容に間違いがなければ、[実行］をクリックします。

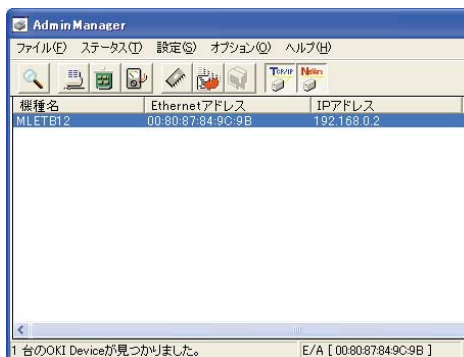
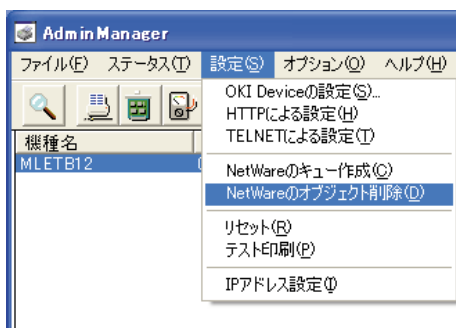
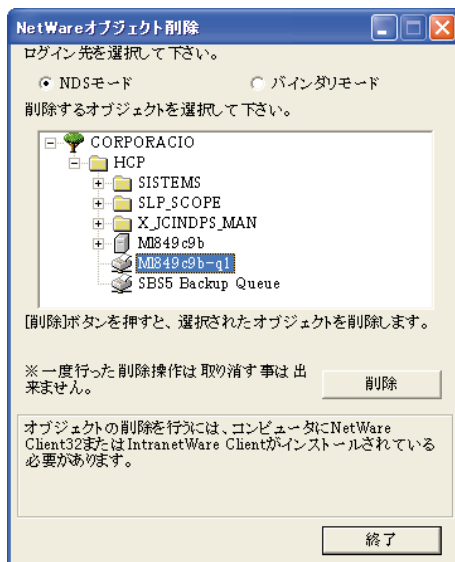
NetWareサーバに設定内容が送信されます。

❼ ［完了］をクリックします。

NetWare のオブジェクト削除

NetWare サーバ上に作成しているプリントサーバ、プリントキュー、プリンタを削除することができます。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

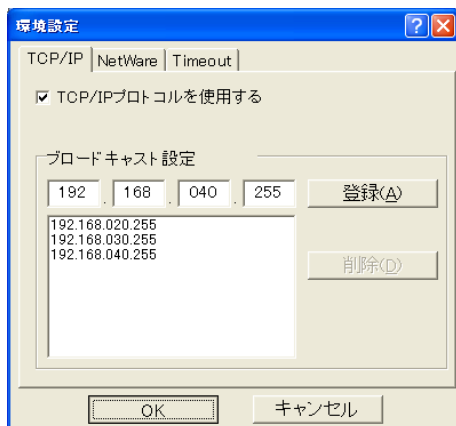
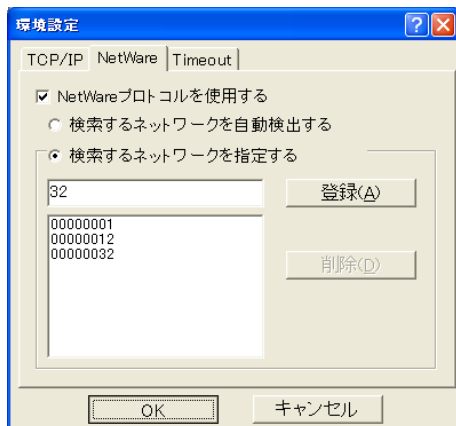
注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ ［設定］メニューの［NetWareのオブジェクト削除］を選択します。

❸ ［NDS モード］か［バインダリモード］を選択し、削除するオブジェクトを選択します。

❹ ［削除］をクリックします。

［削除］は取り消すことができません。十分気をつけてオブジェクトを選んでください。

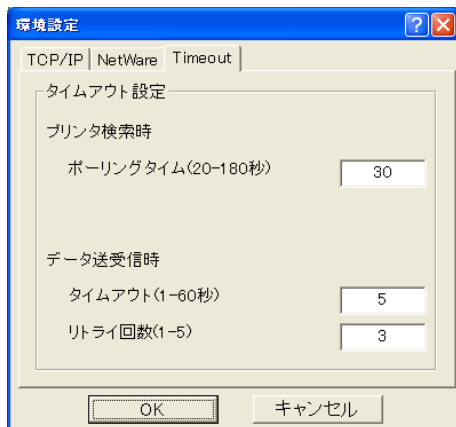
❺ ［終了］をクリックします。

環境設定

AdminManager の環境を設定することができます。
［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

TCP/IPタブ

TCP/IPでプリンタの検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

NetWareタブ

NetWare（IPX）プロトコルでプリンタの検索をするかどうか設定します。
検索時に取得できたネットワークだけを検索します。
NetWare でプリンタを検索するときの NetWare ネットワーク番号を設定します。
NetWareファイルサーバが多数ある場合は、プリンタが存在するネットワーク番号を設定します。

Timeoutタブ

プリンタからの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManager とプリンタの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManager とプリンタの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

プリンタの簡易設定ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメントに存在している必要があります。
- NetWareの設定をするときは、コンピュータにNovel Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

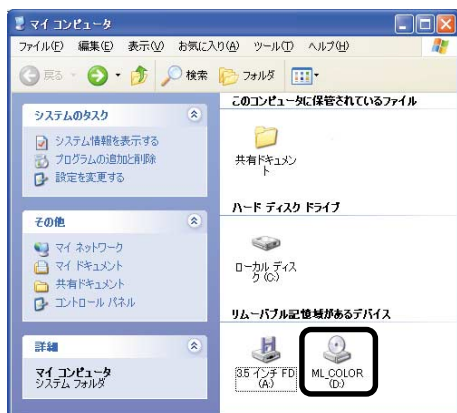
以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

起動と設定方法

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

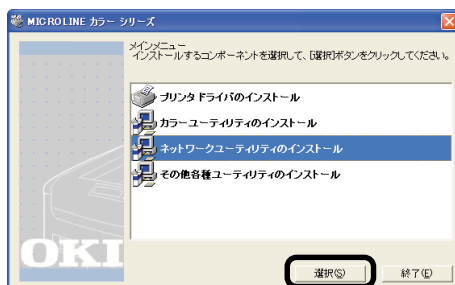
❸ [スタート] - [マイコンピュータ] を選択します。

❹ [リムーバブル記憶域があるデバイス] の [ML_COLOR] CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

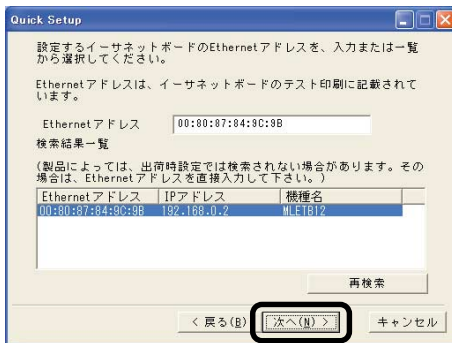
❻ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

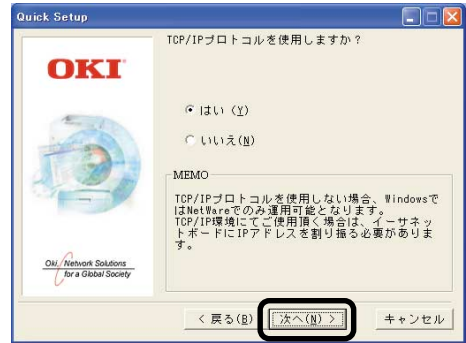
❼ [ネットワークユーティリティのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❽ [NIC セットアップユーティリティ] を選択し、[インストール] をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

⓫ ［次へ］をクリックします。

⓬ 設定を行うプリンタのイーサネットアドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、ML5300の代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

⓭ TCP/IPの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓮ NetWareの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓯ EtherTalkの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓰ NetBEUIの設定を行い、［次へ］をクリックします。

3章

⑰ 設定内容を確認し、[実行] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⑱ 設定値を有効にするために、[完了] をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

⑲ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

OKI LPRユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にOKI LPR ユーティリティがインストールされます。
- WindowsXP/2000/NT4.0 では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

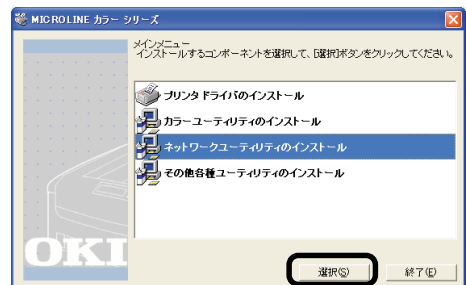
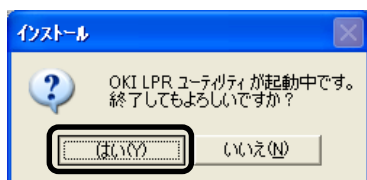
❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

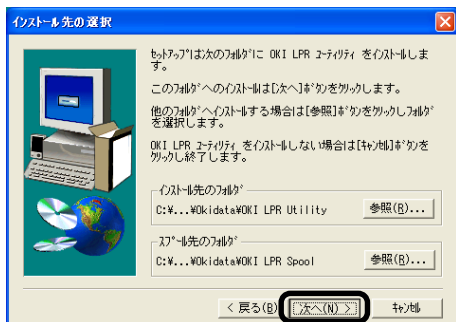
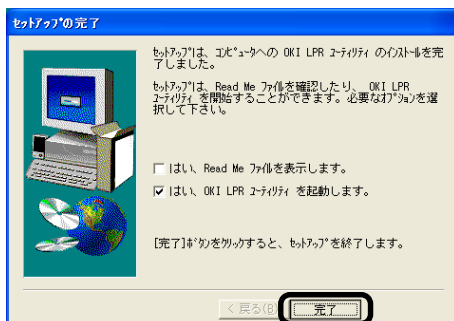
setup

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［OKI LPRユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ すでにOKI LPR ユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので［はい］をクリックします。

❿ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

⓫ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

⓭ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

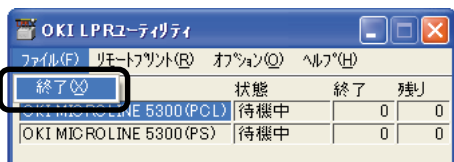
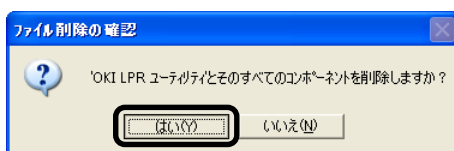
⓮ ［完了］をクリックします。

⓯ ［終了］をクリックします。

起動方法

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（WindowsXP 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティ］を選択します。

削除方法

❶ ［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷ ［スタート］-［すべてのプログラム］（WindowsXP 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPRユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティの削除］を選択します。

❸ ［はい］をクリックします。

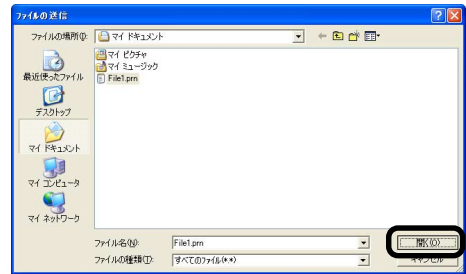
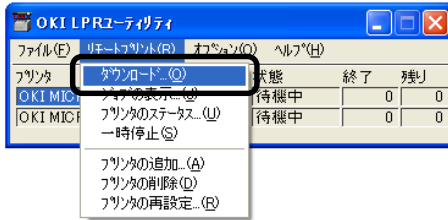
削除が開始されます。

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

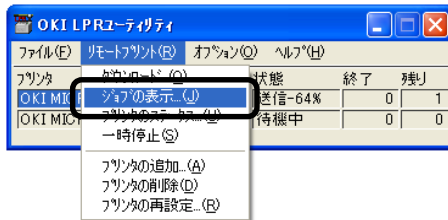
❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

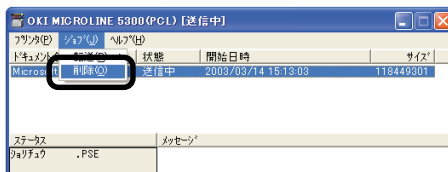
ジョブの表示、削除と手動転送

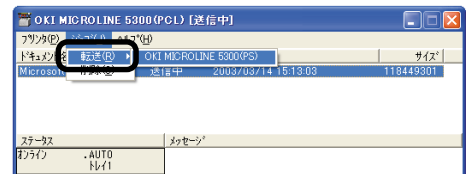
印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- 他社プリンタへは転送できません。
- 同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

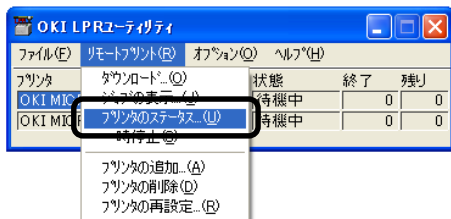
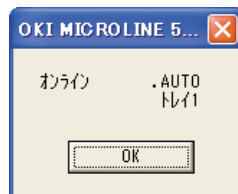
❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめOKI LPRユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

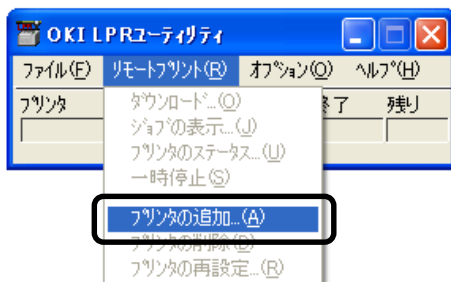
❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

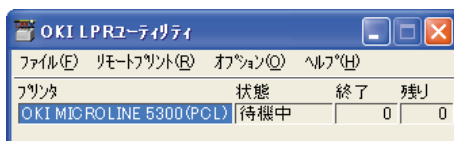
印刷先のポートをOKI LPRポートに変更することができます。

注　すでにOKI LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷ ［プリンタ］を選択し、［IPアドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

注　［プリンタ］には、「プリンタとFAX」（WindowsXP以外の場合は「プリンタ」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。WindowsXP/2000/NT4.0でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

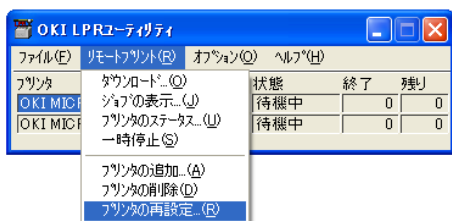
メモ　［検索］をクリックしてネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

注
- 他社プリンタへは転送できません。
- 必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

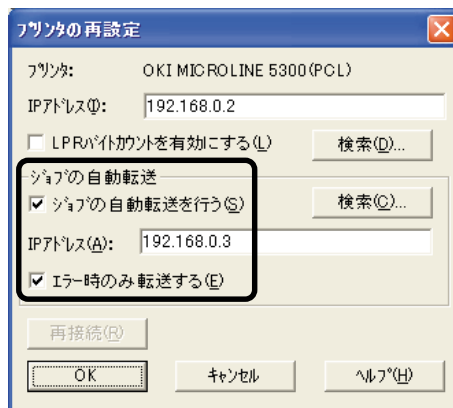
❷ [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

❸ [詳細設定] ボタンをクリックします。

❹ [ジョブの自動転送を行う] にチェックをつけ、転送先プリンタの IP アドレスを設定します。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、[エラー時のみ転送する] にもチェックを付けます。

メモ [検索] をクリックして、ネットワーク上の MICROLINE プリンタを検索することもできます。

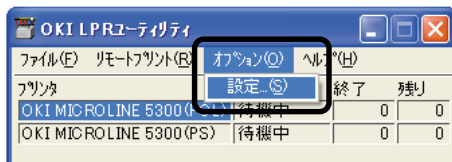
❺ [OK] をクリックします。

3章

自動的に IP アドレス再設定

DHCP サーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタの IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

注 検索対象は、OKI LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶ [オプション] メニューの [設定] を選択します。

❷ [自動的に IP アドレスを再設定する] にチェックを付けます。

❸ [OK] をクリックします。

Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IP のネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port（WindowsXP/2000 の場合）
  LPR Port（WindowsNT4.0 の場合）
- WindowsXP/2000/NT4.0 では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

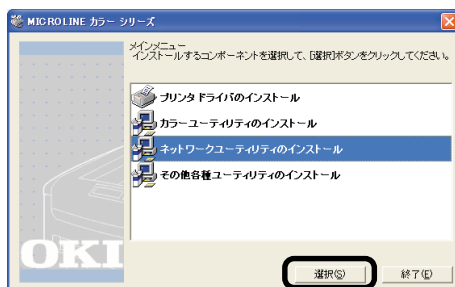
❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

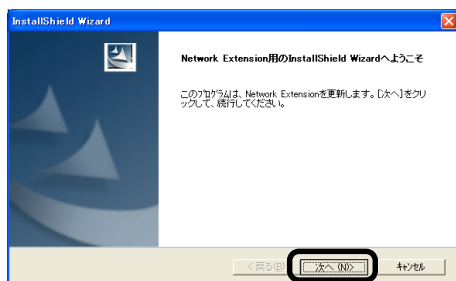
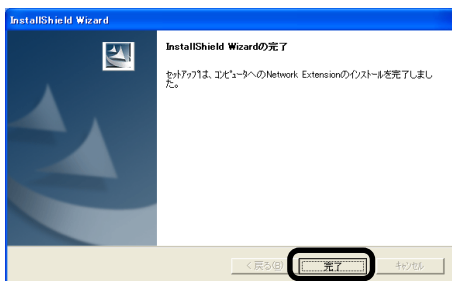
❻ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［Network Extension］を選択し、［インストール］をクリックします。

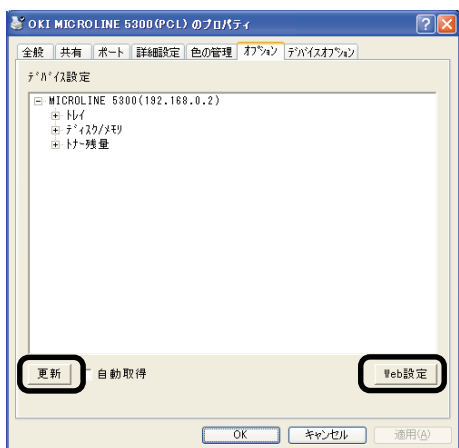
❾ ［次へ］をクリックします。

❿ ［完了］をクリックします。

⓫ ［終了］をクリックします。

3
章

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

注 Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。
（WindowsXP以外では［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［オプション］タブをクリックします。

❹ ［更新］ボタンをクリックします。

「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

❺ ［OK］をクリックします。

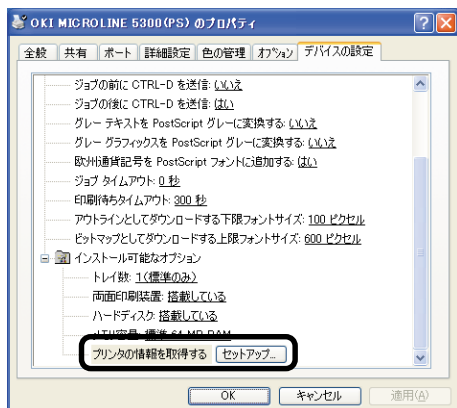
メモ ［Web 設定］ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザを使います」（282ページ）をご覧ください。

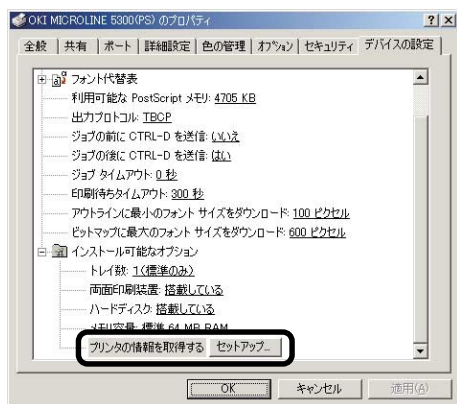
3
章

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

- Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。
- WindowsMe/98/95 PS ドライバでは利用できません。

WindowsXP PSドライバの場合

1. [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。
2. [OKI MICROLINE 5300(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
3. [デバイスの設定] タブをクリックします。
4. [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[セットアップ] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

Windows2000 PSドライバの場合

1. [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
2. [OKI MICROLINE 5300(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
3. [デバイスの設定] タブをクリックします。
4. [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[セットアップ] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

WindowsNT4.0 PSドライバの場合

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5300(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスの設定] タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する] をクリックし、[プリンタの情報を取得する] ボタンをクリックします。

❺ [OK] をクリックします。

Windows PCLドライバの場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] を選択します。(WindowsXP 以外では [スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE 5300(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスオプション] タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する] をクリックします。

❺ [OK] をクリックします。

削除方法

❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] (WindowsXP 以外では [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除]) を選択します。

❷ [OKI Network Extension] を選択し、画面に従って削除します。

PrintSuperVision

PrintSuperVisionは、ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrintSuperVisionにアクセスします。

動作環境

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ
- WindowsXP Professional/2000（Service Pack 1以上）日本語版が動作しているコンピュータ
- Microsoftインターネットインフォメーションサーバ（IIS）Ver.5.0以上がインストールされているコンピュータ
- TCP/IPで動作しているコンピュータ
- ウィルスチェックソフト等によりアクティブサーバページ（ASP）の動作が阻害されない環境のコンピュータ

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ
- WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0日本語版が動作しているコンピュータ
- Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
- TCP/IPで動作しているコンピュータ

- CODE-REDやNIMDAのようなウィルス感染を回避するために、PrintSuperVisionのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールされることをお勧めします。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ
- Windows : WindowsXP Professional
- IPアドレス : 192.168.0.3

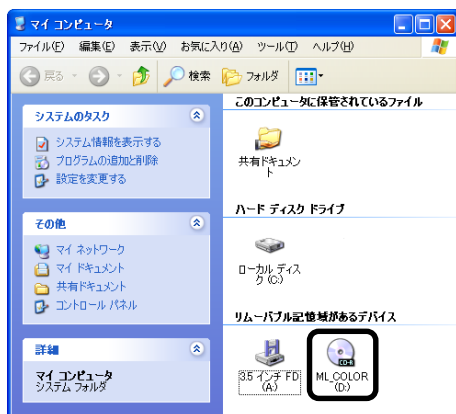
PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ
- Webブラウザ : Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

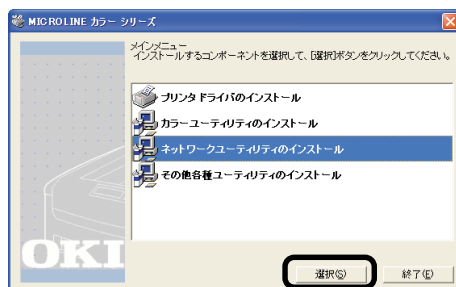
❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

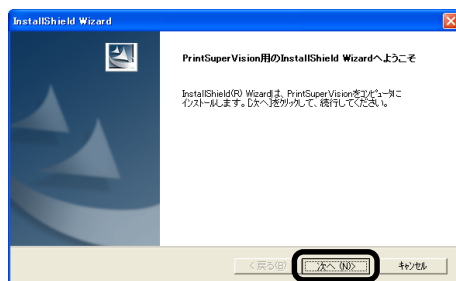
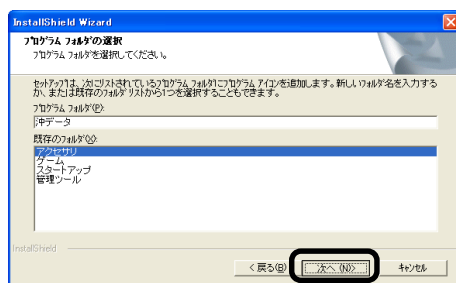
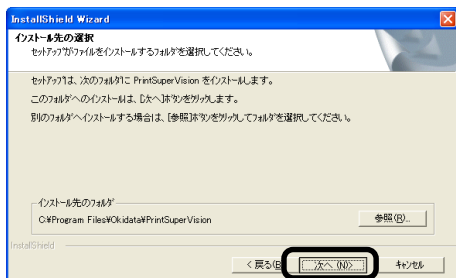
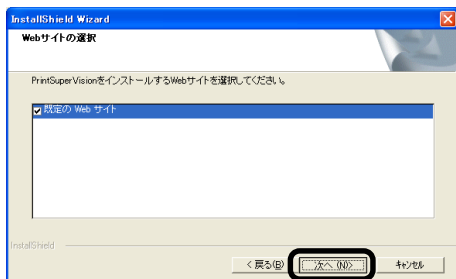
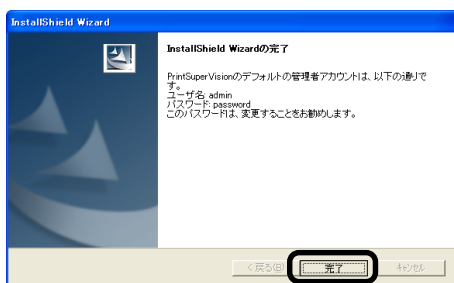
セットアッププログラムが起動します。

❻ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［Print Super Vision］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［次へ］をクリックします。

❿ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

3章

⓫ インストール先のフォルダ名を確認し、[次へ] をクリックします。

⓬ インストールするWebサイトにチェックを付け、[次へ] をクリックします。

⓭ [次へ] をクリックします。

⓮ [完了] をクリックします。

再起動画面が表示された場合は、[今すぐにコンピュータを再起動します] を選択し、[完了] をクリックします。

⓯ [終了] ををクリックします。

起動方法

❶ [スタート] - [すべてのプログラム] (WindowsXP以外では [プログラム]) - [沖データ] - [PrintSuperVision] - [PrintSuperVision] を選択します。

削除方法

❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] (WindowsXP 以外では [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除]) を選択します。

❷ [OKI PrintSuperVision] を選択し、画面に従って削除します。

アクセス方法

別のコンピュータでWebブラウザを起動して、PrintSuperVisionがインストールされているコンピュータにアクセスし、設定を変更することができます。設定を変更するには、「Admin」の権限でログインする必要があります。

❶ Webブラウザを起動します。

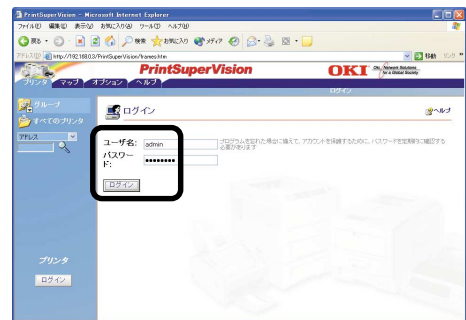
❷ ［アドレス］に、URL「http://PrintSuperVisionが起動しているコンピュータのIPアドレス/PrintSuperVision/」と入力し、Enterキーを押します。

例）コンピュータのIPアドレスが
「192.168.0.3」の場合
http://192.168.0.3/PrintSuperVision/

注 IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）正しい入力値：http://192.168.0.3/
誤った入力値：http://192.168.000.003/

❸ ［ログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザ名］に「Admin」、［パスワード］に管理者のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「password」です。

プリンタ　タブ

◎ :「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［よく使うプリンタ］
頻繁に確認する必要があるプリンタを登録することが可能で、このボタンをクリックすることですぐにプリンタの情報を表示させます。

［グループ］
部門別、フロア別、機種別などでプリンタを監視する場合、グループに登録することで容易に分類し、表示することが可能です。

［すべてのプリンタ］
PrintSuperVisionで監視しているプリンタすべての情報を表示します。

［カスタマイズ］
表示するプリンタ情報をカスタマイズすることができます。

［検索］ ◎
ネットワークに接続されているプリンタを調べ表示します。

［プリンタの追加］ ◎
すでにIPアドレスがわかっている場合は［プリンタの追加］で直接アドレスを入力することで特定のプリンタを監視対象に含めることができます。

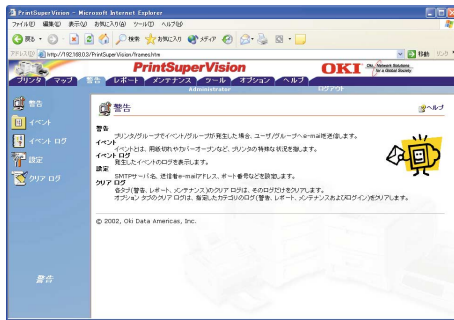
［条件検索］
アドレス、名前、モデル、場所に一致するプリンタを選択します。

マップ　タブ

◎ :「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［マップの追加］ ◎
GIF、JPGまたはPNG形式のファイルをPrintSuperVisionに登録することができます。登録されたマップ上にプリンタグループにあるプリンタを対応する場所に配置できます。

警告　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［警告］
プリンタで問題が発生した場合にe-mailを送信する場合の条件を指定します。

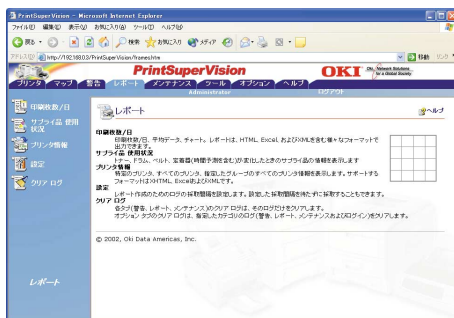
［イベント］
プリンタで問題が発生した場合にPrintSuperVisionで記録をする場合の条件を指定します。

［イベントログ］◎
発生した問題ログを表示します。

［設定］◎
PrintSuperVisionがe-mailを送信させるための各種設定を行います。

［クリアログ］◎
発生したイベントログを削除することができます。

レポート　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［印刷枚数 / 日］
１日あたりの印刷枚数を表示します。

［サプライ品　使用状況］
現在のトナー残量（対応機種のみ）、使用状況から推定したドラム、ベルト、定着器の交換時期などを表示します。

［プリンタ情報］
プリンタの各種情報の表示を行います。

［設定］◎
印刷枚数などのプリンタのデータを収集する間隔を設定します。

［クリアログ］◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

メンテナンス　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎ :「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［リスト］
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを表示します。

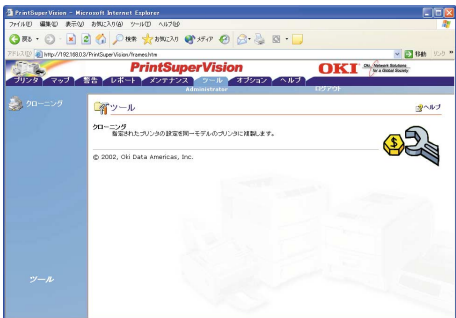
［追加］
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを追加できます。

［総費用］
入力したコスト金額の累計を表示します。

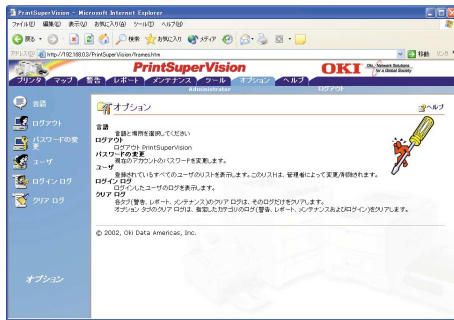
［サプライ品］
トナー、ドラムなどのプリンタサプライ品の金額を保存できます。

［クリアログ］◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

ツール　タブ（「Admin」ユーザのみ表示）

◎ :「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［クローニング］◎
1台のプリンタメニュー設定を複数の他のプリンタに反映することができます。

オプション　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［言語］
表示する言語を選択します。

［ログアウト］
PrintSuperVision からログアウトします。

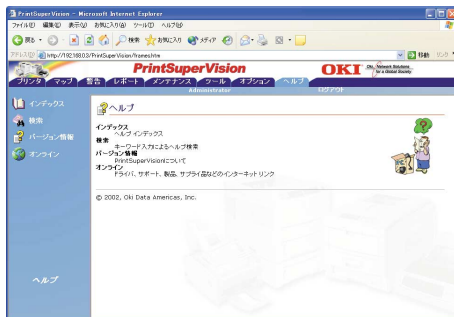
［パスワードの変更］
ユーザパスワードを変更できます。

［ユーザ］
ユーザの追加などユーザ管理ができます。
Admin 以外は表示のみです。

［ログインログ］◎
PrintSuperVision へのログイン記録が表示されます。

［クリアログ］◎
警告、ログインログなどのログ情報をクリアします。

［ログイン］
ログインしていない場合にのみ表示されます。

ヘルプ　タブ

［インデックス］
PrintSuperVisionのオンラインヘルプを選択、表示できます。

［検索］
キーワード入力によるヘルプ検索ができます。

［バージョン情報］
PrintSuperVision の Version 情報を表示します。

［オンライン］
沖データのホームページにリンクしています。

ネットワークインストーラ

ネットワークインストーラは､以下のことを自動的に行い､プリントサーバ管理者の負担を軽減することができます。

- TCP/IP ネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索されたプリンタのプリンタドライバをインストールし､ネットワークプリンタの設定をします。
- Windows システムのプリンタ共有を設定します。
- ユーザに新しいプリンタが利用可能になったことを電子メールで通知します。

動作環境

ネットワークインストーラをインストールするコンピュータ

WindowsXP Professional/2000（Service Pack 1以上）/NT4.0（Service Pack 5以上）日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ
OKI LPR ユーティリティ Ver.3.08 以降がインストールされているコンピュータ

コンピュータの管理者の権限が必要です。

クライアントコンピュータ

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ
電子メールが受信できるように設定されているコンピュータ

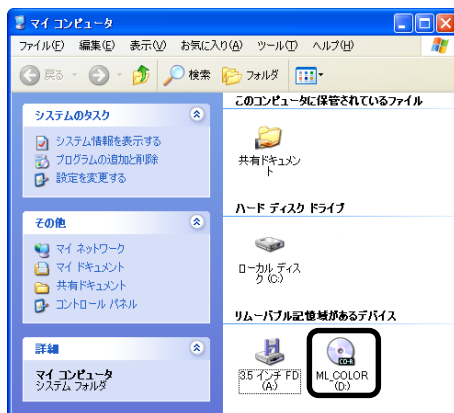
以下の説明は、WindowsXP Professional を例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

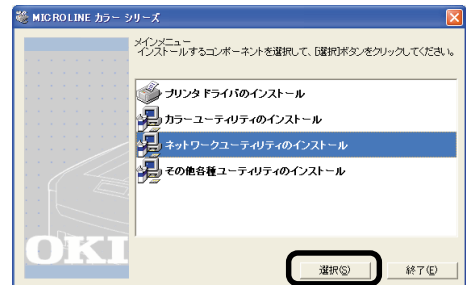
❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

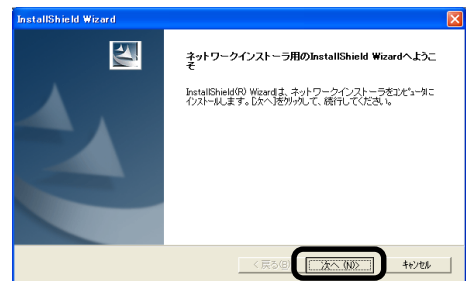
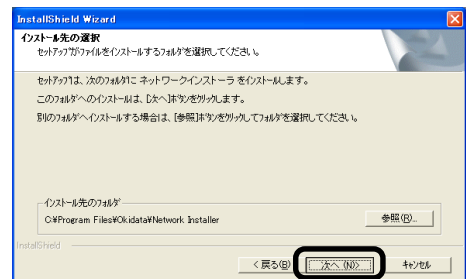
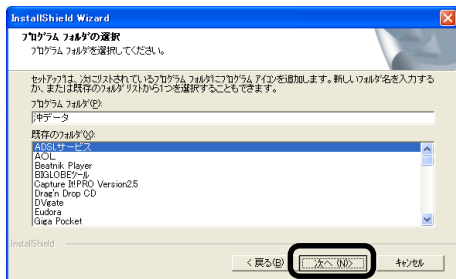
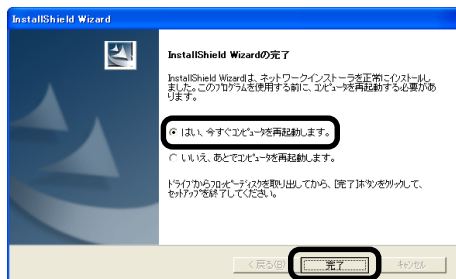
セットアッププログラムが起動します。

❻ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［ネットワークインストーラ］を選択し、［インストール］をクリックします。

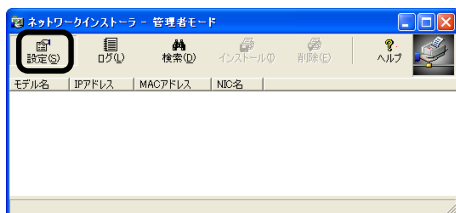
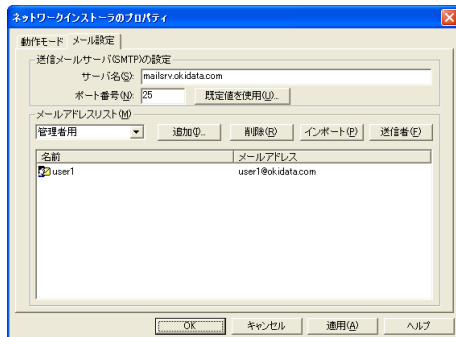
❾ ［次へ］をクリックします。

❿ インストール先のフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

3章

⓫ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓬ [はい、今すぐコンピュータを再起動します]を選択し、[完了]をクリックします。

再起動画面が表示されない場合は、[完了]をクリックします。

設定します

❶ [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [ネットワークインストーラ] - [ネットワークインストーラ] を選択します。

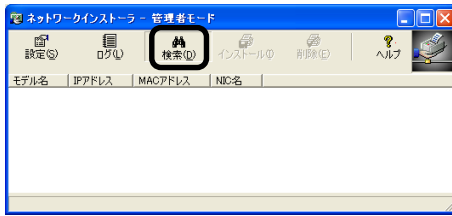
❷ [設定] ボタンをクリックします。

❸ [メール設定] タブを選択し、各項目を設定します。

① [サーバ名] にSMTPメールサーバのドメイン名もしくはIPアドレスを入力します。
使用できるメールサーバについては、ネットワーク管理者にご相談ください。

② SMTPポート番号を設定します。
通常は25（初期値）でご使用ください。

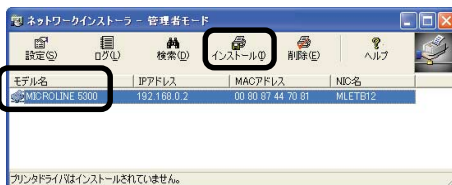
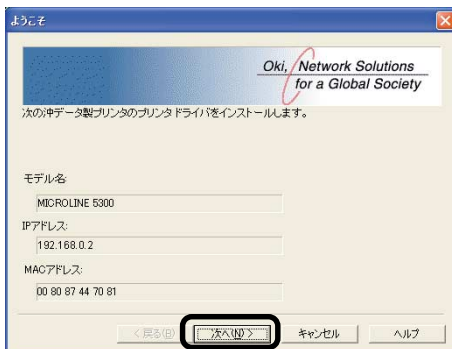
③「メールアドレスリスト」の[管理者用]を選択し、[追加]ボタンをクリックし、管理者のメールアドレスを入力します。

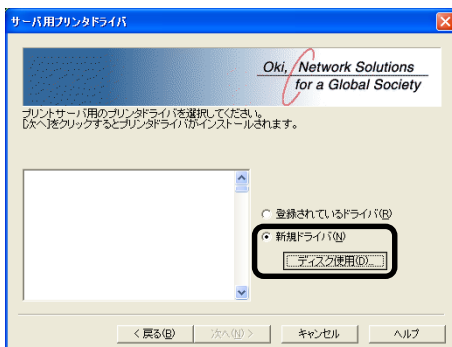
④「メールアドレスリスト」の[ユーザ用]を選択し、[追加]ボタンをクリックし、ユーザのメールアドレスを入力します。

注 1つのメールアドレスを管理者用、ユーザ用と重複させて使用することはできません。

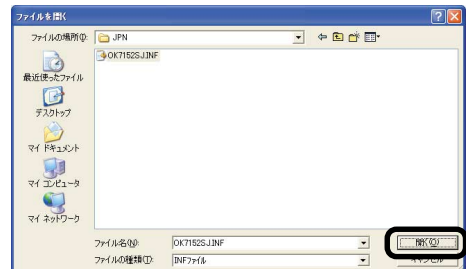
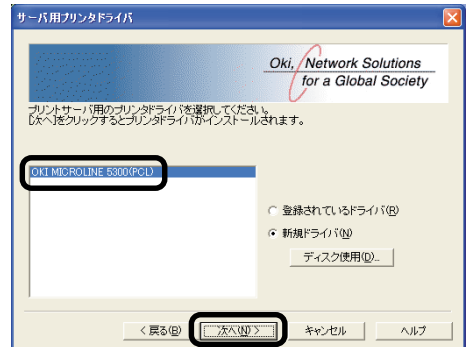
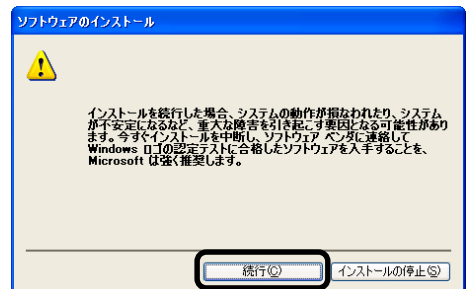
❹ [OK] をクリックします。

❺ ［検索］ボタンをクリックします。

メモ ［設定］ボタン-［動作モード］タブで、［検索しない］のチェックを外すと、自動的に検索を行います。

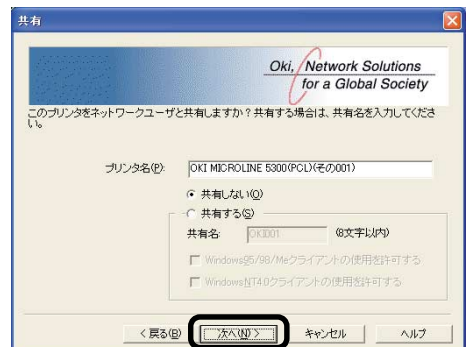
❻ プリンタドライバをインストールしたいモデル名を選択し、［インストール］ボタンをクリックします。

❼ ［次へ］をクリックします。

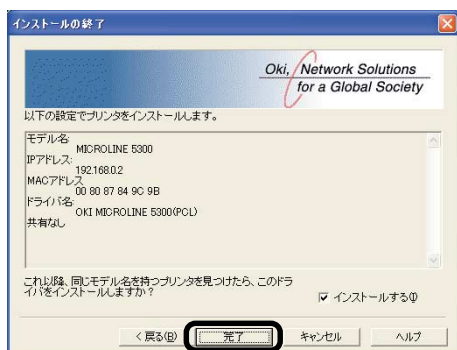
❽ ［新規ドライバ］を選択し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

❾ プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❿ ［ファイル名］に次のように入力し、［開く］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

⓫ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［続行］をクリックします。

⓭ プリンタ名を入力し、共有するかしないかを選択し、［次へ］をクリックします。

3章

- ［共有する］に設定すると、手順❸で設定したユーザのメールアドレスに送信されるメールに、プリンタドライバインストール用の実行ファイルが添付されます。添付ファイルを実行すると、そのコンピュータにプリンタドライバがインストールされ、ネットワークプリンタが作成されます。
- 添付ファイルを実行した場合、システムの状況によりドライバがインストールできない場合があります。その場合は自動的にプリンタの追加画面が表示されますので、メールの内容に従ってインストールしてください。

⓮ ［インストールする］にチェックがついていることを確認し、［完了］をクリックします。

⓯ 「OKI LPRユーティリティのポート変更」画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPR ユーティリティにプリンタ名が追加されます。
また、手順❸で設定したメールアドレスに、メールが送信されます。

メモ　［設定］ボタン -［動作モード］タブで、「インストール方法」を［自動］に設定すると、ネットワークに同じ機種名のプリンタが検索されると、自動的にプリンタドライバをインストールしてネットワークプリンタを作成します。

削除方法

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］（WindowsXP 以外では［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］）を選択します。

❷ ［OKI ネットワークインストーラ］を選択し、画面に従い削除します。

ネットワークステータスモニタ

ネットワークにつながっているプリンタの状態を監視することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0 以上がインストールされているコンピュータ

注 WindowsXP/2000/NT4.0 では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

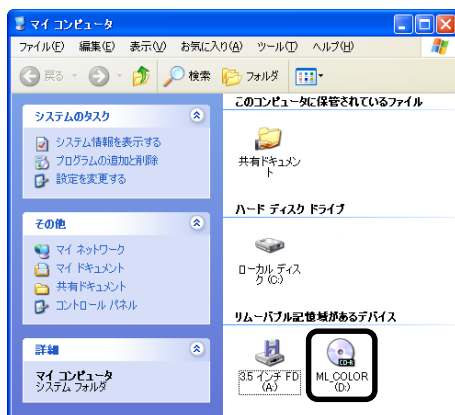
Windows : WindowsXP Home Edition
プリンタ : ML5300
IP アドレス : 192.168.0.2

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

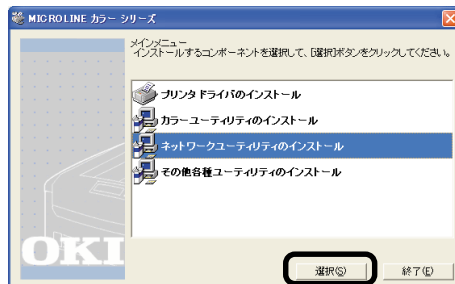
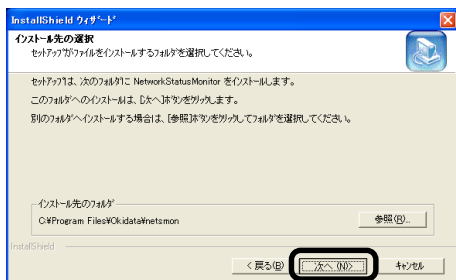
❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

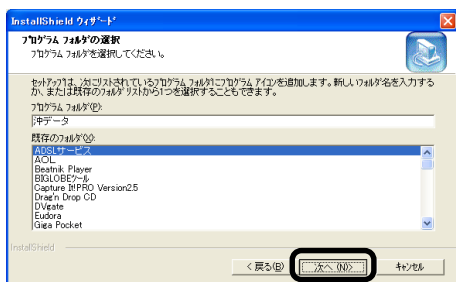
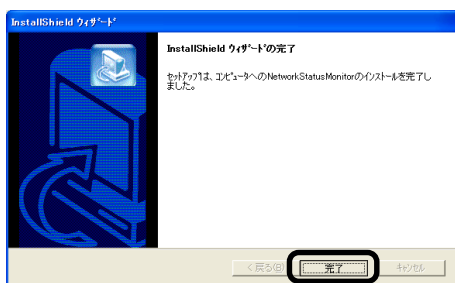
setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［ネットワークステータスモニタ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ] をクリックします。

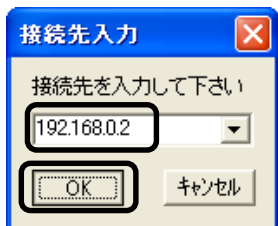
❿ インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

⓫ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ] をクリックします。

⓬ [完了] をクリックします。

⓭ [終了] をクリックします。

起動方法

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP 以外では [プログラム]) - [沖データ] - [ネットワークステータスモニタ]-[ネットワークステータスモニタ]を選択します。

❷ 接続するプリンタの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

メモ

- 複数のプリンタに接続したい場合は、手順 ❶ ～ ❷ を繰り返します。
- すでにネットワークステータスモニタを起動してプリンタに接続している場合は、以前入力したIPアドレスが表示されます。

削除方法

❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] (WindowsXP 以外では [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除]) を選択します。

❷ [OKI Network Status Monitor] を選択し、画面に従い削除します。

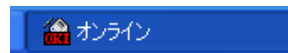
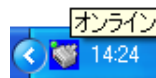
設定メニュー

[接続先変更]
接続したいプリンタのIPアドレスを入力して、接続しているプリンタを変更します。

[監視時間変更]
値を入力して監視間隔を変更します。初期値は5秒です。9桁までの数字を入力してください。0秒は設定できません。

表示メニュー

[最小化表示]
最小化時の表示状態を設定します。[タスクバー]、[アイコン]が選択できます。

・タスクバー設定時の表示

・アイコン設定時の表示

[サブウィンドウ]
詳細なステータス表示をするかしないかを設定します。

[ポップアップ]
接続しているプリンタにエラーが発生した場合、最小化状態からポップアップし、プリンタの状態を表示するかしないかを設定します。

4 Macintosh ソフトウェア

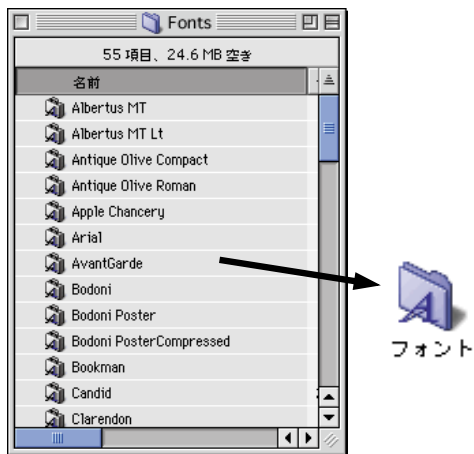
Macintosh スクリーンフォント

欧文スクリーンフォントをインストールします

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts] フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- Mac OS X では常に TrueType スクリーンフォントで印刷されます。
- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されておりません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintoshのシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントはMacOS添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

MicrolinePS Utility

以下の設定を Macintosh で行うユーティリティです。

- ウェイトタイム、パワーセーブなどプリンタの操作パネルで行う各機能
- プリンタ名 / ゾーン名の変更
- PostScript ファイルのダウンロード
- フォントリスト表示
- フォントの置き換え
- ハーフトーン調整

動作環境

MacOS 8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk インタフェースを搭載している機種
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

Mac OS X では利用できません。

インストール

プリンタドライバをインストールすると、［MicrolinePS］フォルダ内に［MicrolinePS Utility］も同時にインストールされます。

複数の OS を切り替えて使用するときは、各 OS にプリンタドライバをインストールしてください。

起動方法

❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで［LaserWriter8］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。

USB接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

MicrolinePS Utility

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

Setup Utility

プリンタのネットワークの設定ができます。

動作環境

MacOS8.1 ～ 9.2.2 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

- Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。［コントロールパネル］-［TCP/IP］で設定を行ってください。
- Mac OS X、Mac OS X Classic 環境には対応していません。

4 章

起動方法

注 すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

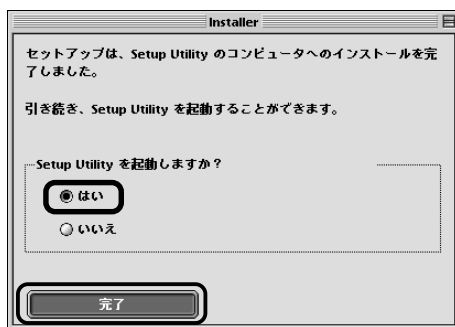
❷ Macintoshが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［Utility］-［Network］フォルダの中の［Installer］をダブルクリックします。

❹ ［Japanese］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

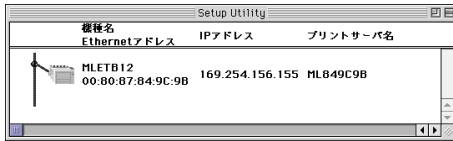
初期設定では、Macintosh HD の［Oki Tools］フォルダにインストールされます。

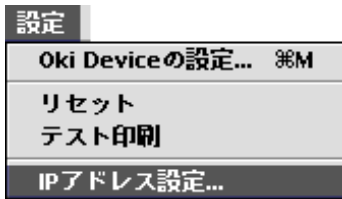
❻ ［Setup Utility を起動しますか？］で［はい］を選択し、［完了］をクリックします。

Setup Utility が起動します。

Oki Device 設定

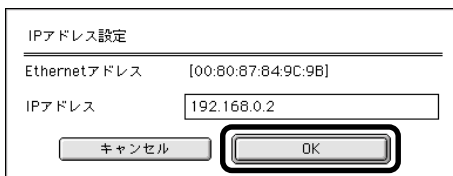
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(258 ページ) をご覧ください。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報 (Network Information) に表示されています。

❷ [設定] メニューの [IP アドレス設定] を選択します。

IP アドレスが既に設定されているという画面が表示されたら?

☞ ❼ へ進みます。

❸ IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

❹ [OK] をクリックし、プリンタの電源を OFF/ON します。

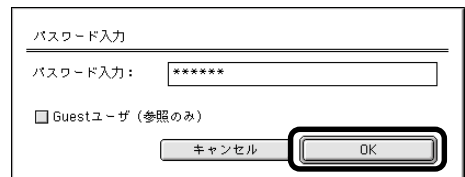
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編) をご覧ください。

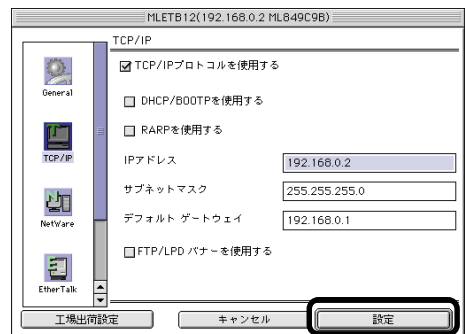
❺ [ファイル] メニューの [Oki Device の検索] を選択します。

❻ 一覧より、プリンタを選択します。

☞ ❷ からの続き

❼ [設定] メニューの [Oki Device の設定] を選択します。

❽ [パスワード入力] に [イーサネットアドレスの下 6 桁] を入力し、[OK] をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ❶ で選択した「イーサネットアドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❾ 必要な項目を設定し、[設定] をクリックします。

⑩ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

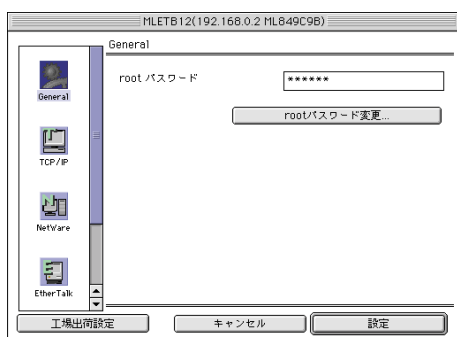
⑪ 新しい設定値を有効にするため、[OK] をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

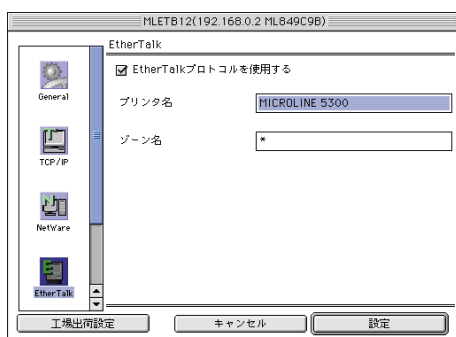
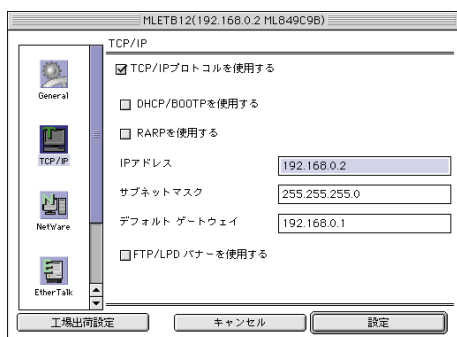
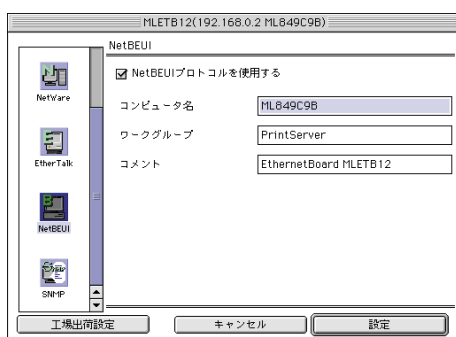
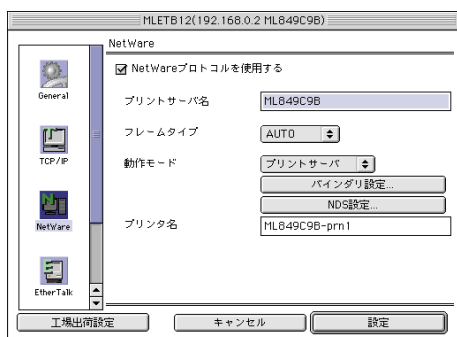
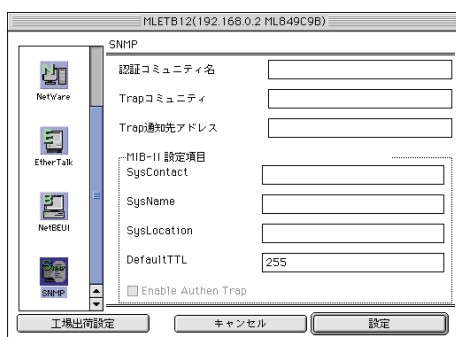
⑫ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

⑬ Setup Utility を終了します。

General

TCP/IP

NetWare

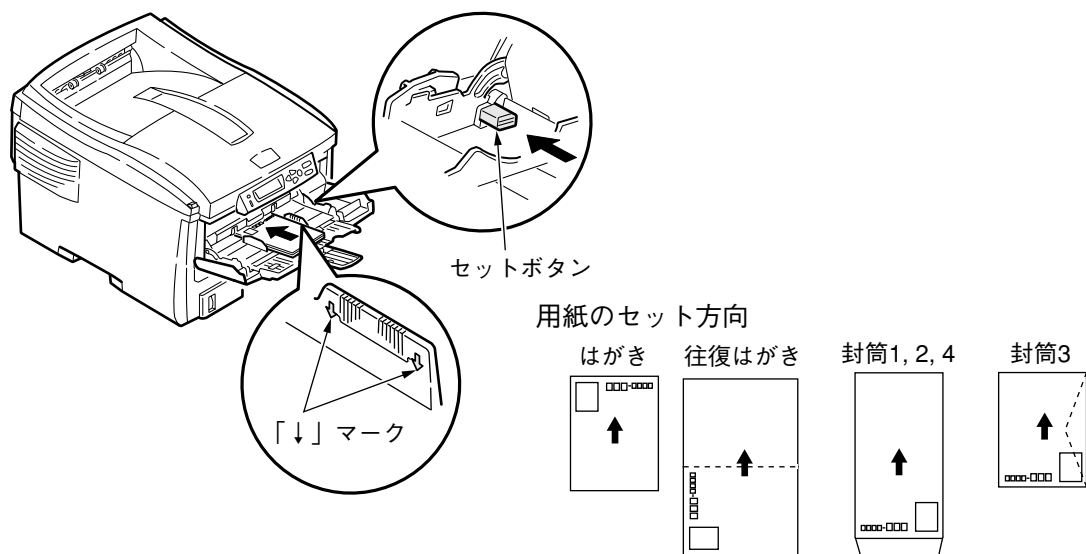
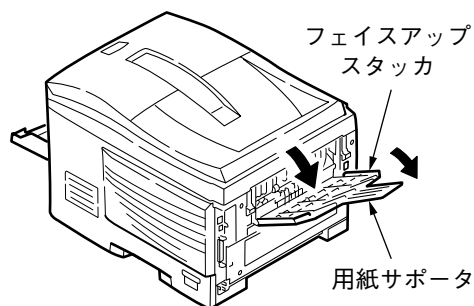
EtherTalk

NetBEUI

SNMP

5 いろいろな用紙に印刷するための設定について

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS X では［TextEdit］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

はがき、往復はがき、封筒はマルチパーパストレイから印刷することができます。
詳しくは「11　印刷します」（セットアップ編）の「マルチパーパストレイから印刷します」をご覧ください。

- マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「11　印刷します」（セットアップ編）の「手差しで1枚ずつ印刷します」をご覧ください。
- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷や、両面印刷（オプション）はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

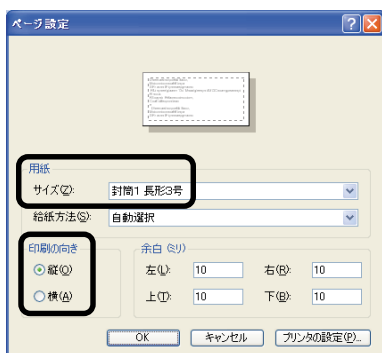
❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ
- 封筒 1～4 で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒 1～4 で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［プロパティ］をクリックし、［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］の［180°］で［回転あり］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

5章

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

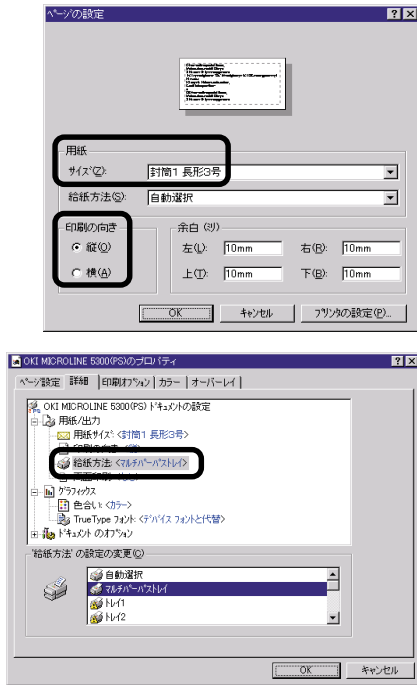
❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

- 封筒 1 ～ 4 で、 縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒 1 ～ 4 で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙 / 品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180°］で［回転あり］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

5
章

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

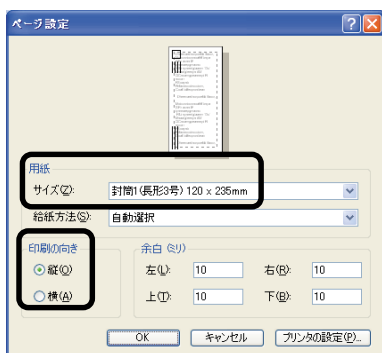
❷ ［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- 封筒 1～4 で、 縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒 1～4 で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［180°］で［回転あり］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

5
章

Windows PCL プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

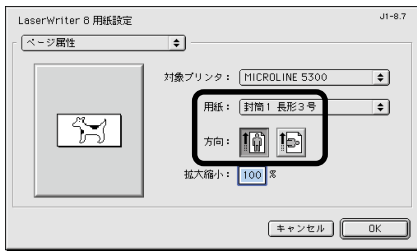
❷ ［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

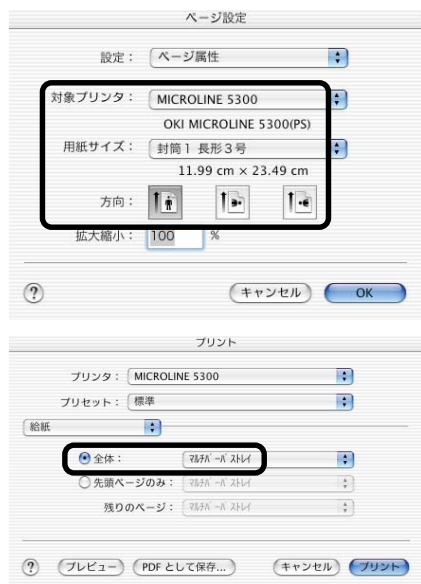
❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ
- 封筒 1～4 で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を選択します。
- 封筒1～4で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［ジョブオプション］パネルで［180°］にチェックを付けます。

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

5章

Mac OS X プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

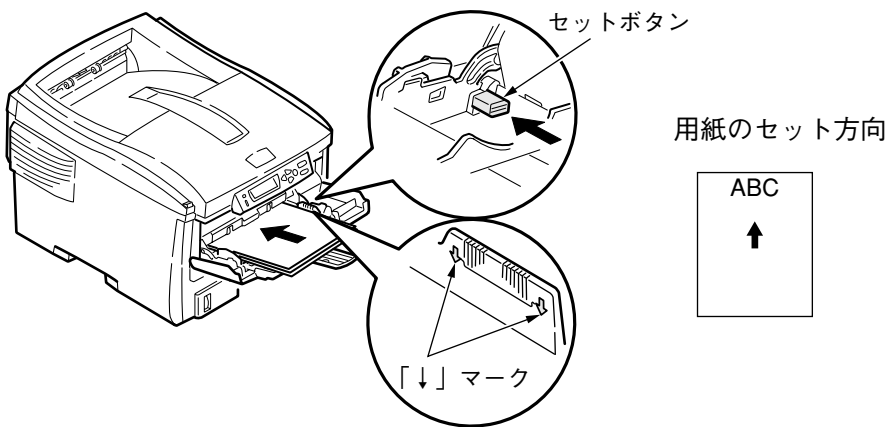
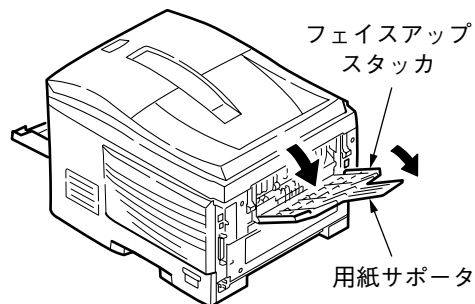
メモ
- 封筒 1 ～ 4 で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［プリンタ機能］パネルで［180°］にチェックを付けます。
- 封筒 1 ～ 4 で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

ラベル紙、OHP シートに印刷したい

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

ラベル紙、OHP シートはマルチパーパストレイから印刷することができます。
詳しくは「11　印刷します」（セットアップ編）の「マルチパーパストレイから印刷します」をご覧ください。

メモ
- マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「11　印刷します」（セットアップ編）の「手差しで1枚ずつ印刷します」をご覧ください。
- ラベル紙、OHP シートは用紙カセットからの印刷や、両面印刷（オプション）はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［MP トレイ　メディアタイプ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

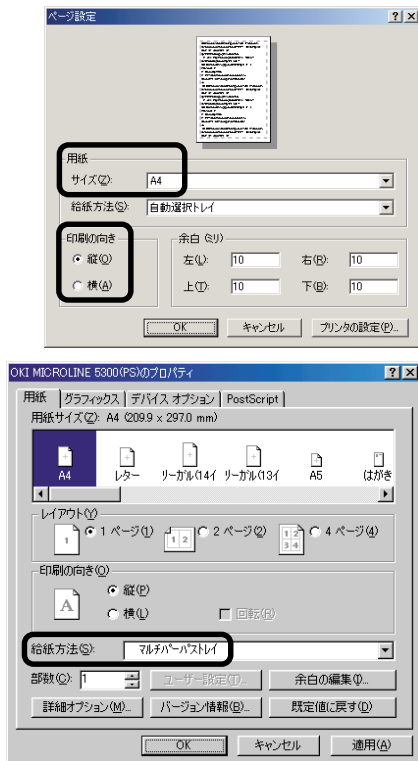
❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［ラベルシ］または［OHP］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

5章

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

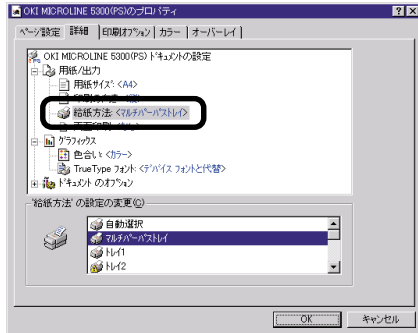
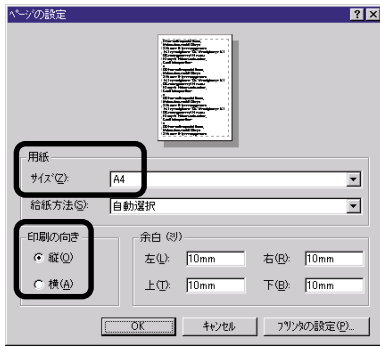
❷ ［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

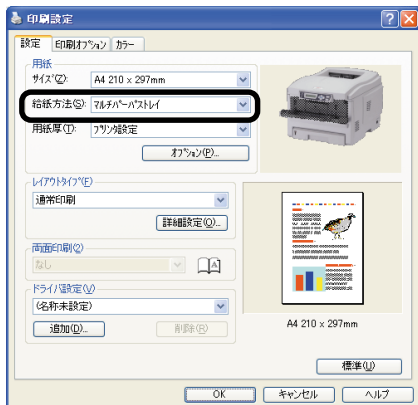
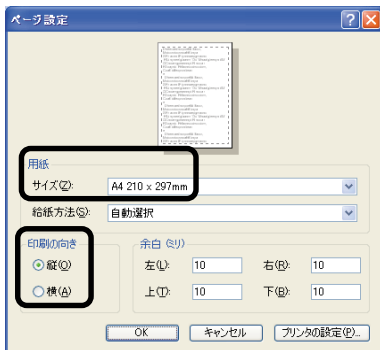
❷ ［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

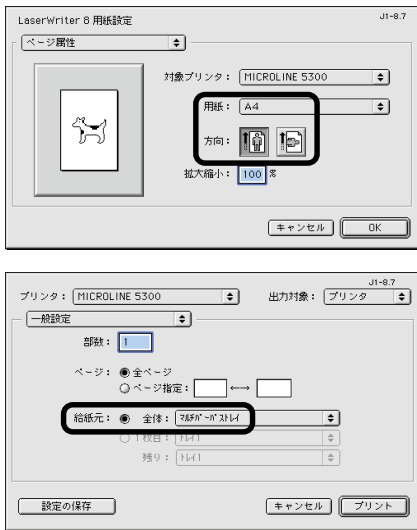
❷ ［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

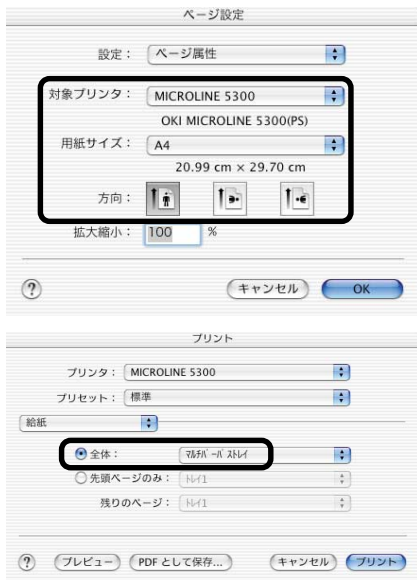
Macintosh プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

6 いろいろな印刷について

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS X では［TextEdit］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

複数ページを１枚に印刷したい

複数ページのデータを１枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- Windows PCL プリンタドライバではとじ代も設定できます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［用紙］タブの［レイアウト］を選択します。

レイアウト
割り付けるページ数、配置を選択します。

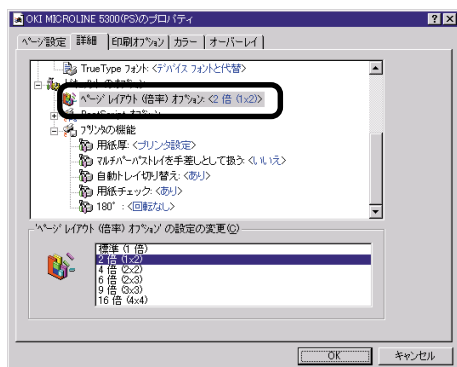
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

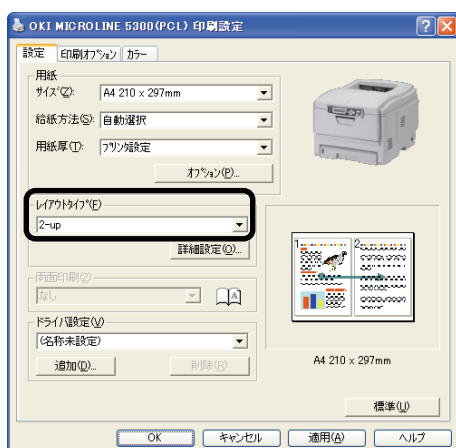
❹ ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［ページレイアウト（倍率）オプション］で［n倍］（nは１枚に印刷するページ数）を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では [詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定] タブの [レイアウトタイプ] で [n-up]（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺ [詳細設定] をクリックし、必要に応じて [枠線]、[ページ配置]、[とじ代] を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

Macintosh プリンタドライバ

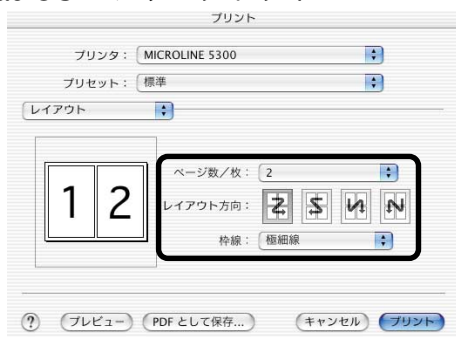
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [レイアウト] パネルの [ページ割り付け]、[レイアウト方向]、[枠線] を選択します。

ページ割り付け
割り付けるページ数、配置を選択します。
必ず [2 ページ分]、[4 ページ分] …を選択してください。[4（縦方向）]、[6（縦方向）] …は選択しないでください。

枠線
各ページを枠線で囲むことができます。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

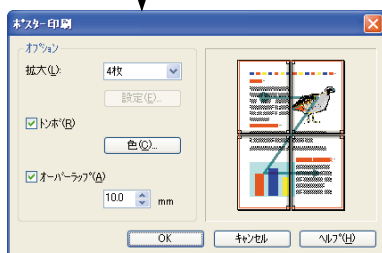
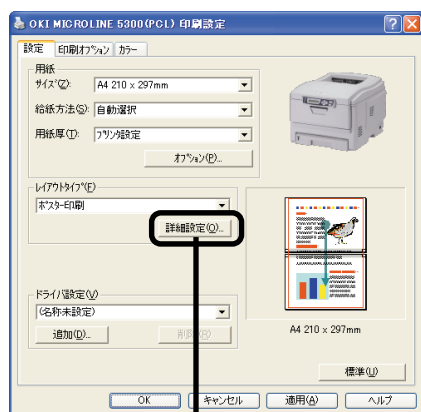
❸ [レイアウト] パネルの [ページ数 / 枚]、[レイアウト方向]、[枠線] を選択します。

6 章

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- Windows PCL プリンタドライバのみで利用できます。
- WindowsXP/2000/NT4.0でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000 で［ポスター印刷］が動作しない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定できます。

6章

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ）

独自の用紙サイズを定義して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

- 長さが 355.6mm を超える用紙は、フェイスアップで排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定してください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが 355.6mm を超える用紙の印刷品位は保証できません。
- マルチパーパストレイから給紙する場合、用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- WindowsNT4.0 プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、[印刷品位]で「ふつう」または「はやい」を設定すると正しく印刷できる場合があります。
- 幅が 100mm 未満の用紙は紙づまりの原因になりますので、保証できません。
- 「給紙オプション」画面の［自動トレイ切り替え］は、デフォルト設定では有効（チェック有り）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することがあります。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.2.2 では利用できません。

［設定できるサイズ］

幅	：100～215.9mm 長さが356mm以上の場合は 210～215.9mm
長さ	：148～1200mm

［用紙カセットから給紙できるサイズ］

	トレイ1	トレイ2
幅	：105～215.9mm	148～215.9mm
長さ	：148～355.6mm	210～355.6mm

6
章

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

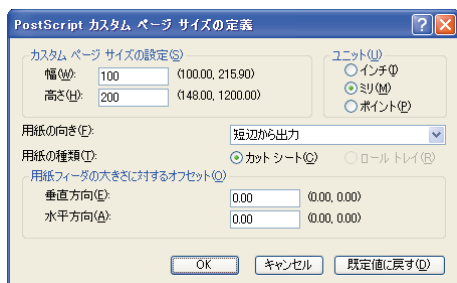
❷［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［用紙］タブの［用紙サイズ］の中から［ユーザー定義ページ 1］を選択します。

❹［ユーザー設定］をクリックし、「ユーザー定義サイズ」画面で［用紙名］、［幅］、［長さ］、［横置き］を入力、または選択します。

❺［OK］をクリックします。

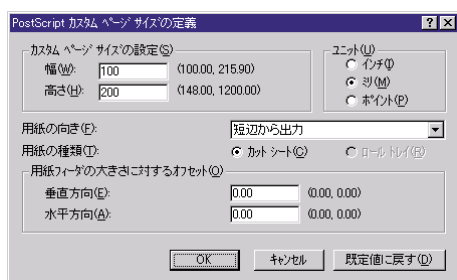
［ユーザー定義ページ］は 1 ～ 3 までの 3 つが選択でき、それぞれに任意の値を入力できます。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
(WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX] をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE 5300(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

❹ [用紙サイズ] で [PostScript カスタムページサイズ] を選択します。

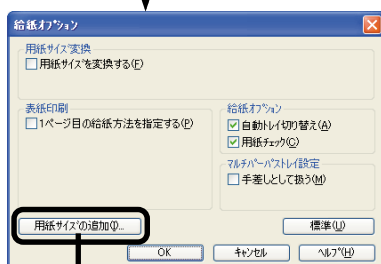
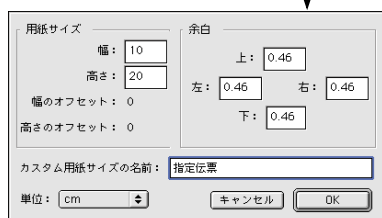
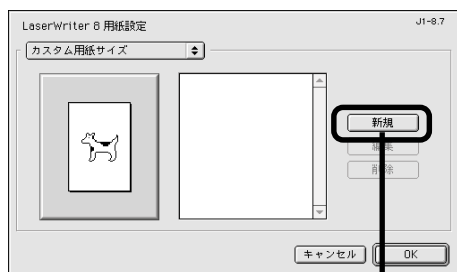
❺ 「PostScript カスタムページサイズの定義」画面で [幅] と [高さ] を入力します。

❻ [OK] をクリックします。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5300(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値] を選択します。

❸ [詳細] タブの [用紙サイズ] で [PostScript カスタムページサイズ] を選択します。

❹ 「PostScript カスタムページサイズ定義」画面で [幅] と [高さ] を入力します。

❺ [OK] をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合

［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000 の場合

［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 の場合

［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❹ 「給紙オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

❺ 「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❻ ［追加］をクリックします。

作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

6章

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

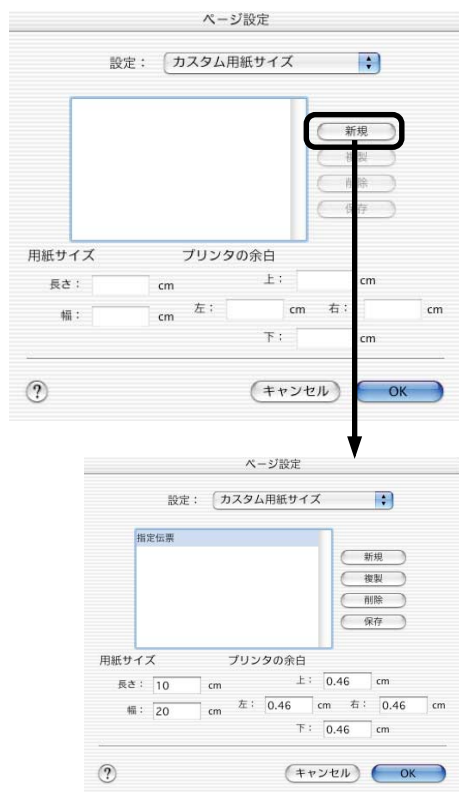
❸ ［カスタム用紙サイズ］パネルで［新規］をクリックし、［幅］と［高さ］、［カスタム用紙サイズの名前］を入力します。

余白
　上下左右の余白を設定します。

❹ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.2.2 以前のバージョンでは利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸ ［カスタム用紙サイズ］パネルの［新規］をクリックします。

❹ 「カスタム用紙サイズ編集」画面で、［カスタム用紙サイズの名前］、［幅］、［長さ］を入力します。

❺ ［保存］をクリックします。

作成した用紙は［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。

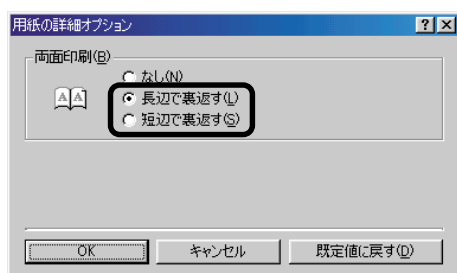
6章

両面印刷したい

用紙の両面に印刷することができます。

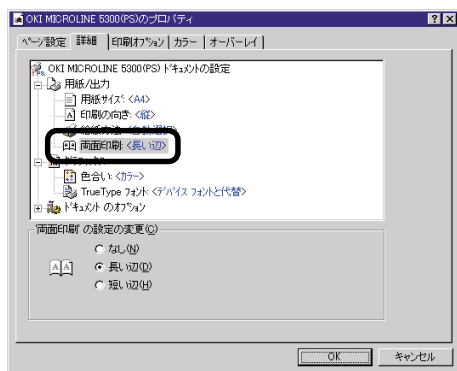
注

- オプションの両面印刷ユニットが必要です。
- プリンタドライバで両面印刷ユニットを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷ユニット」（セットアップ編）をご覧ください。
- 両面印刷できる用紙サイズはA4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブのみです。A6用紙は使用できません。
- 両面印刷できる用紙の厚さは、連量55kg～90kg（64～105g/m²）です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。
- 両面印刷する場合は、64MBのメモリの増設を推奨します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. [用紙]タブの[詳細オプション]をクリックします。
5. [両面印刷]で[長辺で裏返す]または[短辺で裏返す]を選択します。

WindowsXP/2000 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [詳細設定]をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
4. [レイアウト]タブの[両面印刷]で[長辺を綴じる]または[短辺を綴じる]を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［両面印刷］で［長い辺］または［短い辺］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［両面にプリント］にチェックを付け、［とじしろ］のアイコンを選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

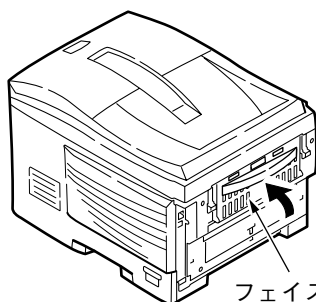
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［両面印刷］パネルの［両面にプリントする］にチェックを付け、［製本］のアイコンを選択します。

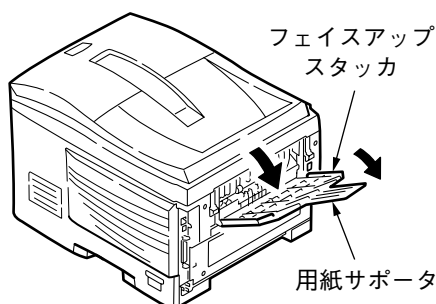
ページ順に取り出したい

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

フェイスダウンで排出する

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

注　連量が151～172kg（176～200g/m^2）の用紙、A6サイズ、長さが355.6mmを超えるカスタムサイズの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

フェイスアップで逆順に印刷する

注　WindowsMe/98/95/NT4.0 PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

WindowsXP/2000 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

6章

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ1、トレイ2（オプション）、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず操作パネルでトレイ1、トレイ2（オプション）、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは「印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。
- メニュー設定の「MP トレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「シヨウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルでMP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、［MP トレイ　ノ　ツカイカタ］を表示します。

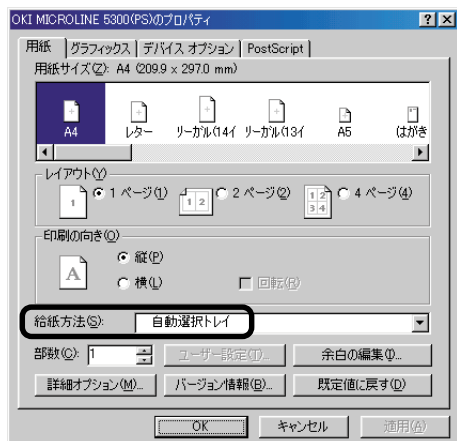
❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、［ヨウシチガイ　ノ　トキ］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

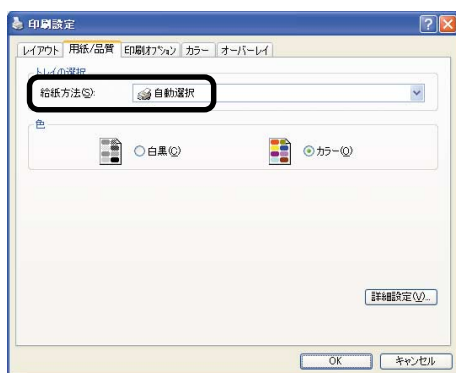
❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［用紙］タブの［給紙方法］で［自動選択トレイ］を選択します。

6章

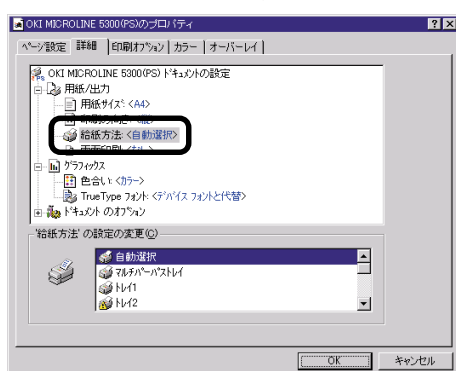
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

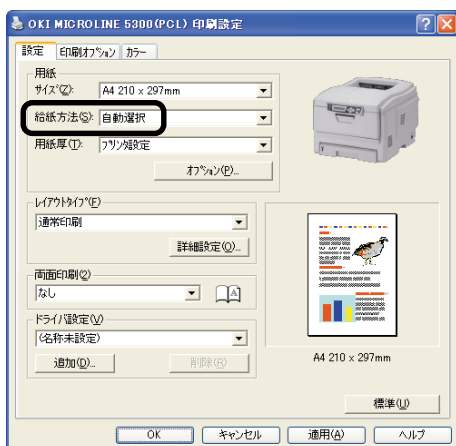
❹ ［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙元］で［全体］、［自動選択］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

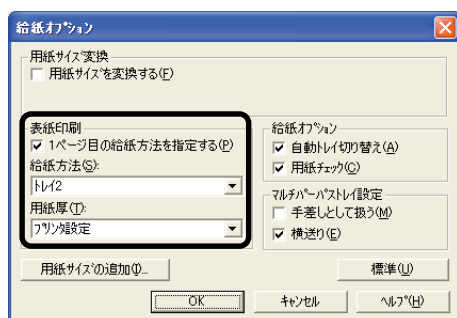
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［全体］、［自動選択］を選択します。

6
章

表紙のみを別のトレイから給紙したい（表紙印刷）

複数ページの印刷ジョブで 1 ページ目を別のトレイから給紙できます。1 ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

注 Windows PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺ ［表紙印刷］の［1 ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

6 章

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙元］で［1 枚目］のラジオボタンをクリックし、［1 枚目］と［残り］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

注 給紙方法でメディアタイプは指定せずに、必ずトレイを選択してください。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ1、トレイ2（オプション）、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

- 必ず操作パネルで、用紙カセットの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。詳しくは「印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。
- メニュー設定の「MP トレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「ショウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

1 操作パネルでMP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［MP トレイ　ノ　ツカイカタ］を表示します。

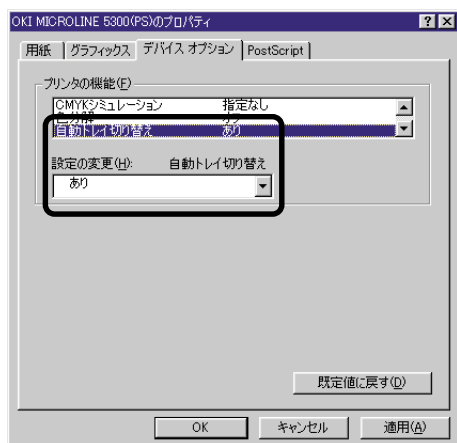
❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［ヨウシチガイ　ノ　トキ］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

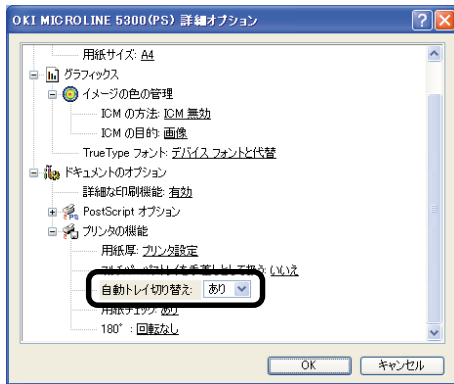
2 プリンタドライバで［自動トレイ切り替え］を設定します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［自動トレイ切り替え］を、［設定の変更］で［あり］を選択します。

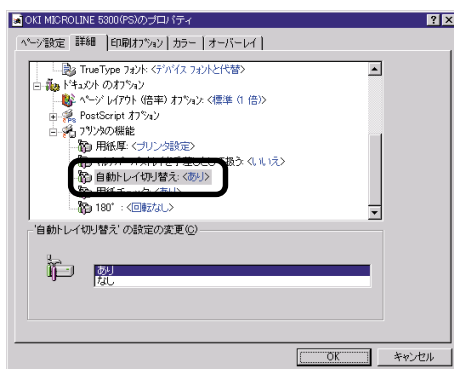
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

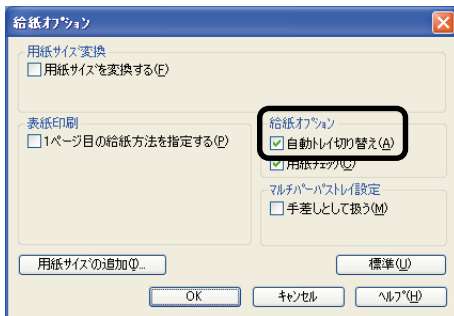
❺ ［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［プリンタの機能］の［+］をクリックし、［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

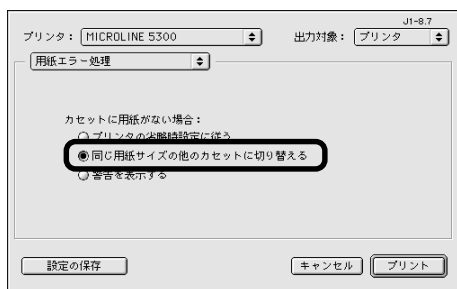
Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

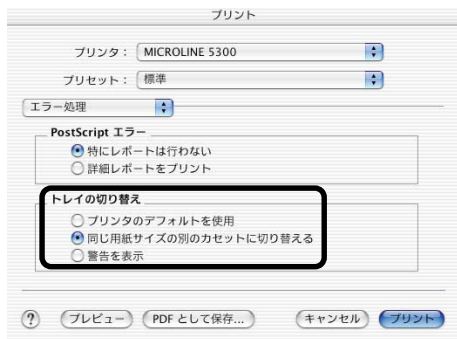
❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺ ［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［用紙エラー処理］パネルの［カセットに用紙がない場合］で［同じ用紙サイズの他のカセットに切り替える］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

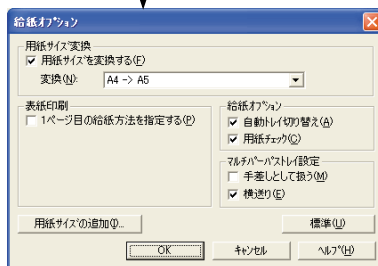
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー処理］パネルの［トレイの切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。

印刷する用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。

❺ ［オプション］をクリックします。

❻ ［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、［変換］で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい

アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

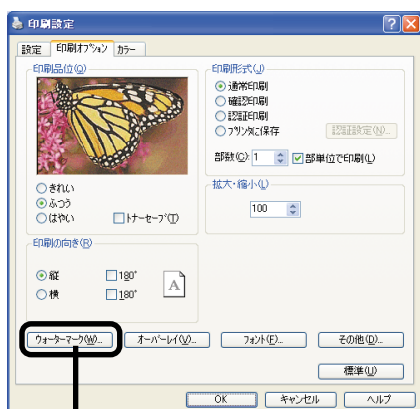
❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

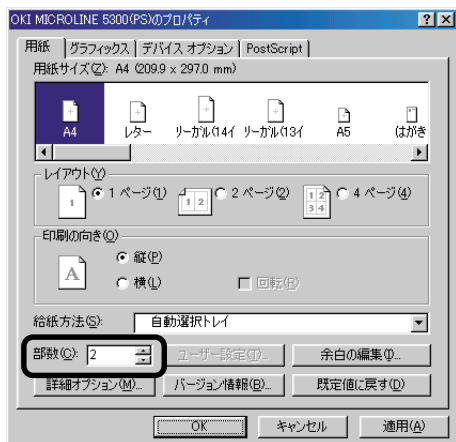
❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

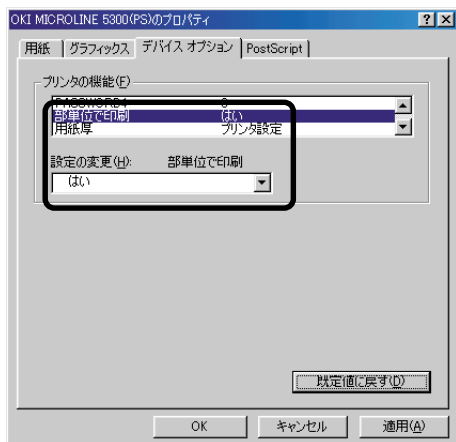
印刷ジョブをプリンタのメモリにスプールして部単位で印刷することができます。

- PSプリンタドライバを利用する場合、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- 印刷ジョブをスプールするメモリの容量が不足した場合、［チョウアイ　エラー］を表示して一部のみ印刷を行います。「オンライン」スイッチを押すとワーニング表示は消えます。プリンタに内蔵ハードディスクが装着されていると、メモリが不足しても内蔵ハードディスクにスプールして印刷します。
- Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバではプリンタのメモリを利用しないで印刷することもできます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［用紙］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［部単位で印刷］を、［設定の変更］で［はい］を選択します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

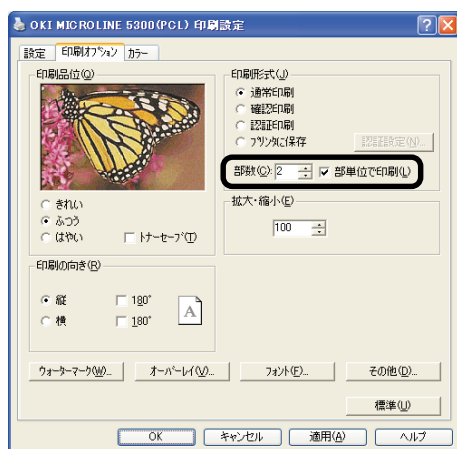
❹ [印刷オプション] タブで [部数] に印刷部数を入力し、[部単位で印刷] にチェックを付けます。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] をクリックします。

❹ [印刷オプション] タブの [部数] に印刷部数を入力し、[部単位で印刷] にチェックを付けます。

Windows PCL プリンタドライバ

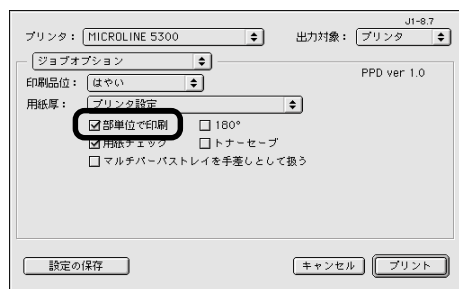
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では [詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブで [部数] に印刷部数を入力し、[部単位で印刷] にチェックを付けます。

6
章

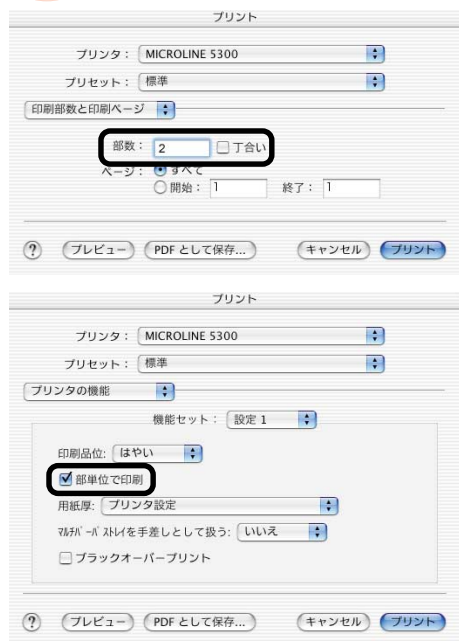
Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［ジョブオプション］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

メモ ［一般設定］パネルの［丁合い］にチェックを付けるとプリンタのメモリを利用しないで印刷します。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では指定できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力し、［プリンタの機能］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

メモ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］にチェックを付けると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。

複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい（確認印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクにスプールし、最初に一部のみ印刷して確認し、その後残りの部数を印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル] を表示して印刷は行われません。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「12　オプション品について」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

1　アプリケーションから印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブで [部数] に印刷部数を入力します。

❺ [印刷形式] で [確認印刷] を選択します。

❻ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
　印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
　4 桁の数字で設定します。

❼ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する] にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK] をクリックします。

ジョブ名
　最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力します。

❺ ［印刷形式］で［確認印刷］を選択します。

❻ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
　印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
　4 桁の数字で設定します。

❼ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
　最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

6章

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力します。

❺ ［印刷形式］で［確認印刷］を選択します。

❻ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
4 桁の数字で設定します。

❼ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力します。

❹ ［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［確認印刷］を選択し、［ジョブ名］、［パスワード］を入力します。

❺ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❻ 印刷します。

2 印刷結果を確認します。

3 問題がなければ、プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ ジョブ メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、[パスワード セッテイ] を表示します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト] で 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ 「設定」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT] が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、「設定」スイッチを押します。

残りの部数の印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❻で 「キャンセル」スイッチを押すと [ジョブ サクジョ Y=ENTER / N=CANCEL] と表示します。「設定」スイッチを押すとジョブを削除できます。
  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ(Windows)でジョブを削除する方法

❶ [スタート] - [プログラム](WindowsXP では [すべてのプログラム]) - [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [スプールジョブの管理] を選択します。

❺ [確認印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワード(初期値は PASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、プリンタに格納されているすべての確認印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除] をクリックします。

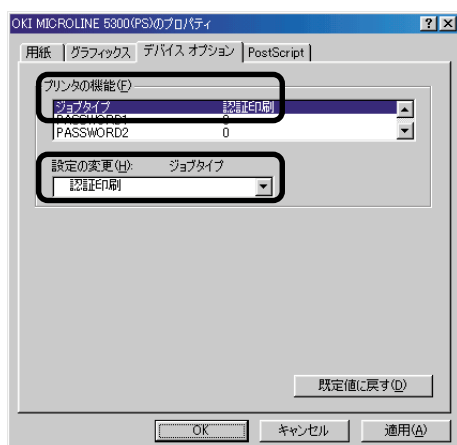
❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクにスプールし、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

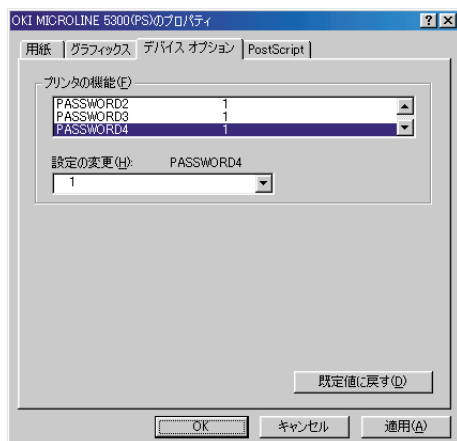
- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル] を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「12　オプション品について」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

1　アプリケーションから印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] をクリックします。

❹ [デバイスオプション] タブの [プリンタの機能] で [ジョブタイプ] を、[設定の変更] で [認証印刷] を選択します。

❺ [プリンタの機能] で [PASSWORD 1～4] を選択し、[設定値の変更] で値を設定します。

PASSWORD 1～4
　4 桁のパスワードの各桁の数字を設定します。

❻ 印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面ができるようになります。
パスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

6
章

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［認証印刷］を選択し、［ジョブ名］、［パスワード］を入力します。

❹ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト]で 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、印刷するジョブ（手順1で入力したジョブ名）を選択します。

❼ 「設定」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、「設定」スイッチを押します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❻で 「キャンセル」スイッチを押すと［ジョブ サクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL］と表示します。「設定」スイッチを押すとジョブを削除できます。
  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶ [スタート] - [プログラム]（WindowsXP では [すべてのプログラム]）- [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [スプールジョブの管理] を選択します。

❺ [認証印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除] をクリックします。

❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

印刷ジョブをスプールして PC の開放を早くしたい（スプール印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクにスプールして、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル] を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「12　オプション品について」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- スプールしない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS/PCL プリンタドライバ

（WindowsXP PS プリンタドライバの画面）

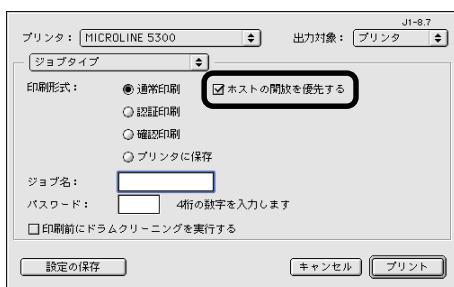
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では [詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [その他] をクリックします。

❺ [ホストの開放を優先する] にチェックを付けます。
（WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバでは [デバイスオプション] タブの [プリンタの機能] で [ホストの開放を優先する] を、[設定の変更] で [オン] を選択します。）

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

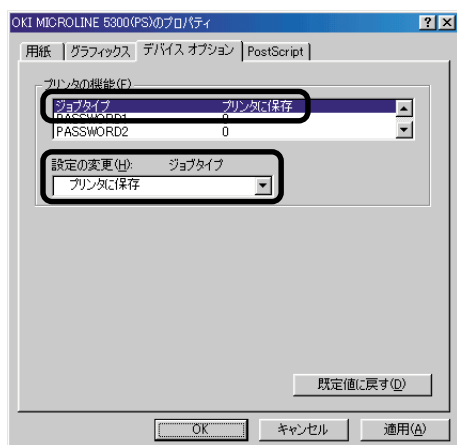
❸ [ジョブタイプ] パネルの [ホストの開放を優先する] にチェックを付けます。

プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷したい

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

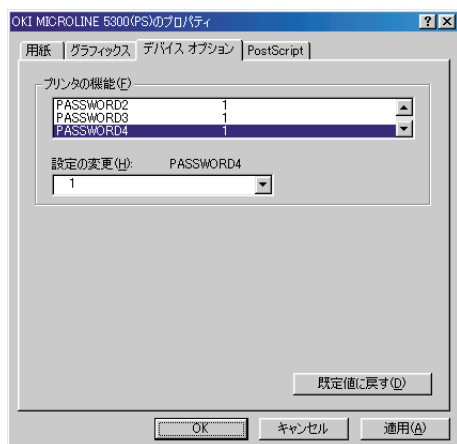
- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル] を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「12　オプション品について」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

1　アプリケーションから印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［ジョブタイプ］を、［設定の変更］で［プリンタに保存］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］で［PASSWORD 1～4］を選択し、［設定の変更］で値を設定します。

PASSWORD 1 ～ 4
　4 桁のパスワードの各桁の数字を設定します。

❻ 印刷します。

6章

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

6章

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
４桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［ジョブ名］、［パスワード］を入力します。

❹ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

6 章

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ] を表示します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー-」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト] で 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー-」スイッチを押し、印刷するジョブ（手順1で入力したジョブ名）を選択します。

❼ 「設定」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT] が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、「設定」スイッチを押します。

印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❻で 「キャンセル」スイッチを押すと [ジョブサクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL] と表示します。「設定」スイッチを押すとジョブを削除できます。
  また、OKIストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKIストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶ [スタート] - [プログラム]（WindowsXPでは [すべてのプログラム]）- [沖データ] - [OKIストレージデバイスマネージャ] - [OKIストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [スプールジョブの管理] を選択します。

❺ [認証印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワード（初期値はPASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

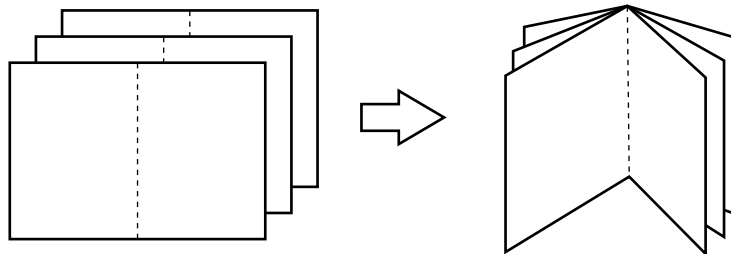
❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除] をクリックします。

❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

小冊子を作りたい（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- WindowsMe/98/95, NT4.0 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- オプションの両面印刷ユニットが必要です。
- プリンタドライバで両面印刷ユニットを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷ユニット」（セットアップ編）をご覧ください。

6
章

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [レイアウト] タブの [シートごとのページ] で [小冊子] を選択します。

❺ [詳細設定] をクリックし、[用紙サイズ] で実際に使用する用紙サイズを選択します。

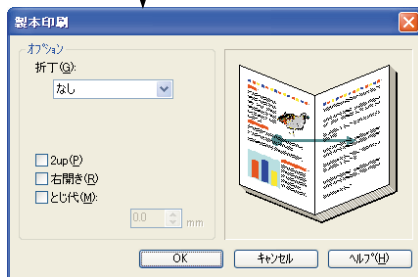
（例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合

[詳細設定] の [用紙サイズ] で [A4] を選択します。

注

[小冊子] 印刷ができない場合は、[プリンタとFAX] または [プリンタ] フォルダの [OKI MICROLINE 5300(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] - [詳細設定] タブで [詳細な印刷機能を有効にする] にチェックを付けてください。

Windows PCL プリンタドライバ

- WindowsXP/2000/NT4.0 でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000で［製本印刷］が選択できない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［折丁］、［2up］、［右開き］、［とじ代］を設定します。

折丁
　製本するページの単位です。
右開き
　小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻ ［設定］タブの［サイズ］で用紙サイズを選択し、［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で該当する値を選択します。

（例）A4サイズの用紙を使用してA5サイズの小冊子を作る場合

［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

6章

プリンタにフォームを登録したい（フォームオーバーレイ）

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」（44 ページ）をご覧ください。
- Windows PS プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PS プリンタドライバ

1　フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］にします。
詳しくは、「印刷データをファイルに出力したい」（162 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［オーバーレイ］タブの［フォームの作成］を選択します。

（WindowsXP の画面）

❻ 印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❼ ［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

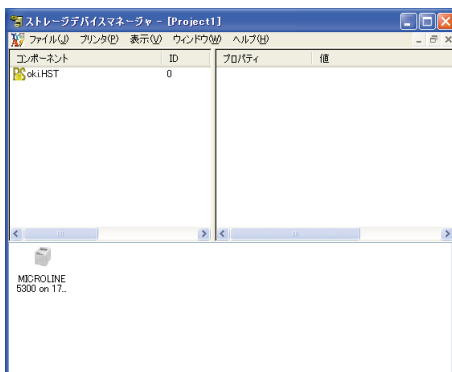
❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ ［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順1で作成したフォームのファイルを選択します。

プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

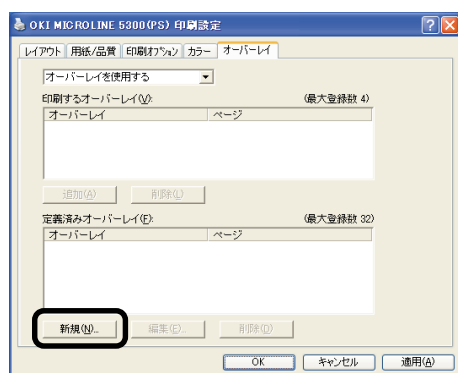
❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

6章

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

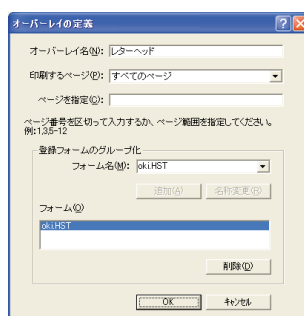
❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。
WindowsXP/2000 の場合
［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。
WindowsNT4.0 の場合
［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ オーバーレイを使用する設定をします。
［オーバーレイ］タブで［オーバーレイを使用する］を選択します。

❹ ［新規］をクリックします。

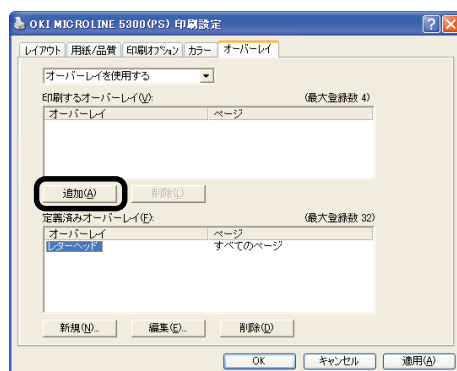
❺ ［フォーム名］にOKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、［追加］をクリックします。

❻ ［オーバーレイ名］を入力し、［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

メモ オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ ［OK］をクリックします。

❽ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

❾ 印刷します。

6章

Windows PCL プリンタドライバ

1 フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」（162 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ ［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

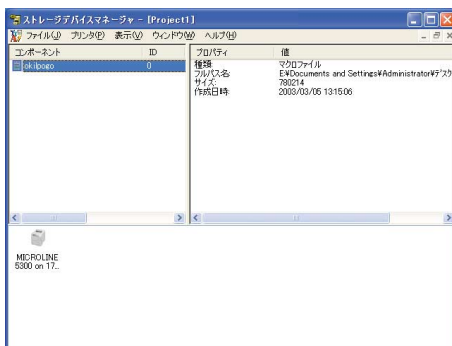
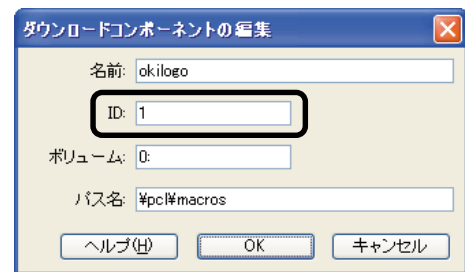
❹ ［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、［ID］に任意の数字を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

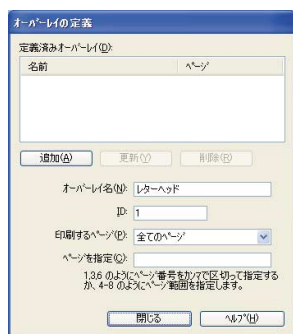
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] (WindowsXP では [詳細設定]) をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション] タブの [オーバーレイ] をクリックします。

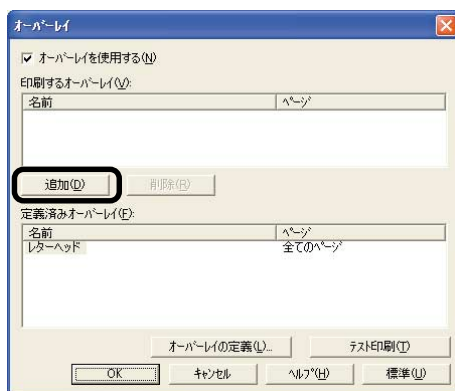
❺ 「オーバーレイ」画面の [オーバーレイを使用する] にチェックを付け、[オーバーレイの定義] をクリックします。

❻ [オーバーレイ名] を入力し、[ID] にOKIストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つの ID (フォームファイル) を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ [印刷するページ] でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、[ページを指定] に適用するページを入力します。

❽ [追加] をクリックします。

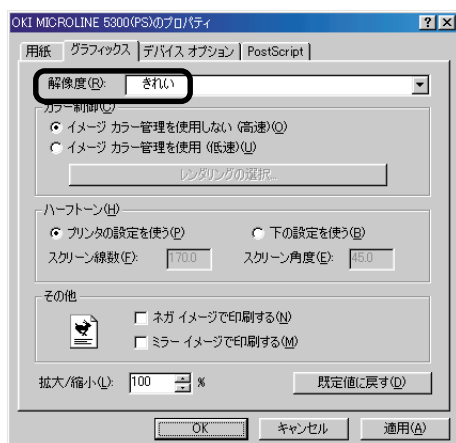
❾ [閉じる] をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加] をクリックします。

⓫ 印刷します。

高解像度で印刷したい

600 × 1200dpi の高解像度で印刷することができます。

PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、[印刷品位] で「ふつう」または「はやい」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] をクリックします。

❹ [グラフィックス] タブの [解像度] で [きれい] を選択します。

6章

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [印刷品位] で [きれい] を選択します。

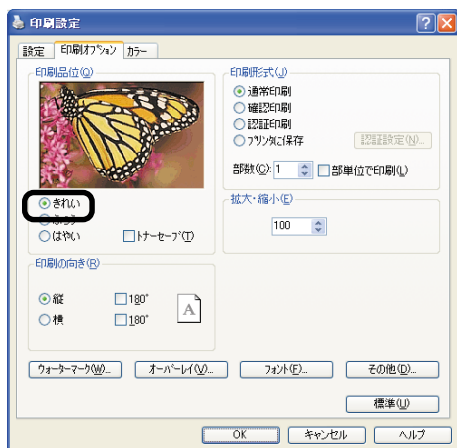
WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] をクリックします。

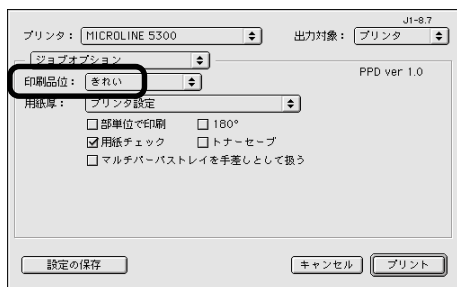
❹ [印刷オプション] タブの [印刷品位] で [きれい] を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブオプション］パネルの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 〜 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ機能］パネルの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

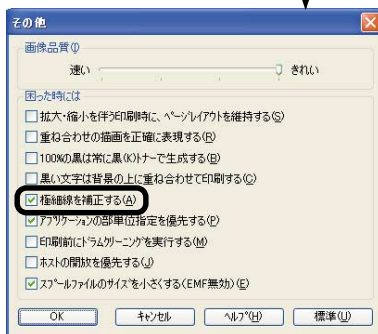
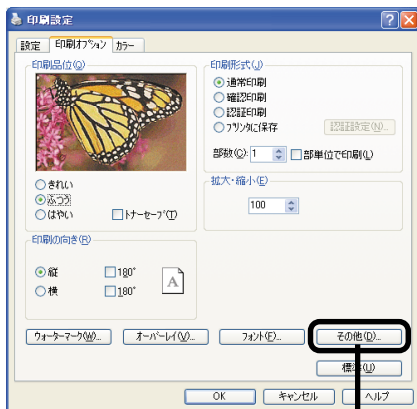
6章

極細線が細くなりすぎるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

メモ　アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

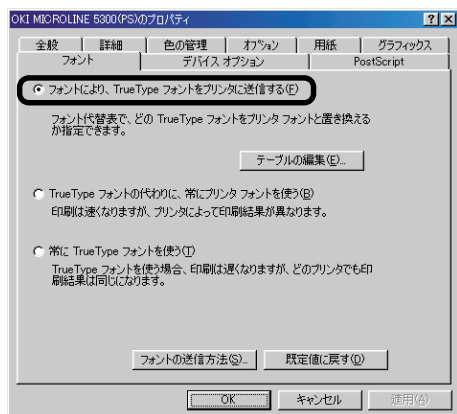
❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［極細線を補正する］にチェックを付けます。

6章

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- Macintosh ではプリンタの内蔵ハードディスクにフォントを追加した場合は、より近い形状のフォントに置き換わる場合があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0 PSプリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［フォント］タブの［フォントにより、TrueType フォントをプリンタに送信する］を選択します。

すべての TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えることはできません。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

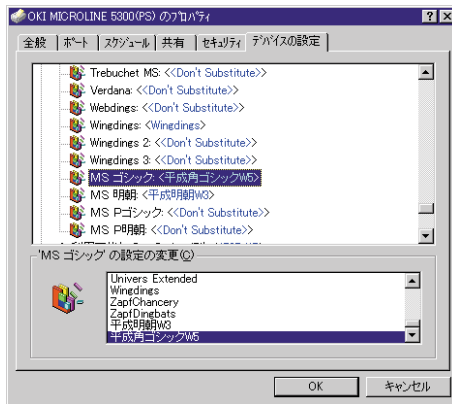
❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❼ ［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］でTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［グラフィックス］の［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

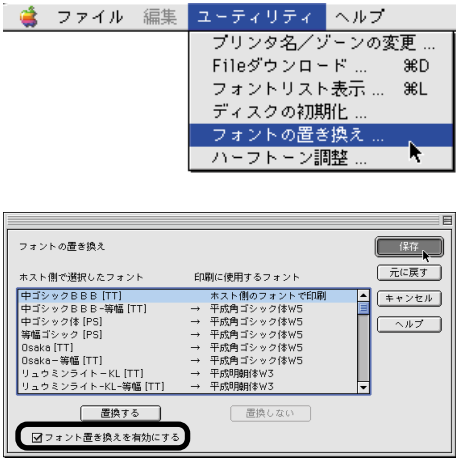
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻ ［フォント置き換えテーブル］で TrueType フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから [フォントの置き換え ...] を選択します。

❸ [ホスト側で選択したフォント] ごとに、[置換する] または [置換しない] をクリックします。

❹ [フォント置き換えを有効にする] にチェックを付けます。

❺ [保存] をクリックします。

置き換えフォント一覧表

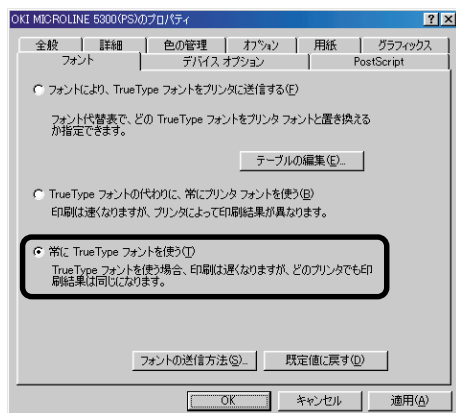
ホスト側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体W5
等幅ゴシック	−	PS	平成角ゴシック体W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体W5
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体W5
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体W3
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体W3
等幅明朝	−	PS	平成明朝体W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体W3
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体W3
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体W5
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体W3
見出ゴMB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体W5
見出ミンMA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体W3
丸ゴシック-M	MaruGothic-Medium	TT	−

TT：TrueTypeフォント
PS：PostScriptフォント

コンピュータのフォントで印刷したい

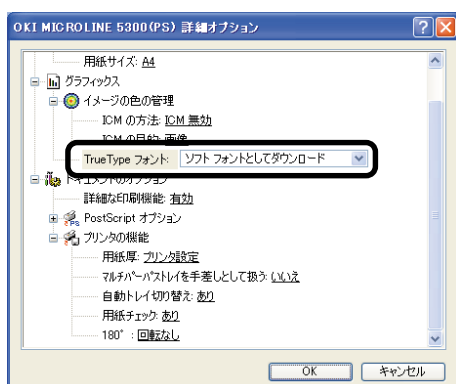
TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

印刷時間が長くなることがあります。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［フォント］タブの［常に TrueType フォントを使う］を選択します。

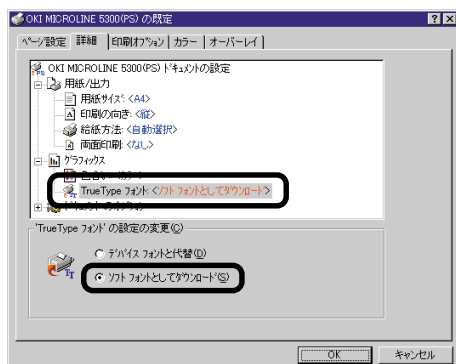
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［TrueTypeフォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［グラフィックス］の［TrueType フォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

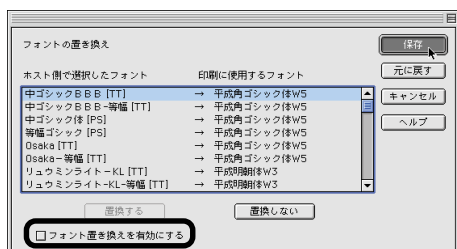
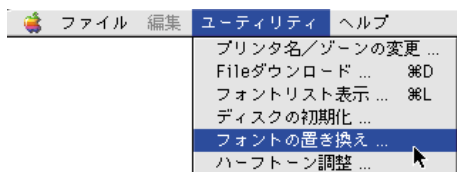
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。
ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントの置き換え ...］を選択します。

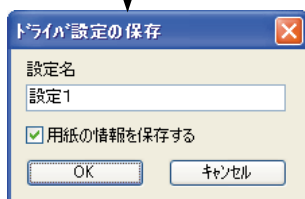
❸ ［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

❹ ［保存］をクリックします。

プリンタドライバの設定に名前を付けて保存したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。

- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
(WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX] をクリックします。)

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合
[OKI MICROLINE 5300(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

WindowsXP/2000 の場合
[OKI MICROLINE 5300(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

WindowsNT4.0 の場合
[OKI MICROLINE 5300(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値] を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ [設定] タブの [ドライバ設定] で [追加] を選択します。

❺ [設定名] に設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

用紙情報を保存する
チェックを付けると、[設定] タブの [用紙] の設定も保存します。

❻ [ドライバ設定] で、使用する設定を選択し、[OK] をクリックします。

メモ　最大 14 個まで保存することができます。

6章

プリンタドライバの初期設定を変更したい

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

WindowsNT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

WindowsNT4.0 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

Macintosh プリンタドライバ

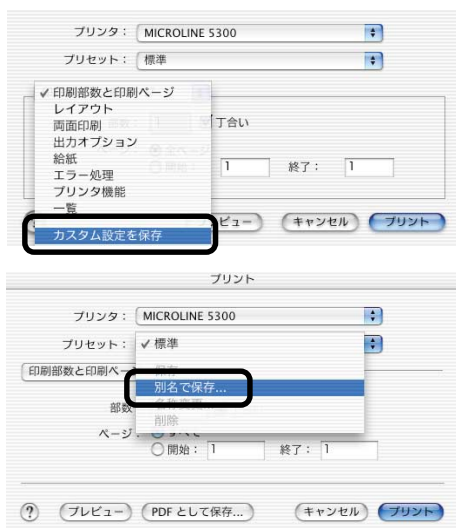
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［設定の保存］をクリックします。

❹ 確認画面で［OK］をクリックします。

・［用紙設定］ダイアログの初期設定は変更できません。
・アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ Mac OS X 10.1.5以前の場合は、［カスタム設定を保存］を選択します。

Mac OS X 10.2以降の場合は、［プリセット］で［別名で保存］を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、［OK］をクリックします。

❺ ［キャンセル］をクリックします。

印刷時に［プリセット］で保存した設定名（Mac OS X 10.1.5以前の場合は［カスタム］）を選択してください。

6章

トナー消費をセーブして試し印刷したい

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に 100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

- 100%黒の色には無効です。
- ASIC カラーマッチングのときだけ有効になります。
- PostScript でCMYK印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYK で印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScript でグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIE カラースペースで印刷データを作成するOS やアプリケーションでは無効となります。

6
章

Windows PS プリンタドライバ

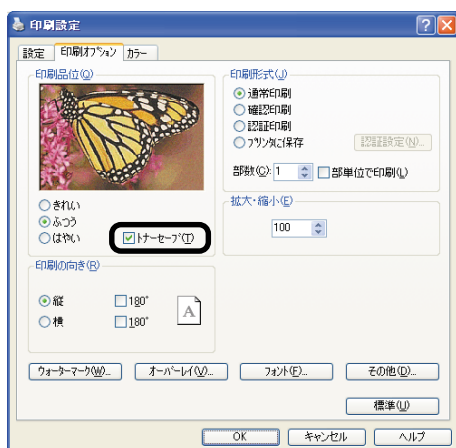
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません）

❹ ［印刷オプション］タブの［トナーセーブ］をチェックします。
（WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバでは、［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［トナーセーブ］を、［設定の変更］で［あり］を選択します。）

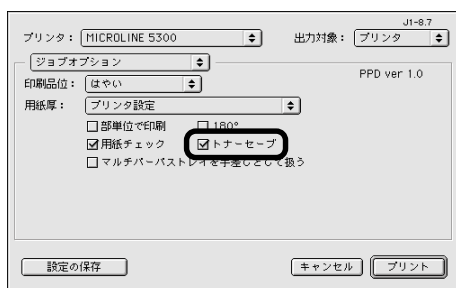
［カラー］タブ（WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバでは［デバイスオプション］タブ）の［印刷モード］で［ASIC カラーマッチング］が選択されていない場合、［トナーセーブ］は選択できません。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [トナーセーブ] をチェックします。

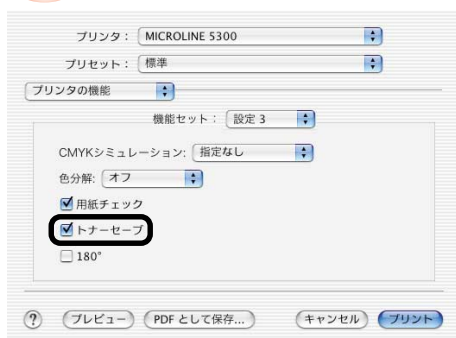
Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [ジョブオプション] パネルの [トナーセーブ] にチェックします。

[カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [ASIC カラーマッチング] が選択されていない場合、[トナーセーブ] は利用できません。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

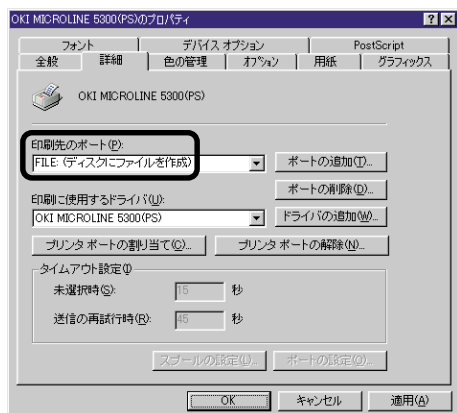
❸ [プリンタ機能] パネルの [トナーセーブ] にチェックします。

- [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [ASIC カラーマッチング] が選択されていない場合、[トナーセーブ] は利用できません。
- OS に添付されるプリンタドライバの制限により、汎用的なアプリケーションで [ASIC カラーマッチング] を指定しても、[PostScript カラーマッチング] で動作します。
- Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

6章

印刷データをファイルに出力したい

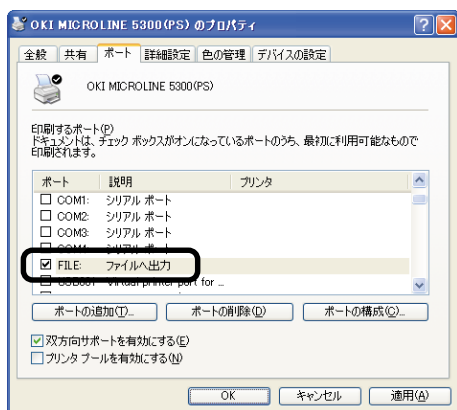
印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

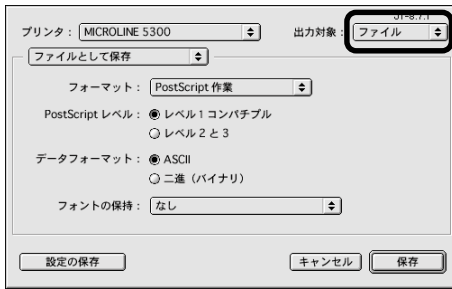
❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［ファイル名］を入力し、［フォルダ］を選択し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［出力先ファイル名］を入力し、［OK］をクリックします。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［出力先］で［ファイル］を選択します。

❹ ［ファイルとして保存］パネルで設定を行います。

フォーマット
ポストスクリプトファイル形式を指定します。
PostScript レベル
出力するプリンタに合わせて指定します。
データフォーマット
アスキー / バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。
フォントの保持
ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScriptフォントしか使っていない場合は［なし］を選択します。

❺ 印刷します。［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

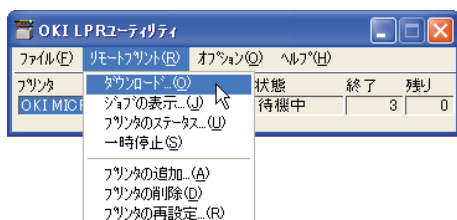
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックを付け、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。

❹ ［別名で保存］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

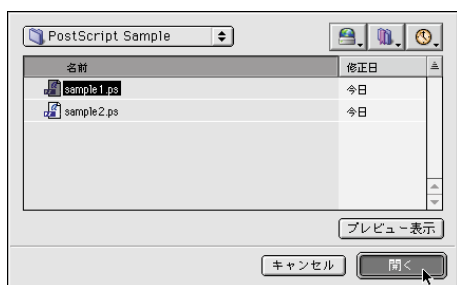
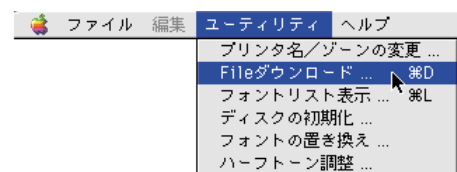
❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

注 Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［Fileダウンロード...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

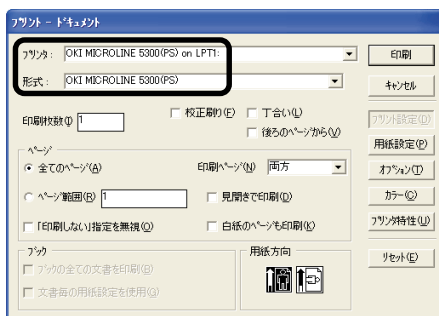
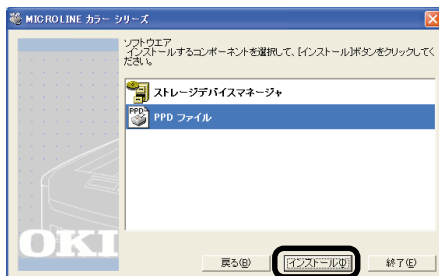
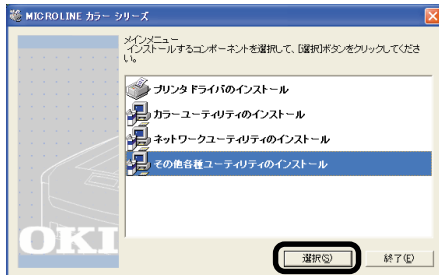
ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

メモ ポストスクリプトファイルをドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

アプリケーション別の対応

PSプリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker（Windows 版）

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0J で印刷するには、PPD ファイルのインストールが必要です。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROM のアイコンを開きます。
〈WindowsXP の場合〉
　［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブルメディアのある領域］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
　［マイコンピュータ］-［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸［SETUP］アイコンをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［その他各種ユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❻［PPD ファイル］を選択し、［インストール］をクリックします。

❼「インストール先の選択」画面が表示されたら、［参照］をクリックして、インストールするフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

PageMaker7.0J の場合 　pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4 PageMaker6.5J の場合 　pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4 PageMaker6.0J の場合 　pm6¥rsrc¥ppd4

❽［次へ］をクリックします。
PPD ファイルがインストールされます。

❾［完了］をクリックします。

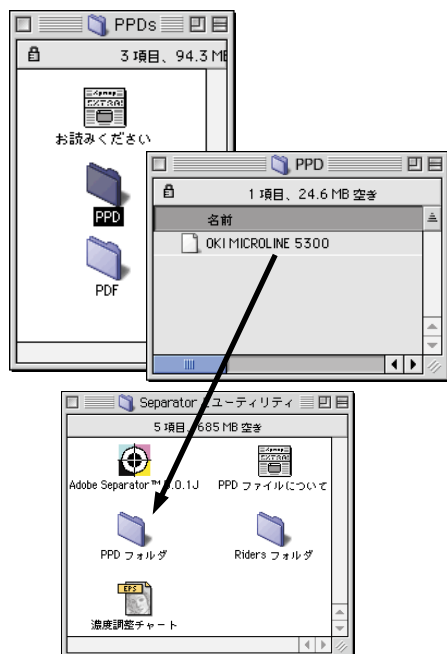
❿［終了］をクリックします。

⓫ PageMakerの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

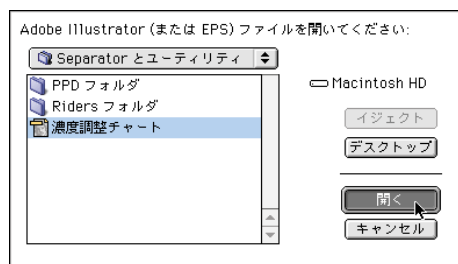
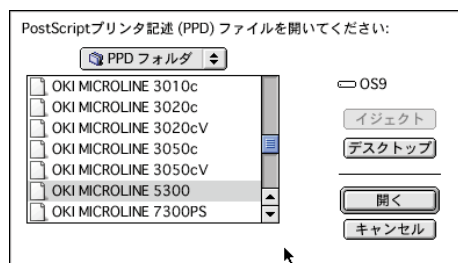
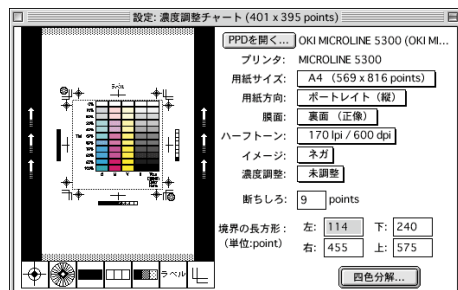
⓬［プリンタ］と［形式］で［OKI MICROLINE 5300(PS)］を選択します。
［プリンタ］はプリンタドライバを、［形式］はPPDファイルを意味しています。

⓭［印刷］をクリックします。

Adobe Separator（Macintosh 版 Illustrator5.5J に付属）

カラーセパレーションをするためには、PPD ファイルのインストールが必要です。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」の「PPDs」フォルダの「PPD」フォルダを開きます。

❷ プリンタの機種に応じた「PPD ファイル」を「Adobe Separator」が入っているフォルダの「PPD フォルダ」にコピーします。

❸「Adobe Separator」をダブルクリックして、起動します。

❹ 印刷するファイルを選択し、[開く]をクリックします。

❺ 使用するプリンタのPPDファイルを選択し、[開く] をクリックします。
一度PPDファイルを選択していると、この画面は表示されません。

❻「プリンタ」と「PPD ファイル」が正しく設定されているか確認します。

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- カラーマッチングを行うには、[補助] メニューの [Xtention マネジャー] で [Quark CMS] が ON になっている必要があります。
- [ファイル] メニューの [印刷] - [出力] パネルで [ハーフトーン] を必ず [プリンタ] にしてください。[計算値] にすると印刷が粗くなります。
- Macintosh と USB で接続している場合は [ファイル] メニューの [印刷] - [プリンタフォント] タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは [プリンタフォント] タブの [ポストスクリプト印刷] の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- [ファイル] メニューの [用紙設定] で [ハーフトーンスクリーン] をクリックし、[プリンタの初期設定値を使う] を必ずONにしてください（Macintoshでは [ファイル] メニューの [用紙設定] - [Adobe PhotoshopXX] パネルの [ハーフトーンスクリーン]）。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

6
章

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- [ファイル] メニューの [書類設定] で [プリンタの初期設定値を使う] を必ずONにしてください。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macromedia FreeHand9.0/8.0J（Macintosh 版）

- ICC プロファイルが表示されない場合は、[システムフォルダ] の [ColorSync 特性] または [ColorSync プロファイル] にある [OKI MICROLINE5300 1200dpi (PS)]、[OKI MICROLINE5300 600dpi (PS)] ファイルを [システムフォルダ] - [初期設定] - [ColorSync™ 特性] フォルダにコピーしてください。

7 カラーについて

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンタは白（白色光）に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。
RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム（CMS）といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

○：動作する
×：動作しない
－：機能なし
△：一部のアプリケーションでは動作する

	ﾌﾟﾘﾝﾀに内蔵のｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ(ASIC)	ﾌﾟﾘﾝﾀに内蔵のｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ(PostScript CRD)	WindowsのImage Color Matching (ICM)	ICCﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用したｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ(ICM)	MacintoshのColorSync	ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝのｶﾗｰﾏｯﾁﾝｸﾞ
WindowsMe/98 PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	○	×	－	○
Windows95 PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	○	－	－	○
Windows2000/XP PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	○	○	－	○
WindowsNT4.0 PSﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	－	－	－	○
Windows PCLﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	－	×	－	－	○
MacOS 8 / 9 ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	○	○	－	－	○	○
Mac OS X ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	△	○	－	－	×	○

注

「Image Color Matching」、「Color Sync」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

簡単にカラーマッチングしたい（プリンタに内蔵のASICカラーマッチング）

プリンタに搭載されている専用アクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換する際にカラーマッチング処理が適用されます。

- RGBカラースペースの印刷データに対して有効です。
- CMYKカラースペースの印刷データに対しては「ASICカラーマッチング」を選択してもカラーマッチングは適用されません。この場合は「PostScriptカラーマッチング」を選択してください。
- Mac OS XではOSに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASICカラーマッチング」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となます。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

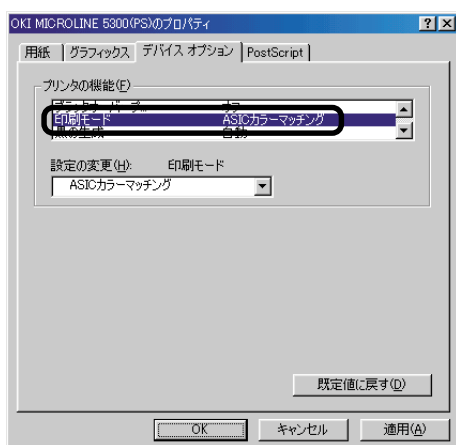
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［印刷モード］を、［設定の変更］で［ASICカラーマッチング］を選択します。

必要に応じて、［カラー調整］を変更します。

7章

［カラー調整］
カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

・モニタ（6500K）／自動
カラーマッチングの際に、モニタ（色温度6500K）との相性を重視した上で、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。
・モニタ（6500K）／コントラスト重視
カラーマッチングの際に、モニタ（色温度6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
・モニタ（6500K）／鮮やかさ重視
カラーマッチングの際に、モニタ（色温度6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
・モニタ（9300K）
カラーマッチングの際に、モニタ（色温度9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
・デジタルカメラ
カラーマッチングの際に、写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。
・sRGB
プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

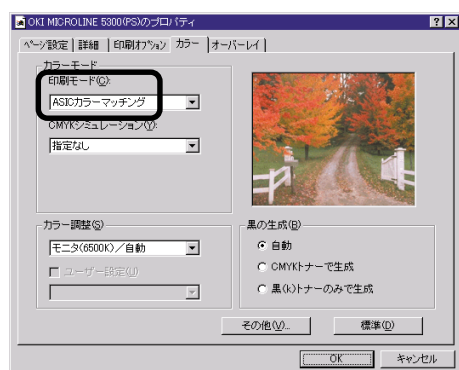
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［ASICカラーマッチング］を選択します。
必要に応じて、［カラー調整］を変更します。

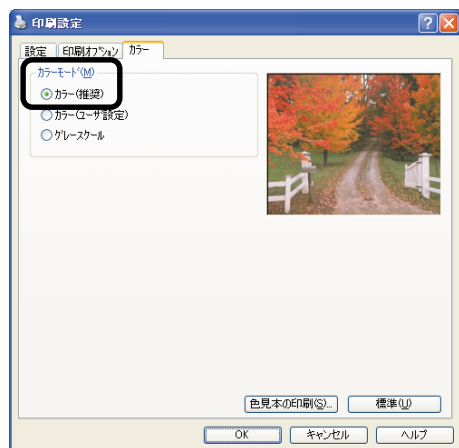
ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICMの方法］で［ICM無効］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［ASICカラーマッチング］を選択します。
必要に応じて、［カラー調整］を変更します。

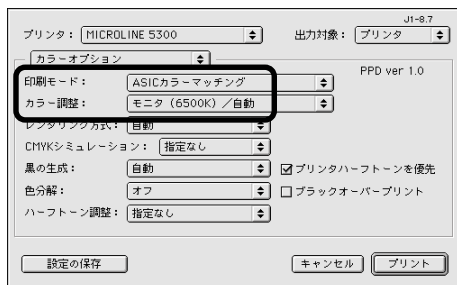
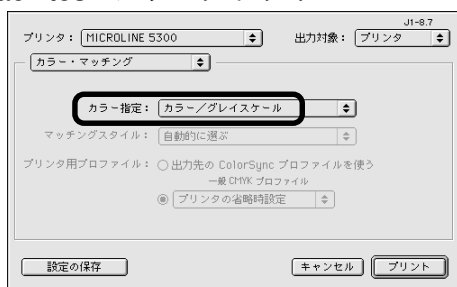
Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（推奨）］を選択します。

メモ　［カラー（ユーザ設定）］にすると［カラー調整］、［黒の生成］、［明暗の調整］が設定できます。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

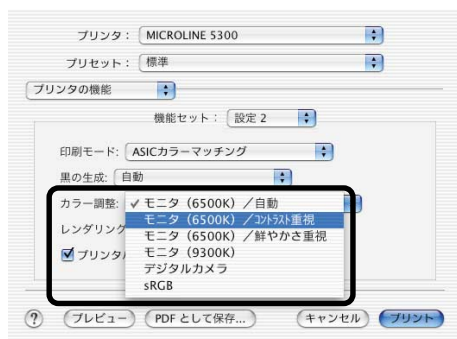
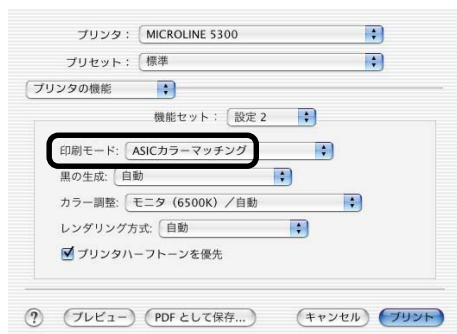
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー･マッチング］パネルの［カラー指定］で［カラー／グレースケール］を選択します。

❹ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［ASICカラーマッチング］を選択します。

必要に応じて、［カラー調整］を変更します。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ機能］パネルの［印刷モード］で［ASIC カラーマッチング］を選択します。

必要に応じて、［カラー調整］を変更します。

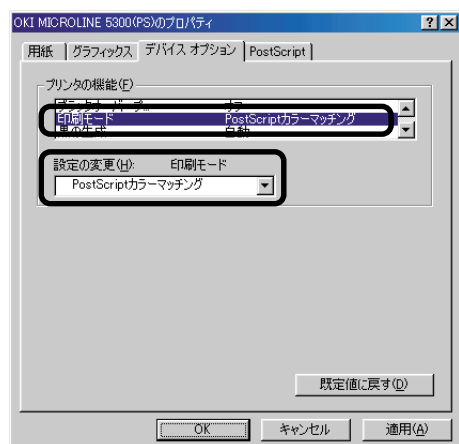
注 Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASIC カラーマッチング」を指定しても、「PostScript カラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

7
章

簡単にカラーマッチングしたい（PostScript カラーマッチング）

PostScript言語の標準のカラーマッチング機構であるカラーレンダリング辞書（CRD）を使用してカラーマッチングを行います。

- この機能は PS ドライバでのみ利用できます。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］をクリックします。
4. ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［印刷モード］を、［設定の変更］で［PostScript カラーマッチング］を選択します。

   必要に応じて、［レンダリング方式］を変更します。

［レンダリング方式］
カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法でカラーマッチングします。通常はこの設定でお使いください。
- コントラスト重視
  階調性（明暗の調子）を重視した方法でカラーマッチングします。すべての色はプリンタの色域内の色に均等に変換されます。写真に適しています。
- 鮮やかさ重視
  鮮やかさを重視した方法でカラーマッチングします。プリンタの色域外の色は彩度の近い色域内の色に変換されます。図形、文字に適しています。
- カラーメトリック
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。またマッチングの際に白部分への着色を抑制します。特定の色をマッチングするのに適しています。
- 絶対色彩
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。「カラーメトリック」で淡い色部分の若干の色の誤差がでる場合に選択します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

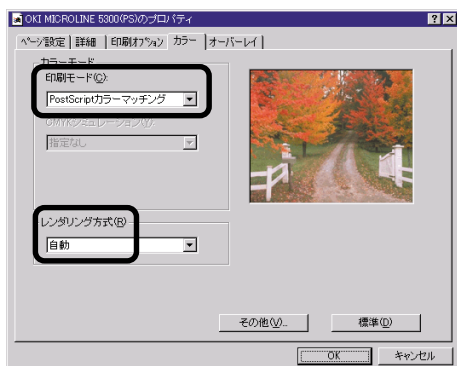
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［PostScript カラーマッチング］を選択します。
必要に応じて、［レンダリング方式］を変更します。

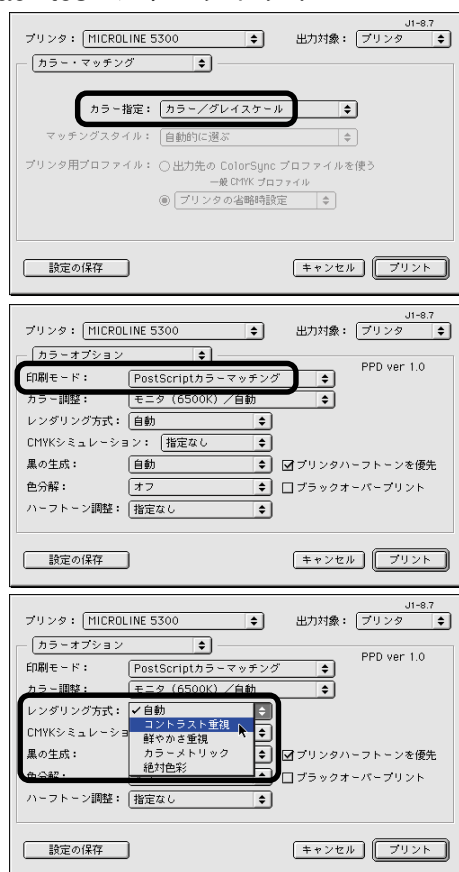
ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICMの方法］で［ICM無効］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［PostScript カラーマッチング］を選択します。
必要に応じて、［レンダリング方式］を変更します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー・マッチング］パネルの［カラー指定］で［カラー／グレースケール］にします。

❹ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［PostScript カラーマッチング］を選択します。

必要に応じて、［レンダリング方式］を変更します。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 〜 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ機能］パネルの［印刷モード］で［PostScript カラーマッチング］を選択します。

必要に応じて、［レンダリング方式］を変更します。

7章

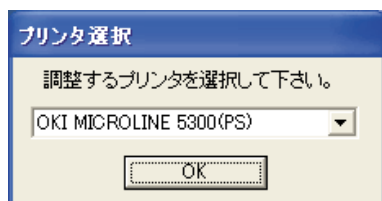
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい(Windows)

カラー調整ユーティリティを使用して､画面上の特定の色とプリンタの出力が近づくようにカラーマッチングすることができます。

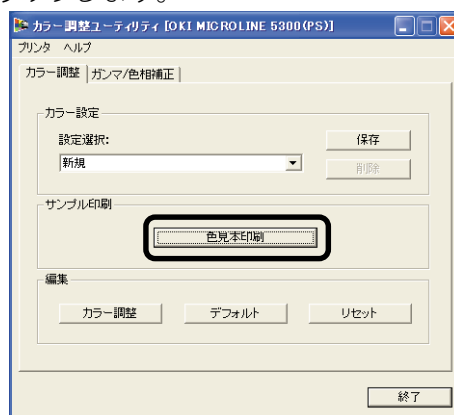
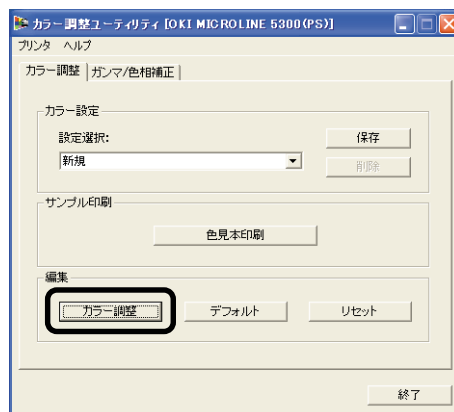
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、46ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合､WindowsXP/2000/NT4.0ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷「プリンタ選択」画面が表示されたら､使用するプリンタを選択し､［OK］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

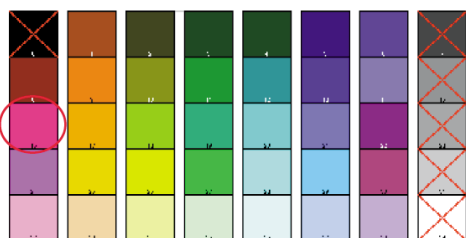
❸［カラー調整］タブで［色見本印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❹［カラー調整］をクリックします。

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❺ ［テスト印刷］をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

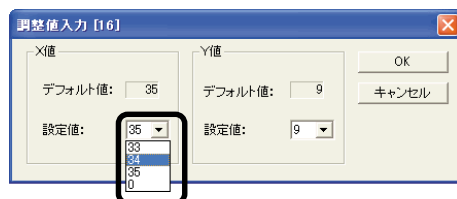
❻ 「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。変更したい色がある場合や「パレットカラー調整」画面の表示と近づけたい色がある場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

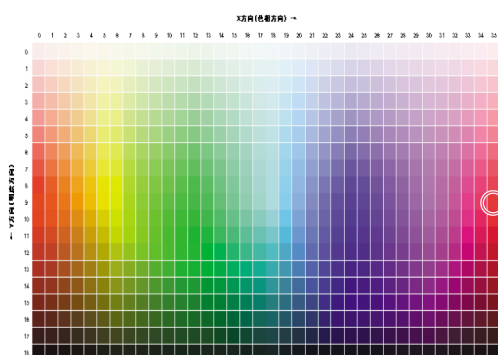
《調整対象色サンプル》

注 ×印がついている色は調整できません。

《「パレットカラー調整」画面》

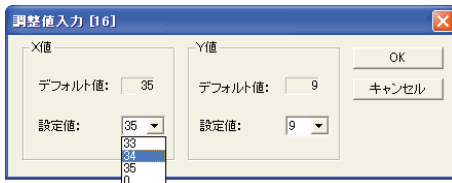
❼ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❽ X値、Y値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❾ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X方向（色相）、Y方向（明度）の値（X値、Y値）を確認します。

⑩ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⑪ 「調整値入力」画面で、❾で確認したX値とY値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⑫ [テスト印刷] をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色と一致しているか確認し、[設定] をクリックします。

他にも調整したい色がある場合は、❼～⑫を繰り返します。

⑬ [保存] をクリックします。

⑭ 「調整名保存」画面で、設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

⑮ [設定選択]に保存したカラー調整名が表示されます。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

⑯ [終了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2　プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラー調整］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

注 ［印刷モード］が［ASIC カラーマッチング］の場合にのみ有効です。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

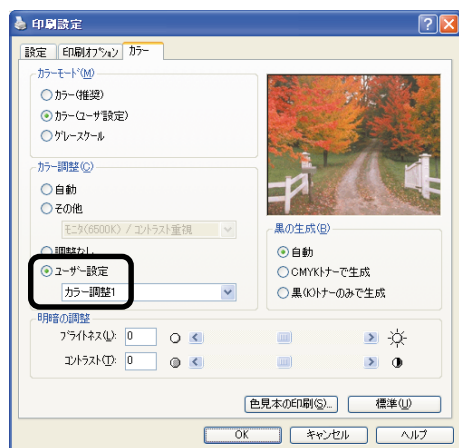
❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

❺ ［カラー調整］で［ユーザー設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

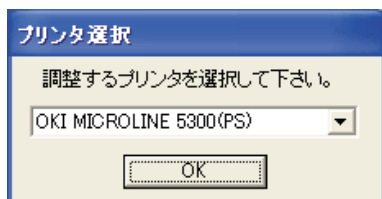
7章

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい(Windows)

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、46 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、WindowsXP/2000/NT4.0 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶ ［スタート］-［プログラム］(WindowsXP では［すべてのプログラム］)-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷ 「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、［OK］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

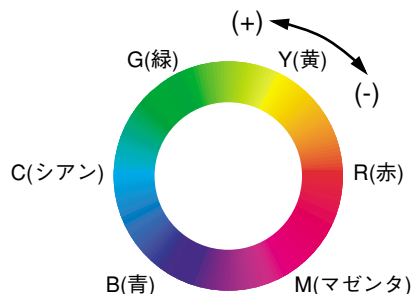
メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❸ ［ガンマ／色相補正］タブをクリックします。［設定選択］で、補正したいカラー調整モードを選択します。

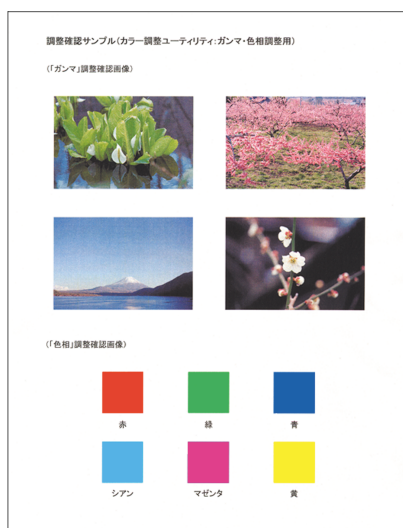
❹ ［ガンマ値］、［色相値］の各スライドバーの値を変更して調整します。

色相スライドバーの説明	
R…赤	C…シアン
Y…黄色	B…青
G…緑	M…マゼンタ

メモ

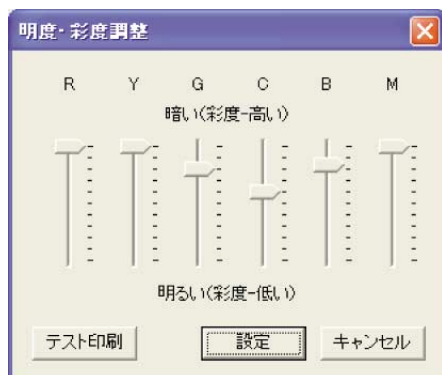
- ［ガンマ値］を上方向に調整するほど明るくなります。
- ［色相値］は色相環の順方向（＋）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすとG（緑）に近づき、（－）方向に動かすとR（赤）に近づきます。

メモ
- [プリンタ色相]にチェックを付けると、プリンタの標準の色相に一致させることができ、以下のように印刷します。

色相	印刷トナー
R	イエロー 50% + マゼンタ 50%
Y	イエロー 100%
G	シアン 50% + イエロー 50%
C	シアン 100%
B	マゼンタ 50% + シアン 50%
M	マゼンタ 100%

5 [テスト印刷] をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

6 調整結果を確認します。

明度、彩度を調整する場合
☞ 7 に進みます。
調整を終了する場合
☞ 10 に進みます。

7 [明度 / 彩度] をクリックします。

「明度・彩度調整」画面が表示されます。

8 各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ スライドバーを上方向に調整すると暗くなり、彩度は高くなります。

9 [テスト印刷] をクリックして調整結果を確認し、[設定] をクリックします。

10 [保存] をクリックします。

11 「調整名保存」画面で、設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

12 [設定選択] に保存したカラー調整名が表示されます。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

13 [終了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

7章

2　プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では [詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー] タブの [カラー調整] で [ユーザ設定] にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

注 [印刷モード] が [ASIC カラーマッチング] の場合にのみ有効です。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では [詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー] タブの [カラーモード] で [カラー（ユーザ設定）] を選択します。

❺ [カラー調整] で [ユーザー設定] にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

自分でICCプロファイルを定義してカラーマッチングしたい

ICC プロファイル

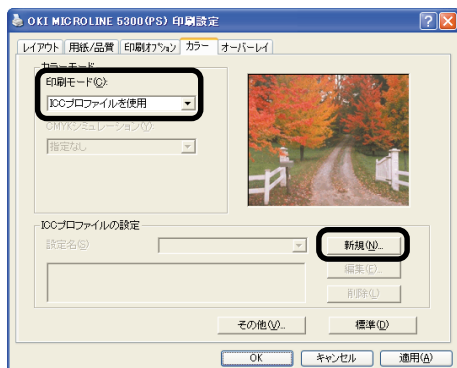
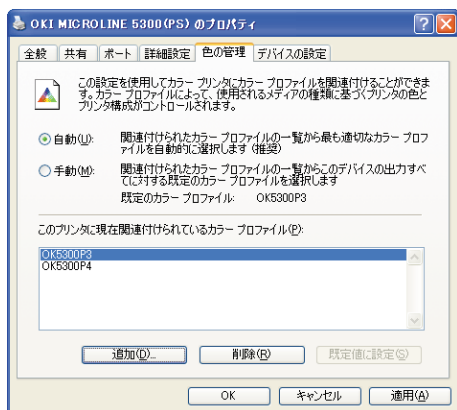
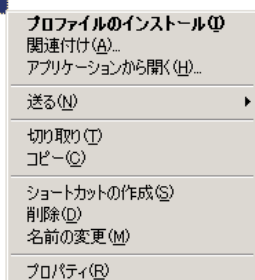
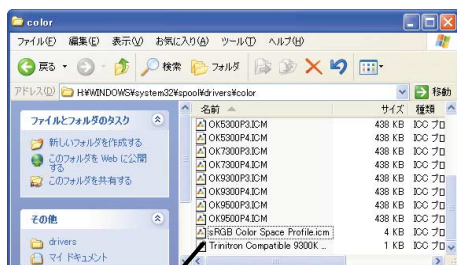
ICC（International Color Consortium）により規定されたフォーマットに準拠した、入出力装置のカラーの特性を記述したファイルです。カラーマッチング処理の際に、装置に依存するカラー空間から、XYZ表色系やCIE L*a*b*表色系などの装置に依存しないカラー空間への変換、あるいはその逆の変換のために使用されます。
プリンタ用に添付されたICCプロファイルはCMYK出力装置として定義されています。CMYK出力装置のプロファイルを読み込めるアプリケーションソフトでご使用いただけます。
「プリンタソフトウェアCD-ROM」に添付されたICCプロファイルにはプリンタごとに1200×600dpi用と600dpi用があります。印刷時の解像度設定に合わせて選択してください。
ICCプロファイルは、プリンタドライバをインストールすると自動的に以下のディレクトリにインストールされます。WindowsXP/2000では、自動的にインストールされませんので「WindowsのImage Color Matchingを使いたい」（188ページ）の手順で追加してください。

- WindowsXP PS プリンタドライバ
  Cドライブ-［Windows］-［system32］-［spool］-［drivers］-［color］フォルダ内
- WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ
  Cドライブ-［Windows］-［system］-［color］フォルダ内
- Windows2000 PS プリンタドライバ
  Cドライブ-［WINNT］-［system32］-［spool］-［drivers］-［color］フォルダ内
- Macintosh
  ColorSync2.1：［システムフォルダ］-［初期設定］-［ColorSync™特性］フォルダ内
  ColorSync2.5/2.6：［システムフォルダ］-［ColorSync特性］フォルダ内
  ColorSync3.0：［システムフォルダ］-［ColorSyncプロファイル］フォルダ内

ICC プロファイルを指定したカラーマッチング

任意のRGB入力装置（モニタやスキャナ）とCMYK出力装置（プリンタ）を指定することで、入出力装置間のカラーマッチングを指定することができます。
ユーザ自身で測色機やプロファイル作成ツールを使ってプリンタ用のプロファイルを作成･カスタマイズができる上級ユーザ向けの機能となります。
カラーマッチングにWindows ICMを使用して指定された任意の入力装置と出力装置間のカラーマッチングのレンダリングルールを定義したPostScriptのカラースペース配列（Color Space Array）とカラーレンダリング辞書(Color Rendering Dictionary)を構築し、プリンタにダウンロードします。
プリンタはダウンロードされるPostScriptのカラースペース配列（Color Space Array）とカラーレンダリング辞書(Color Rendering Dictionary)を用いてカラーマッチング処理を行います。

- この機能はWindowsXP/2000 PSプリンタドライバでのみ利用できます。WindowsMe/98/95/NT4.0 PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- Windows XP/2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 一般的なアプリケーションで使用されるRGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換する際にカラーマッチング処理が適用されます。アプリケーションがRGBカラースペース以外のデータを扱う場合にはカラーマッチングが適用されません。
- RGB入力装置（モニタやスキャナ）用のプロファイルの入手方法は各装置のメーカにお問い合わせください。
- この機能は共有プリンタの場合にはご利用できません。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ C ドライブ - [Windows] - [system32] - [spool] - [drivers] - [color] フォルダ（Windows2000では、Cドライブ-[WINNT]-[system32] - [spool] - [printer] - [color] フォルダ）を開きます。

❷ カラーマッチングの対象とするRGB入力装置（モニタやスキャナ）のICCプロファイルを見つけます。

注 入力装置（モニタやスキャナ）用のプロファイルが見つからない場合には各入力装置のメーカや販売元に入手方法等をお問い合わせください。

❸ プロファイルを右クリックし、[プロファイルのインストール] を選択します。

注 プロファイルのアイコンが白になっている場合には、既にインストールされていますのでこの操作は必要ありません。

❹ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。（Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。）

❺ [OKI MICROLINE 5300(PS)] をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

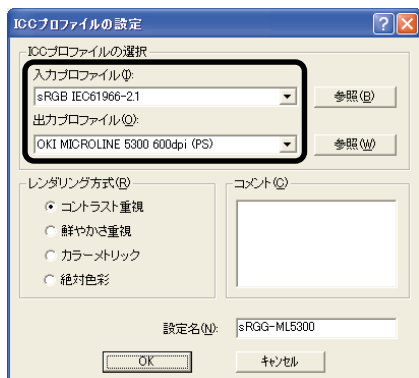
❻ [色の管理] タブで [追加] をクリックします。

❼ [ファイルの場所] でICCプロファイルを選択し[追加] をクリックし、[OK] をクリックします。

注 プリンタに標準添付された ICC プロファイルを使用する場合には [プリンタソフトウェア CD-ROM] をセットし、CD-ROM 内の [ICM] - [PS] フォルダを指定して、ICC プロファイル [OK5300P3（1200 × 600dpi）] または [OK5300P4（600dpi）] を選択します。

❽ [OKI MICROLINE 5300(PS)] をマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❾ [カラー] タブの [印刷モード] で [ICCプロファイルを使用] を選択し、[新規] をクリックします。

7章

⓾ ［入力プロファイル］でモニタやスキャナ等のお使いの入力装置を選択します。

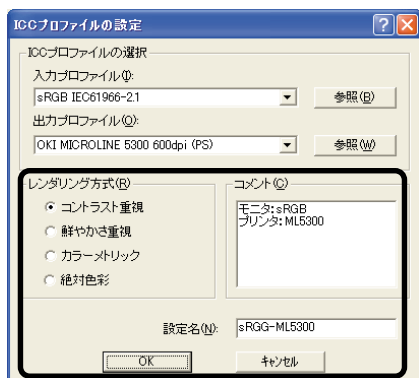
装置名が表示されていない場合には、右側の［参照］をクリックしてICCプロファイルを選択します。

⓫ ［出力プロファイル］でプリンタのICCプロファイルを選択します。

- 装置名が表示されていない場合には、右側の［参照］をクリックしてICCプロファイルを選択します。
- プリンタに標準添付されたICCプロファイルはメニュー中にプリンタ名右横に解像度表示を伴って表示されています。［印刷品位］の指定が［きれい］であれば1200dpi、［ふつう］、［はやい］では600dpiと記述されたプロファイルを選択します。

⓬ 必要に応じて［レンダリング方式］を選択し、コメント欄にコメントを入力します。

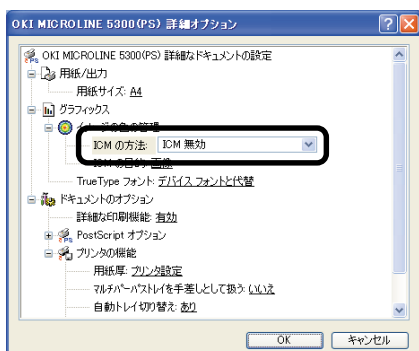
⓭ ［設定名］を入力し、［OK］をクリックします。

選択したプロファイルによっては、必要なタグ情報の不足等によりカラーマッチングに必要なデータが作成されない場合があります。

［レンダリング方式］
カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

・コントラスト重視
階調性（明暗の調子）を重視した方法でカラーマッチングします。すべての色はプリンタの色域内の色に均等に変換されます。写真に適しています。

・鮮やかさ重視
鮮やかさを重視した方法でカラーマッチングします。プリンタの色域外の色は彩度の近い色域内の色に変換されます。図形、文字に適しています。

・カラーメトリック
プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。またマッチングの際に白部分への着色を抑制します。特定の色をマッチングするのに適しています。

・絶対色彩
プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。「カラーメトリック」で淡い色部分に若干の色の誤差がでる場合に選択します。

⓮ アプリケーションを起動します。

⓯ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

⓰ [詳細設定] をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

⓱ [レイアウト] タブで [詳細設定] をクリックし、[ICMの方法] を [ICM無効] にし、[OK] をクリックします。

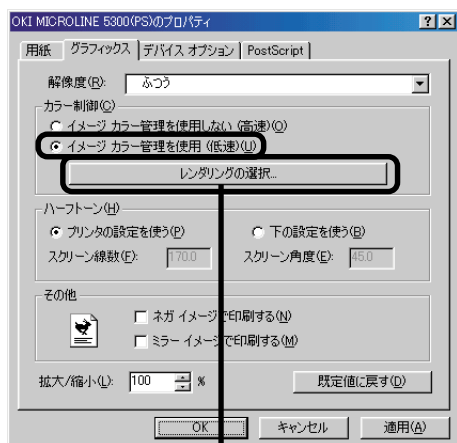
⓲ [カラー] タブの [印刷モード] で [ICCプロファイルを使用] を選択し、[設定名] で手順 ⓭ で付けた設定名を選択します。

7
章

Windows の Image Color Matching を使いたい

Windows Me/98/95/2000/XP に標準のイメージカラーマッチング（ICM）を使用して、モニタ（画面表示色）と印刷結果の間でカラーマッチングを行います。Windows ICM は、ICC プロファイルを参照して、表示装置に依存したカラー表現を、装置に依存しない国際的なカラー標準の値に変換し、さらに装置に依存しないカラー表現をプリンタの印刷色にマッチングさせます。カラーマッチング処理時には、モニタ用の ICC プロファイル（色の特性を記述したファイル）と、［色の管理］タブで割り当てられているプリンタ用 ICC プロファイルが参照されます。

- アプリケーションが「Image Color Matching」に対応している必要があります。
- 一般的なアプリケーションで使用される RGB カラースペースの印刷データをプリンタの CMYK カラースペースに変換する際にのみカラーマッチング処理が適用されます。
- モニタのキャリブレーションが完了していることを確認してください。
- WindowsXP/2000 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ、Windows PCL プリンタドライバでは利用できません。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［グラフィックス］タブの［カラー制御］で［イメージカラー管理を使用］を選択します。

❺ ［レンダリングの選択］をクリックし、［レンダリングの目的］を選択します。

7
章

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［色の管理］タブで［追加］をクリックします。

❹ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺ ［ファイルの場所］でCD-ROM内の［ICM］-［PS］フォルダを指定し、ICCプロファイル［OK5300P3（1200×600dpi）］または［OK5300P4（600dpi）］を選択し［追加］をクリックします。

❻ アプリケーションを起動します。

❼ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❽ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❾ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❿ ［ICMの方法］で［プリンタによるICM処理］を選択します。
必要があれば、［ICMの目的］で適当な項目を選択し、［OK］をクリックします。

⓫ ［カラー］タブの［印刷モード］で［カラーマッチングオフ］を選択します。

グラフィックス
　鮮やかさを重視した色になります。プリンタの色域外の色は、彩度の近い色域内の色に変換されます。図形、文字に適しています。
画像
　明暗の変化を重視した色になります。すべての色はプリンタの色域内に均等に変換されます。写真に適しています。
色の校正
　「完全一致」と同じですが、白地への着色を抑えます。
完全一致
　プリンタの色域内の色は補正を行いません。プリンタの色域外の色はもっとも近いプリンタ色に変換されます。

7章

Macintosh の ColorSync を使いたい

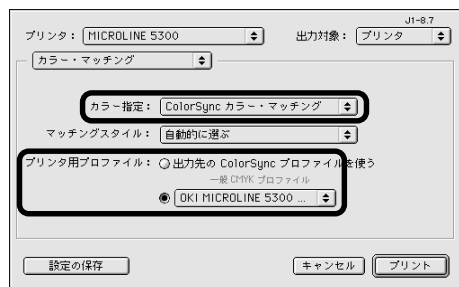
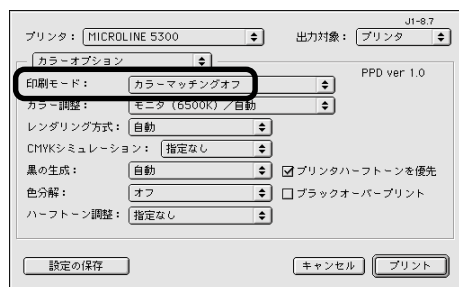
- アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。
- モニタのキャリブレーション、ICCプロファイル設定が完了していることを確認してください。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

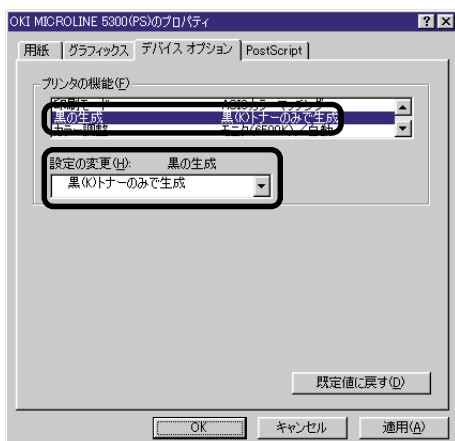
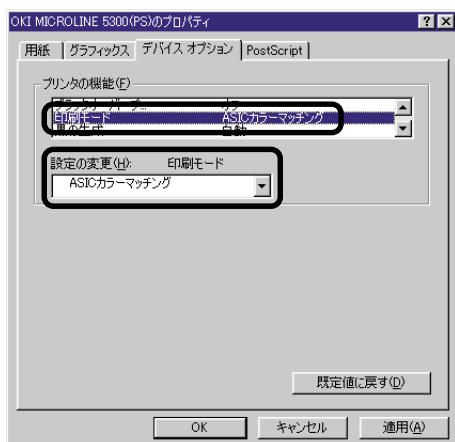
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー・マッチング］パネルの［カラー指定］で［Color Syncカラー・マッチング］を選択します。

［プリンタ用プロファイル］で［OKI MICROLINE 5300 1200dpi］または［OKI MICROLINE 5300 600dpi］を選択します。

❹ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［カラーマッチングオフ］を選択します。

黒の部分の仕上りを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。プリンタに内蔵のカラーマッチングで利用できます。

ASIC カラーマッチングのときだけ有効になります。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［印刷モード］を、［設定の変更］で［ASIC カラーマッチング］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］で［黒の生成］を選択し、［設定の変更］で適当な項目を選択します。

黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。
- CMYK トナーで生成
  シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
- 黒（K）トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。この場合は［自動］または［CMYK トナーで生成］を選択してください。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

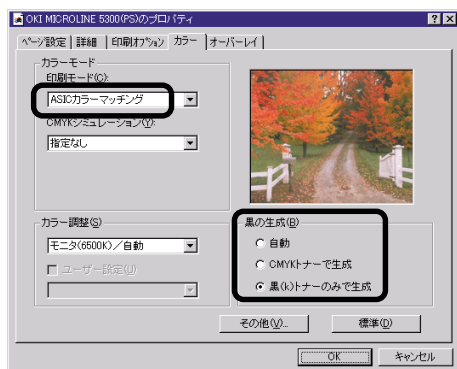
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［ASIC カラーマッチング］を選択します。

❺ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。

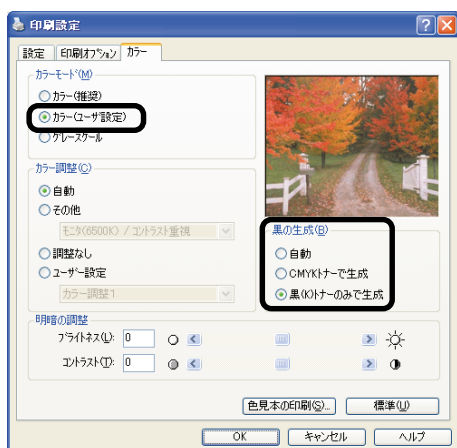
WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［ASICカラーマッチング］を選択します。

❺ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

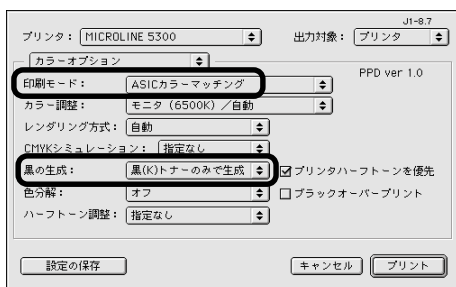
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブで［カラー（ユーザ指定）］を選択し、［黒の生成］から適当な項目を選択します。

黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。
- CMYKトナーで生成
  イメージ中の黒の生成方法を指定します。シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。
- 黒（K）トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。

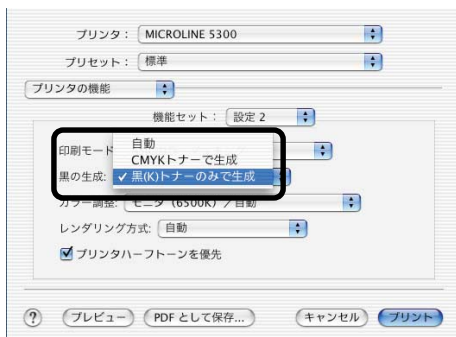
Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［ASICカラーマッチング］を選択します。

❹ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。
- アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

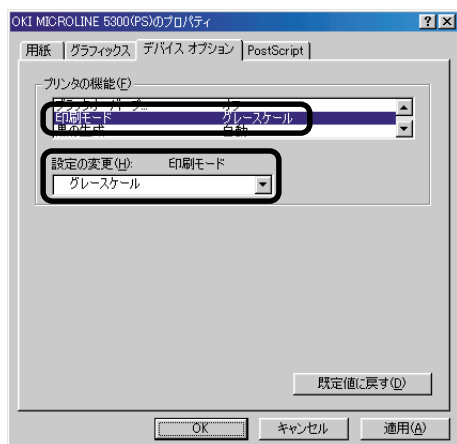
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルの［黒の生成］から適当な項目を選択します。

ASIC カラーマッチングのときだけ有効になります。
Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「ASIC カラーマッチング」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

カラーデータをモノクロで印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［印刷モード］を、［設定の変更］で［グレースケール］を選択します。

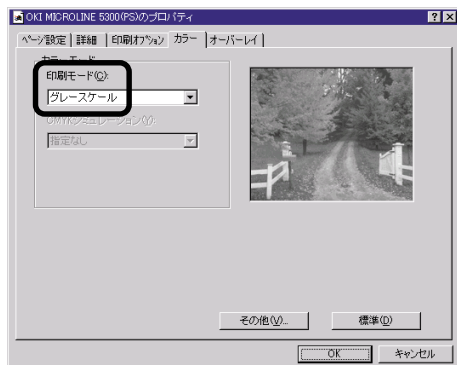
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

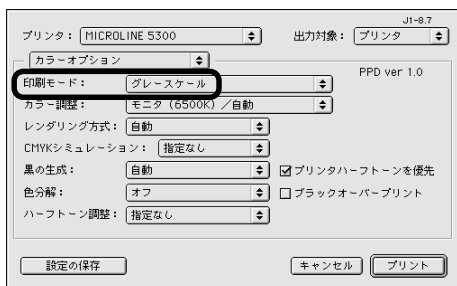
Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［カラーモード］で［グレースケール］を選択します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

7
章

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

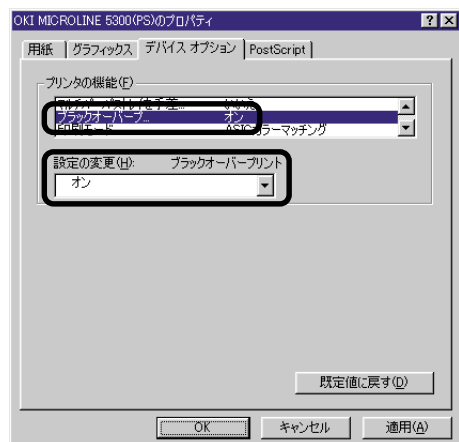
❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

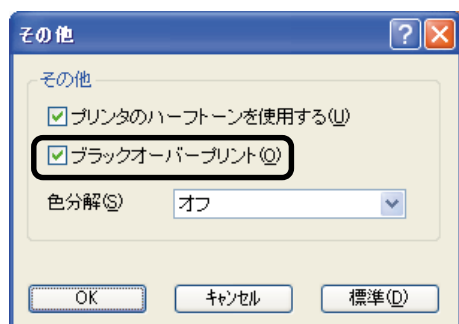
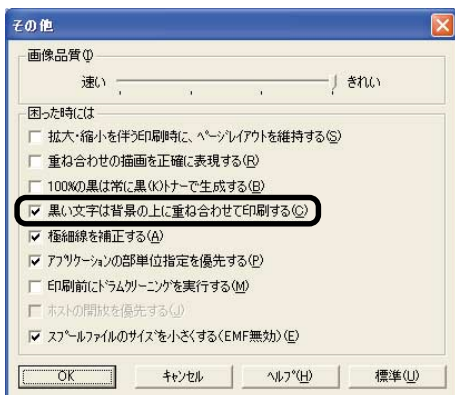
❸［プリンタの機能］パネルの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

文字と背景の間の白すじをなくしたい（ブラックオーバープリント）

黒100%の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒100%でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、WindowsXP/2000/NT4.0でMicrosoft Officeアプリケーションを使用する場合、True Typeフォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合（トナー層厚として240%を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン50%、マゼンタ50%、イエロー50%の背景色の上に黒100%の文字を描画すると、トナー層厚は50+50+50+100=250%となり、240%を超えることになります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］をクリックします。
4. ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［ブラックオーバープリント］を、［設定の変更］で［オン］を選択します。

WindowsXP/2000 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
   （Windows2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブの［その他］をクリックします。
5. ［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] をクリックします。

❹ [カラー] タブの [その他] をクリックします。

❺ [ブラックオーバープリント] にチェックを付けます。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

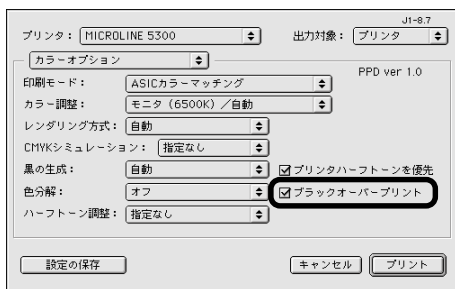
❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [その他] をクリックします。

❺ [黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する] にチェックを付けます。

7
章

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [ブラックオーバープリント] にチェックを付けます。

Mac OS X プリンタドライバ

・ Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。
・ アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

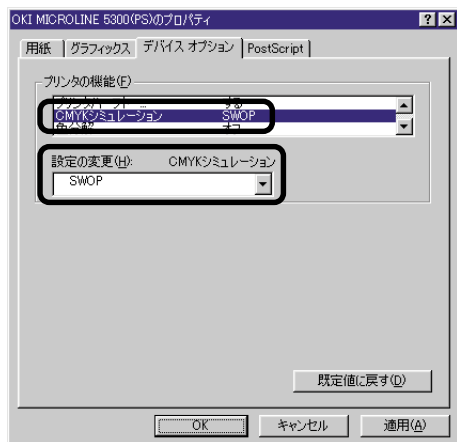
❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [ブラックオーバープリント] にチェックを付けます。

印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい

CMYKカラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性をプリンタでシミュレートします。

- Windows PCL ドライバでは利用できません。
- Mac OS X プリンタドライバでは、アプリケーションによっては利用できないことがあります。
- ［印刷オプション］の［印刷品位］は［きれい］を使用してください。
- ［印刷モード］が［ASIC カラーマッチング］、［カラーマッチングオフ］のとき有効になります。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［CMYK シミュレーション］を、［設定の変更］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

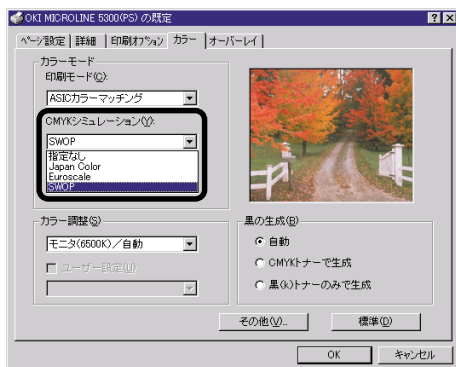
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

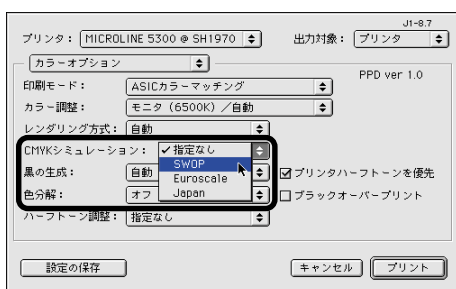
❹ ［カラー］タブの［CMYK シミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] をクリックします。

❹ [カラー] タブの [CMYKシミュレーション] でシミュレートしたいインク特性を選択します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [CMYKシミュレーション] でシミュレートしたいインク特性を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。
- アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [CMYK シミュレーション] でシミュレートしたいインク特性を選択します。

7章

色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい（Windows）

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- Windows95、Macintosh では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、45 ページをご覧ください。

1 色見本を印刷します。

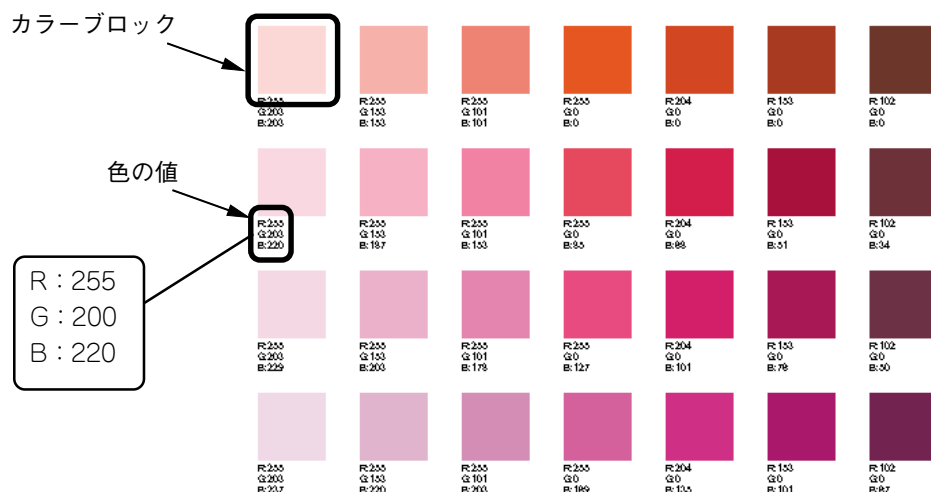
❶ ［スタート］-［プログラム］（Windows XP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ プリンタを選択します。

❹ ［OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が３ページ印刷されます。

（サンプル）

メモ　カラーブロックの下に表示される RGB 値は、カラーブロックの R（赤）、G（緑）、B（青）の色の成分量（0 ～ 255）を表しています。

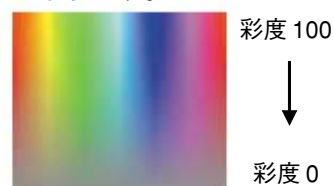
❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

メモ 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶ ［ファイル］メニューの［カスタム色見本］を選択します。

❷ 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、［OK］をクリックします。

色相：色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度：鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。

明度：濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ プリンタを選択します。

❺ ［OK］または［印刷］をクリックします。

プリンタから1ページ印刷されます。

❻ 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸ 印刷します。

注 アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

写真の印刷濃度を調節したい（ハーフトーン調整）

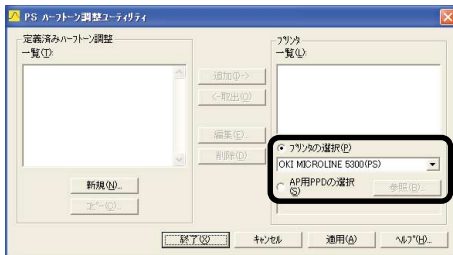
プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整することができます。写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

- Windows PCLプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- PSハーフトーン調整ユーティリティのセットアップについては、43ページをご覧ください。
- Windowsでは［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタドライバの［カラー］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5Jの場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、またはEPSファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- PSハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタ］（WindowsXPは［プリンタとFAX］）フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。

Windows PS プリンタドライバ

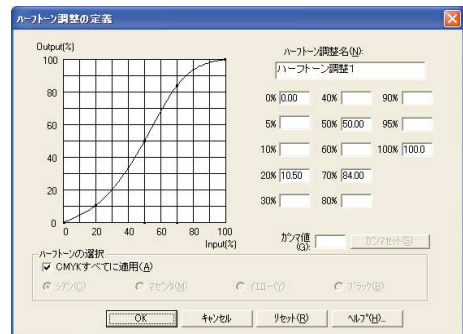
1 ハーフトーン調整名を登録します。

❶ [スタート] - [プログラム] (WindowsXP では [すべてのプログラム]) - [沖データ] - [PS ハーフトーン調整ユーティリティ] - [PSハーフトーン調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [プリンタの選択] からプリンタを選択します。

注 アプリケーション（Adobe PageMaker 等）によっては印刷時に独自に用意された PPD ファイルを使用するものがあります。この場合は [AP 用 PPD の選択] を選択し、[参照] をクリックしてアプリケーションの使用する PPD ファイルを選択します。

❸ [新規] をクリックします。

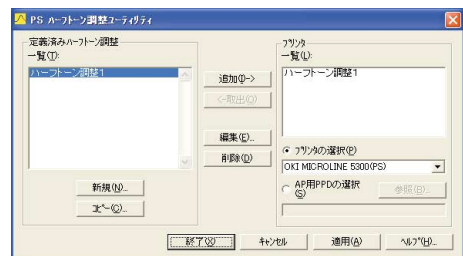
❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから [OK] をクリックします。
各色ごとに調整するときは、[CMYKすべてに適用] のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット] をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

〈調整の目安〉

以下を参考にしてください。

赤を濃くする場合	シアンの値を上げます。
青を濃くする場合	イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合	マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合	シアンの値を下げます。
青を薄くする場合	イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合	マゼンタの値を下げます。

❺ [追加→] をクリックします。
ハーフトーン調整名が [プリンタ] の [一覧] に表示されます。

❻ [適用] をクリックします。
1つのPPD ファイルに WindowsMe/98/95 では 1つ、WindowsXP/2000/NT4.0 では最大 6 つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPDへの登録完了画面で [OK] をクリックします。

❽ [終了] をクリックし、PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

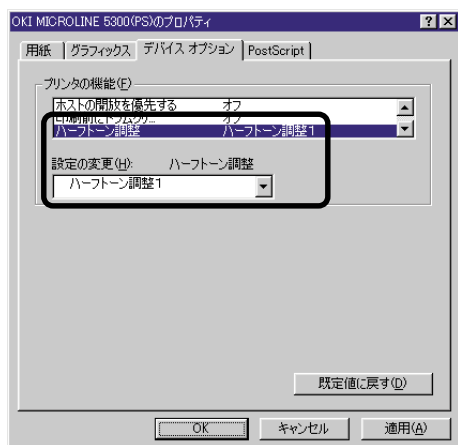
2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［ハーフトーン調整］を、［設定の変更］で手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

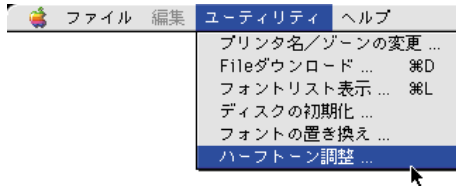
❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

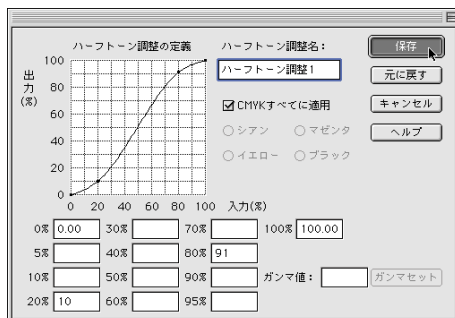
7章

Macintosh プリンタドライバ

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［ハーフトーン調整 ...］を選択します。

❸ ［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYKすべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。

別のPPDファイルが選択されている場合は［PPDファイルの選択 ...］をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❻ ［追加→］をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❼ ［保存］をクリックします。

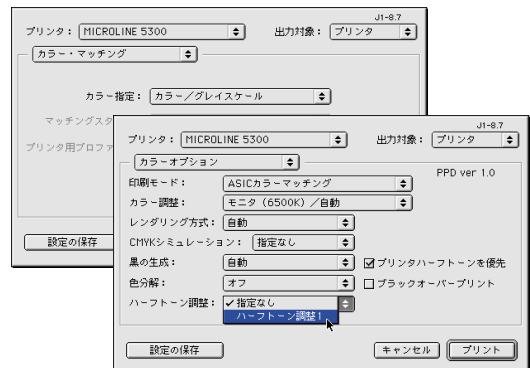
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utilityを終了します。

❾ アプリケーションを起動します。

❿ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

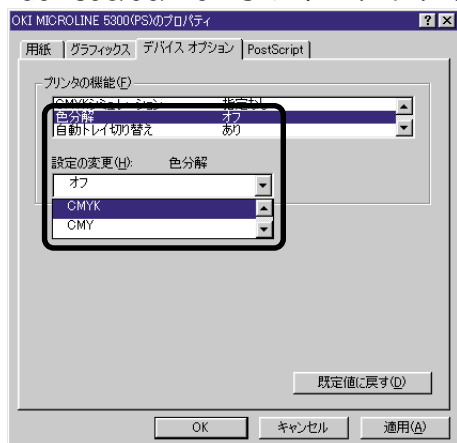
⓫ ［カラー・マッチング］パネルの［カラー指定］で「カラー／グレースケール」を選択します。

⓬ ［カラーオプション］パネルの［ハーフトーン調整］で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

分版印刷をしたい

アプリケーションが分版印刷の機能を持っていなくても、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の 4 色に色分解印刷を行うことができます。

- Windows PCL ドライバでは利用できません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。
- Adobe Illustrator を使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用してください。プリンタドライバの設定はカラーマッチングオフにしてください。

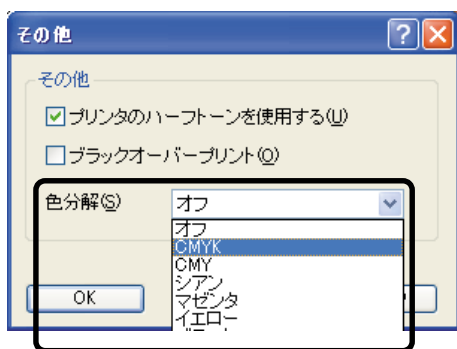
メモ　色分解の機能は版下作成用です。指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。

Windows98/95/Me PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［色分解］を、［設定の変更］で分版印刷したい色を選択します。

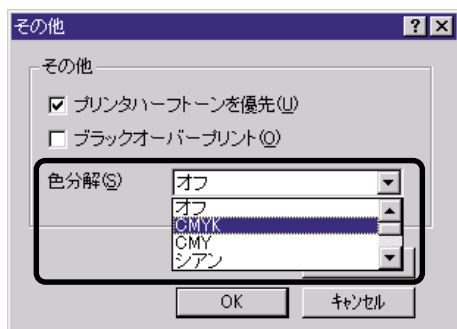
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。

❺ ［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

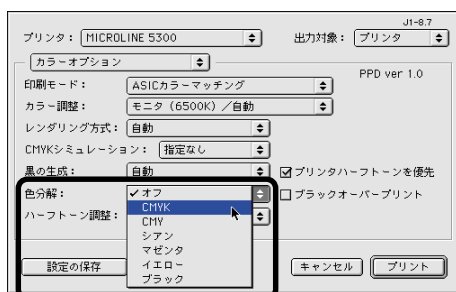
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。

❺ ［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

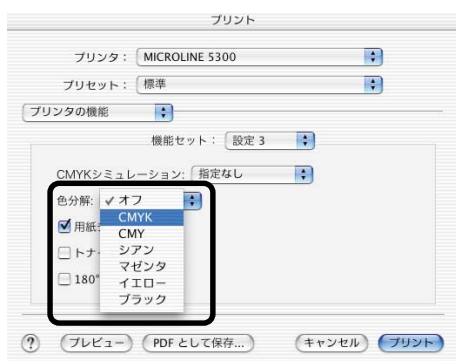
7章

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

7章

色ずれ補正を微調整したい

シアン、マゼンタ、イエロー各色の黒に対する版ずれを色ずれと呼びます。
プリンタは自動色ずれ補正機能により定期的に補正を行っていますが、印刷条件によっては色ずれが気になる場合があります。
用紙送り方向の色ずれについては、自動補正結果に対してさらに手動で微調整することができます。実際の印刷結果で気になる部分を微調整してください。

ここでは、シアンを微調整する手順を説明します。調整したい色が他にもある場合は同様の手順で調整を行ってください。

1 シアンの色ずれを微調整します。

印刷結果をみて用紙送り方向に対してシアンが上方向にずれている場合

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[C イチズレ　ビチョウセイ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　設定値のプラスは黒を基準として画像が下方向に調整されます。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に [＊] を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

2 印刷します。

色ずれが気になる場合は上記手順を繰り返してください。

7章

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。
調整は、各色の淡い（Highlight）・濃い（Dark）・中間（Mid-tone）の３か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。
ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］、または［カラー印刷不可］に設定されている場合は印刷できません。

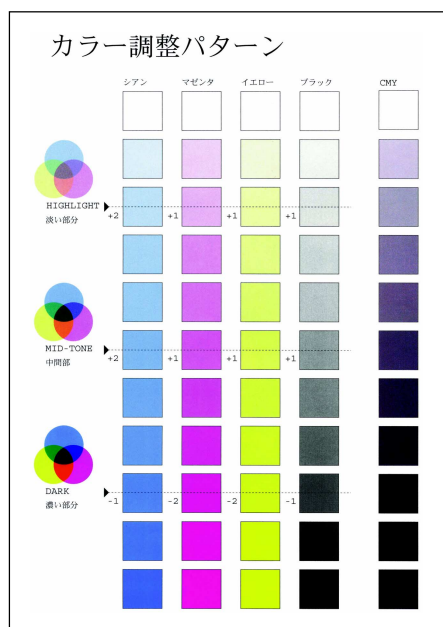
1 カラー調整パターンを印刷します。

❶ ［＋］「メニュー＋」スイッチを数回押し、［カラー　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ［＋］「メニュー＋」スイッチまたは［－］「メニュー－」スイッチを数回押し、［カラー　チョウセイ／パターン　インサツ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。
カラー調整パターンには四角が縦 11 行、横５列で配置されていて、縦 11 行は色の調子を表しており、［HIGHLIGHT 淡い部分］、［MID-TONE 中間部］、［DARK 濃い部分］とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。また、破線と四角が交差する場所の左下に、［-3］から［+3］までの数字が印刷されています。
横５列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、およびシアン・マゼンタ・イエローの混色を表しており、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］、［CMY］と印刷されています。

2 シアンの色を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［カラー　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［C HIGHLIGHT ／ XX］（XX は現在設定されている値）を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［✱］を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

7章

3 アプリケーションから印刷します。

好みの調子にならない場合は手順 1, 2 を繰り返してください。

8 プリンタの動作について

省電力モードに入るまでの時間を変更したい(パワーセーブ)

省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

```
パ゜ワーセーブ゛　イコウシ゛カン
60フン　　　　　　　　　　＊
```

「5フン」5分間データを受信しないと省電力モードになります。
「15フン」
「30フン」
*「60フン」
「240フン」

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［システム　コウセイ　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［パワーセーブ　イコウ　ジカン］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

メモ　［メンテナンスメニュー］の［パワーセーブ　キノウ］を［ムコウ］にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つために電力を消費します。プリンタを使用しないときには電源をOFFにしてください。

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

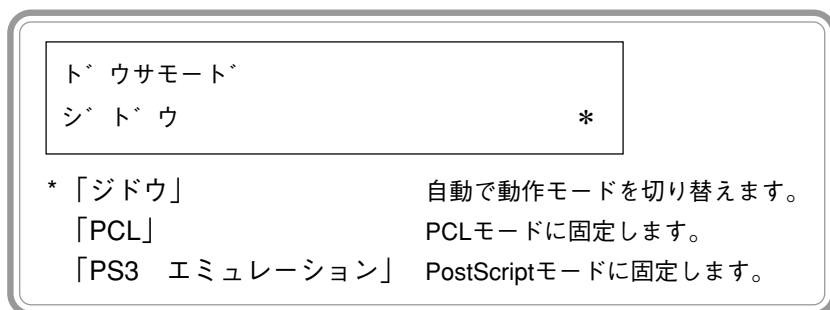
❶ 「キャンセル」スイッチを２秒以上押して離します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。

注
- プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- [データ　クリアチュウ]が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

8章

プリンタの動作モードを変更したい

プリンタの動作モードを変更することができます。

ここでは操作パネルで動作モードを変更する手順を説明します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[システム　コウセイ　メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[ドウサモード] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に [＊] を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

注 Windowsの場合、PrintSuperVision、ネットワークステータスモニタでも行うことができます。詳しくは「3　Windowsソフトウェア」（41ページ）をご覧ください。

Webブラウザを使う場合

注 TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

「プリンタステータス」画面で確認する

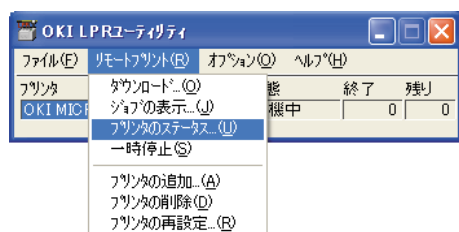
❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

「ステータスウインドウ」で確認する

注 「ステータスウィンドウ」でも、プリンタの状態を確認することができます。
詳しくは「ステータスウインドウを使います」（294ページ）をご覧ください。

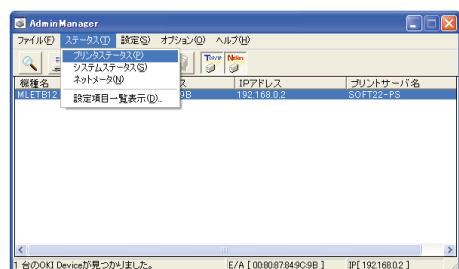
OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ 対象のプリンタを選択します。[リモートプリント] メニューの [プリンタのステータス...] または [ジョブの表示...] を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）（Windows）を使う場合

注 TCP/IP または IPX/SPX でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ [NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）] を起動します。

❷ 対象のプリンタを選択します。ML5300 は MLETB12と表示されます。[ステータス] メニューの [プリンタステータス] を選択します。

プリンタステータス画面が表示されます。

8章

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

プリンタの設定の一部を変更することができます。

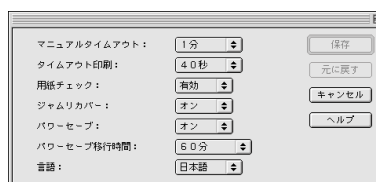
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

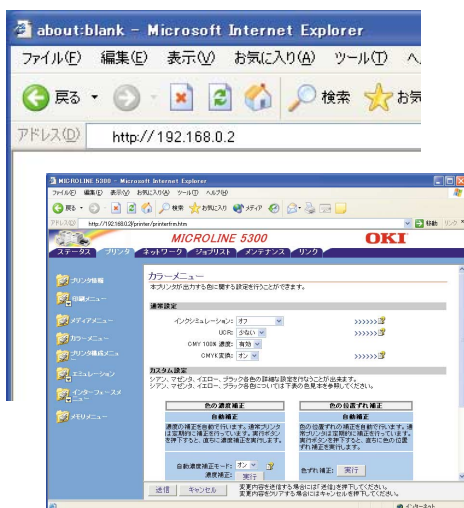
- プリンタの機種や現在の設定内容によって、各画面の表示内容は異なります。
- ［タイムアウト印刷］の値は［5秒］、［40秒］、［5分］、［無限］のみ表示・設定できます。プリンタでこれ以外に設定されている場合は近い値を表示します。
- Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utilty］をダブルクリックします。

❷ 設定を変更し［設定］をクリックします。

メイン画面

オプション画面

Web ブラウザを使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ［ログイン］をクリックし、［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

注 パスワードの初期値は、「イーサネットアドレスの下6桁」です。

❸ 左のフレームから設定を変更したい項目をクリックします。

❹ 必要な変更をした後、［OK］をクリックします。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

- A4 用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。
- プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイに A4 用紙をセットします。

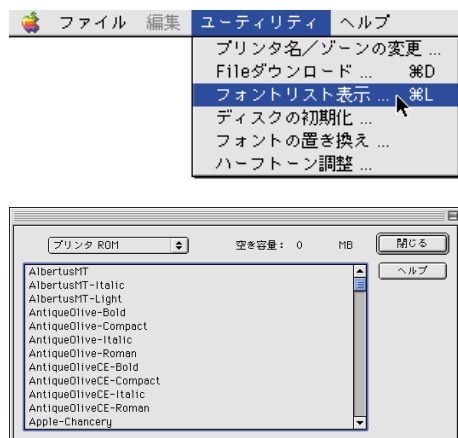
❷ 「メニュー+」スイッチを数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押し、［PSE　フォント　インサツ／ジッコウ］（PS モードの場合）、［PCL　フォント　インサツ／ジッコウ］（PCL モードの場合）を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

フォント名が印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントリスト表示 ...］を選択します。

❸ ［プリンタ　ROM］を選択するとプリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

8章

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

1. 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［セントロ　メニュー］を表示します。
2. 「設定」スイッチを押します。
3. 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、［ソウホウコウ　セントロ］を表示します。
4. 「設定」スイッチを押します。
5. 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、［ムコウ］を表示します。
6. 「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。
7. 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。
8. 電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

ECP を無効にするには

1. 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［セントロ　メニュー］を表示します。
2. 「設定」スイッチを押します。
3. 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、［ECP］を表示します。
4. 「設定」スイッチを押します。
5. 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、［ムコウ］を表示します。
6. 「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。
7. 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。
8. 電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

内蔵ハードディスク（オプション）を初期化したい

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
内蔵ハードディスクは3つのパーティションに分割されています。内蔵ハードディスクをイニシャライズすると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

メモ　内蔵ハードディスクのパーティションには［PSE］、［PCL］、［キョウツウ］があります。

［PSE］
PostScript モードのフォームを格納するエリアです。
［PCL］
PCL モードのフォームを格納するエリアです。
［キョウツウ］
「認証印刷」、「確認印刷」、「プリンタに保存」でジョブを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

注　内蔵ハードディスクを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

- 「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

注　プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、内蔵ハードディスクの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクからいったん削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

注 ［ディスク　メンテナンス］は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで［DISK MAINTENANCE］の設定を［ENABLE］に変更する必要があります。詳しくは250ページをご覧ください。

イニシャライズ

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［ディスク　メンテナンス］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、［HDD　ショキカ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、［ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。

注 初期化を取り消すには、ここで「キャンセル」スイッチを押します。「設定」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❺ 「設定」スイッチを押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。

注 ここで「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにイニシャライズが行われます。

❻ 「設定」スイッチを押します。

❼ ［デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。イニシャライズが行われます。

特定のパーティションのフォーマット

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［ディスク　メンテナンス］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［HDD　フォーマット］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のパーティションを表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、［ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。

注 初期化を取り消すには、ここで 「キャンセル」スイッチを押します。「設定」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❼ 「設定」スイッチを押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。

❽ 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。

❾ ［デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源をOFFにします。

❿ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

8章

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺ ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ ［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ イニシャライズする場合は[ディスク全体の初期化] をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの初期化] をクリックします。

パーティションの使用目的を変更する場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの使用用途] でパーティション種類を選択して［パーティションの初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で [はい] をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

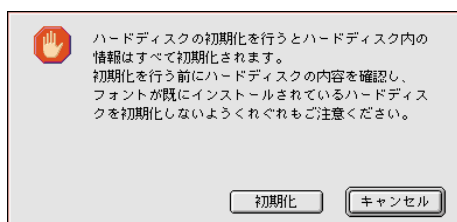
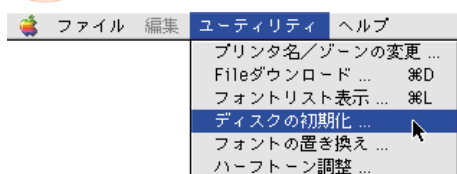
❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編）をご覧ください。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

PS パーティションのフォーマットを行います。PCL、キョウツウのパーティションはそのままです。

注　Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから［ディスクの初期化 ...］を選択します。

❸ 初期化するハードディスクのディスク番号にチェックを付け、[初期化] をクリックします。

注　ディスク番号はパーティション番号ではありません。PSパーティションがディスク＃0となります。
PS パーティションが複数ある場合は、パーティション番号が小さい方からディスク＃0、ディスク＃ 1、ディスク＃ 2 となります。

❹ 初期化してもよいか再度確認し、[初期化] をクリックします。

❺ 再起動確認画面で［OK］をクリックします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編）をご覧ください。

8章

ポストスクリプトエラーを印刷したい

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

操作パネルを使う場合

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[システム　コウセイ　メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

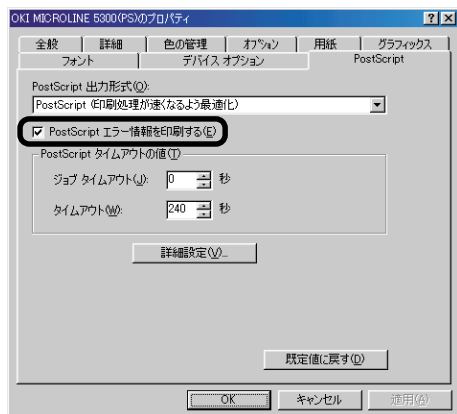
❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[エラー　レポート] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[オン] を表示します。

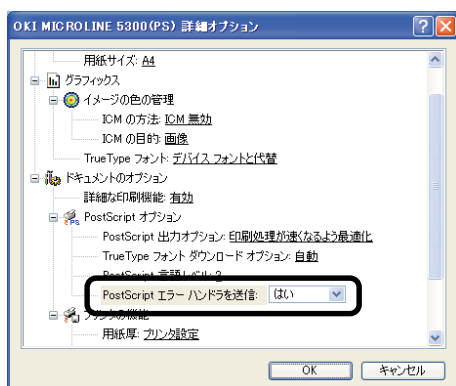
❻ 「設定」スイッチを押し、値の右端に [＊] を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 5300(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [PostScript] タブの [PostScript エラー情報を印刷する] にチェックを付け、[OK] をクリックします。

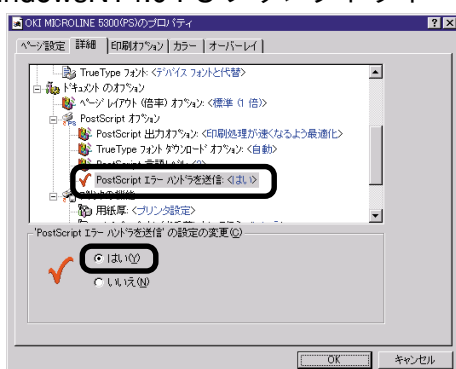
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

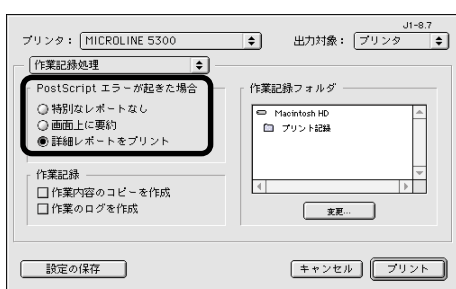
❺ [PostScript オプション] - [PostScript エラーハンドラを送信]で[はい]を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[PostScript オプション] - [PostScript エラーハンドラを送信]で[はい]を選択します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [作業記録処理]パネルの[PostScript エラーが起きた場合]で[詳細レポートをプリント]を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [エラー処理]パネルの[PostScript エラー]で[詳細レポートをプリント]を選択します。

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

注　IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IP アドレスを設定してください。

メモ　プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）」で設定することもできます。「NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）」での設定方法は、「NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）」（47 ページ）をご覧ください。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［NETWORK　MENU］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ［TCP/IP ／ ENABLE　＊］と表示されていることを確認します。

［TCP/IP ／ DISABLE　＊］と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定」スイッチを押します。

② 「メニュー＋」スイッチを押し、［TCP/IP ／ ENABLE］を表示します。

③ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❹ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［IP　ADDRESS］を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押します。

❻ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、IP アドレスの 1 桁目の値にします。

❼ 「設定」スイッチを押し、次の桁に移動します。❻と❼を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❽ 「戻る」スイッチを押します。

以後、❹～❽を繰り返し、［SUBNET　MASK］（サブネットマスク）、［GATEWAY ADDRESS］（ゲートウェイアドレス）を設定します。

❾ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

内蔵ハードディスク（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）

内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

メモ 「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、44ページをご覧ください。

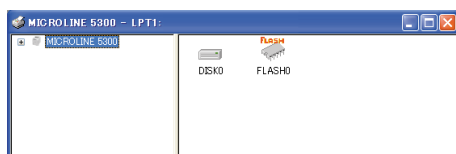
❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKIストレージデバイスマネージャ］-［OKIストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［終了］をクリックします。

❹ ［閉じる］をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［リソースを表示する］を選択します。

❻ 内蔵ハードディスクの場合は［DISK］を、フラッシュメモリの場合は［FLASH0］を選択します。

内蔵ハードディスクが搭載されていない場合は、［DISK］は表示されません。

❼ ［表示］メニューから［詳細］を選択します。

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量がByte単位で表示されます。

フラッシュメモリの場合は、［PSE］と［MIX］が別々に表示されますが、同じパーティションを示します。

内蔵ハードディスク（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確保したい

内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保するにはいくつかの方法があります。

内蔵ハードディスクの場合

内蔵ハードディスクの不要なジョブを削除する

「確認印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティションに残ったままになっていると、ハードディスクの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。「複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい（確認印刷）」（129 ページ）、「パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）」（133 ページ）、「プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷したい」（138 ページ）をご覧ください。

「キョウツウ」パーティションの空き容量が確保されます。「PSE」および「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。

内蔵ハードディスクのパーティションサイズを変更する

使用していないパーティションのサイズを小さくすることにより、目的のパーティションの空き容量を確保することができます。

パーティションのサイズを変更すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

- 「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、パーティションのサイズを変更する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

注 [ディスク　メンテナンス] は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで [DISK MAINTENANCE] の設定を [ENABLE] に変更する必要があります。詳しくは 250 ページをご覧ください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[ディスク　メンテナンス] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[パーティション　サイズ/ジッコウ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、[PCL /キョウツウ/ PSE　20%/ 50%/ 30%] (工場出荷時) を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押し、PCL パーティションサイズを点滅させます。

❻ サイズを変更しない場合は ❼ へ進みます。
サイズを変更する場合は、「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ PCL パーティションサイズを変更すると、キョウツウパーティションサイズも変わります。

❼ 「設定」スイッチを押し、キョウツウパーティションサイズを点滅させます。

❽ サイズを変更しない場合は ❾ へ進みます。
サイズを変更する場合は、「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ キョウツウパーティションサイズを変更すると、PSE パーティションサイズも変わります。

❾ 「設定」スイッチを押し、PSE パーティションサイズを点滅させます。

❿ サイズを変更しない場合は ⓫ へ進みます。
サイズを変更する場合は、「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ PSE パーティションサイズを変更すると、PCL パーティションサイズも変わります。

⓫ 「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ?　Y=ENTER / N=CANCEL] を表示します。

注 サイズの変更を取り消すには、ここで 「キャンセル」スイッチを押します。
「設定」スイッチを押すと、サイズの変更を取り消すことはできません。

⓬ 「設定」スイッチを押し、[スグニ　ジッコウシマスカ?　Y=ENTER / N=CANCEL] を表示します。

⓭ 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。

⓮ [デンゲンヲ　キッテクダサイ/シャットダウン　カンリョウ] が表示されたら電源を OFF にします。

⓯ 電源を ON にします。フォーマットが行われます。

8章

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

メモ 「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、44ページをご覧ください。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺ ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ ［記憶装置の初期化］をクリックします。

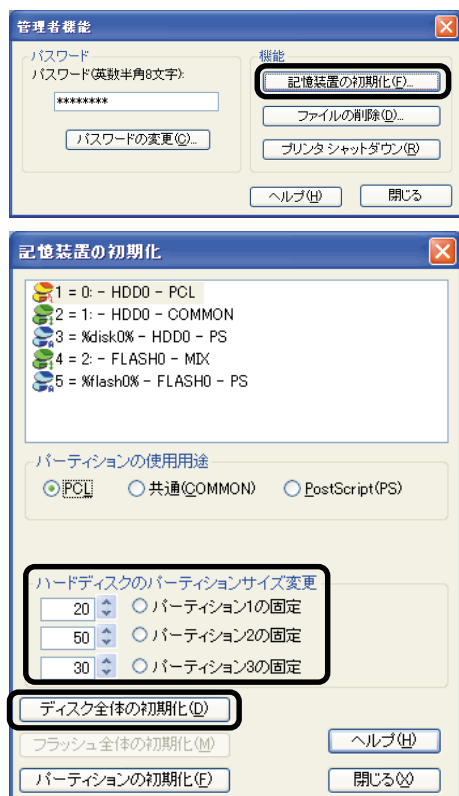
❼ リストからHDDパーティションを選択し、［ハードディスクのパーティションサイズ変更］でサイズを変更し、［ディスク全体の初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［OK］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

内蔵ハードディスク（オプション）の初期化をします

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
内蔵ハードディスクの初期化を行う場合は、「内蔵ハードディスク（オプション）を初期化したい」（220ページ）をご覧ください。

フラッシュメモリの場合

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・登録したフォーム

注 プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、フラッシュメモリを初期化する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのフラッシュメモリから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

注 ［メモリ　メニュー］は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで［MEMORY MENU］の設定を［ENABLE］に変更する必要があります。詳しくは250ページをご覧ください。

1. 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メモリ　メニュー］を表示します。
2. 「設定」スイッチを押します。
3. 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、［FLASHメモリ　ショキカ／ジッコウ］を表示します。
4. 「設定」スイッチを押し、［ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。

   注 初期化を取り消すには、ここで「キャンセル」スイッチを押します。「設定」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

5. 「設定」スイッチを押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL］を表示します。
6. 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

   注 ここで「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときに初期化が行われます。

7. ［デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源をOFFにします。
8. 電源をONにします。フォーマットが行われます。

8章

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

メモ 「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、44ページをご覧ください。

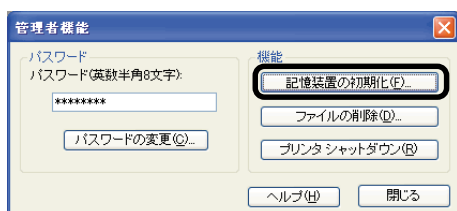
❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKIストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺ ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ ［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ リストからFlash パーティションを選択し、［フラッシュ全体の初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［OK］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

8章

9 プリンタの設定項目について

ユーザメニューを変更します

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを押し、設定する「項目」を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを押し、「設定値」を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。

メモ　フラッシュメモリ、内蔵ハードディスク（オプション）の初期化や、内蔵ハードディスクのパーティションのサイズ変更、特定パーティションの初期化では、「ジッコウシマスカ？」と表示されます。実行してもよいかもう一度ご確認ください。
実行する場合は 「設定」スイッチを押します。続いて「スグニジッコウシマスカ？」と表示されます。
実行する場合は 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。[デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ] が表示されたら電源を OFF/ON します。各変更が行われます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン］にします。

注　「USB メニュー」、「セントロメニュー」カテゴリの設定値を変更したときは、電源を OFF/ON してください。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

9章

プリンタのユーザメニュー一覧

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○:プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
ー：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示 設定項目(上段)	設定値(下段)	内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
ｲﾝｻﾂ ｼﾞｮﾌﾞ ﾒﾆｭｰ *	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ	****	認証印刷、確認印刷のパスワードを４桁の数字(0〜9)で設定します。 *：オプションのハードディスク装着時に表示。	○	○	○
	ｼﾞｮﾌﾞ ｾﾚｸﾄ	ｼﾞｮﾌﾞ ﾅｼ ｽﾍﾞﾃﾉ ｼﾞｮﾌﾞ (ﾌｧｲﾙ名)	印刷を行うジョブを設定します。 「ジョブナシ」以外は印刷可能なファイルがあるときに表示します。	○	○	○
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ 注)	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	メニューリストを印刷します。	ー	ー	ー
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルリストを印刷します。	ー	ー	ー
	PCL ﾌｫﾝﾄｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	PCL のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー
	PSE ﾌｫﾝﾄｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	PS のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー
	DEMO1	ｼﾞｯｺｳ	デモ印刷をします。	ー	ー	ー
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	エラーログを印刷します。	ー	ー	ー
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ﾒﾆｭｰ *	ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ｽﾀｰﾄ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルシステム保護のために電源オフシーケンスを行います。 *：オプションのハードディスク装着時に表示。	○	○	○
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1 〜 999	コピー枚数を設定します。	◎	◎	◎
	ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ *	ｵﾝ ｵﾌ	両面印刷を指定します。 *：オプションの両面印刷ユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	ﾄｼﾞｶﾀ *	ﾖｺﾄｼﾞ ﾀﾃﾄｼﾞ	両面印刷の綴じ方を指定します。 *：オプションの両面印刷ユニットを装着し、［リョウメン　インサツ］が［オン］のときに表示。	◎	◎	◎
	ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1 ﾄﾚｲ2　* MP ﾄﾚｲ	給紙トレイを選択します。 *：トレイ２は、オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ ｵﾌ	自動トレイ切替をするかどうか設定します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ ｳｴ ﾎｳｺｳ ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り換え時の、選択順序の優先順位を指定します。	○	○	○

注）プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。

9章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ﾖｳｼﾁｶﾞｲ ﾉ ﾄｷ ｼﾖｳｼﾅｲ	マルチパーパストレイの使い方を設定します。	○	○	○
	ﾖｳｼﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎	◎	◎
	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	600 × 1200DPI 600DPI	解像度を選択します。	◎	◎	◎
	ﾄﾅｰｾｰﾌﾞﾓｰﾄﾞ	ｵﾝ ｵﾌ	トナーセーブモードの有効/無効を切り替えます。	◎	◎	◎
	ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｶﾗｰ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ ﾌﾂｳ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	モノクロ印刷速度を設定します。 ［カラー　インサツ　ソクド］はカラーの印刷速度になります。 ［フツウ　インサツ　ソクド］はモノクロの印刷速度になります。	○	○	○
	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｺｳ	ﾀﾃ ﾖｺ	印刷方向を設定します。	◎	◎	◎
	1ﾍﾟｰｼﾞ ｷﾞｮｳｽｳ	5 ｷﾞｮｳ ～ 60 ｷﾞｮｳ ～ 64 ｷﾞｮｳ ～ 128 ｷﾞｮｳ	1ページに印刷できる行数を設定します。	−	−	−
	ﾍﾝｼｭｳ ｻｲｽﾞ	ｶｾｯﾄ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ LETTER EXECUTIVE LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 A4 A5 A6 B5 ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE C4 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾌｳﾄｳ2 ﾌｳﾄｳ3 ﾌｳﾄｳ4	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。［カセット　ヨウシ　サイズ］を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	−	−	−

9章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ	トレイ１の用紙サイズを設定します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾗｲｶﾐ	トレイ１の用紙種類を設定します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ	トレイ１の用紙厚さを設定します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ ＊	A4 A5 B5 LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ	トレイ２の用紙サイズを設定します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	○	○	○
	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ ＊	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ	トレイ２の用紙種類を設定します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ ＊	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ２の用紙厚さを設定します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾌｳﾄｳ2 ﾌｳﾄｳ3 ﾌｳﾄｳ4	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ OHP ﾗﾍﾞﾙｼ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ	マルチパーパストレイの用紙種類を設定します。	◎	◎	◎
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	マルチパーパストレイの用紙厚さを設定します。	◎	◎	◎
	ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	ｲﾝﾁ ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙を設定するときの単位を設定します。	◎	◎	◎
	ﾖｳｼﾊﾊﾞ ｻｲｽﾞ	64 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 216 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙幅を設定します。「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎
	ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ｻｲｽﾞ	148 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 1200 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙長を設定します。「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○	○	○
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○	○	○
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ	ﾊﾟﾀｰﾝ ｲﾝｻﾂ	カラー調整パターンを印刷します。 注: プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。	○	○	○
	C HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	C MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○
	C DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○
	M HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	M MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	M DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○
	Y HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	Y MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○
	Y DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○
	K HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	K MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○
	K DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	C ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -4 -3 -2 -1	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○	○	○
	M ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -4 -3 -2 -1	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○	○	○
	Y ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -4 -3 -2 -1	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○	○	○
	K ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -4 -3 -2 -1	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○	○	○
	ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○	○	○
	C ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	M ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	Y ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	ｲﾝｸｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｵﾌ SWOP EUROSCALE JAPAN	インクシミュレーションを設定します。この設定はPS言語ジョブに対してのみ有効です。	◎	−	◎
	UCR	ｽｸﾅｲ ﾌﾂｳ ｵｵｲ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の3色のトナー量の節約になります。	○	○	○
	CMY 100% ﾉｳﾄﾞ	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	CMY 100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。	○	○	○
	CMYKﾍﾝｶﾝ	ｵﾝ ｵﾌ	［オフ］にすると、ポストスクリプト印刷データの中でCMYKデータを多用される場合に印字時間を短縮するのに有効です。ただし、印刷結果の色合いが変わります。また、インクシミュレーション機能を利用する場合にはこのメニュー設定は無効になります。	○	−	○
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	5 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 240 ﾌﾝ	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○	○	○
	ﾄﾞｳｻﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ PCL PS3 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	プリント言語を選択します。［ジドウ］にするとプリント言語を自動切替えします。	○	○	○
	ｾﾝﾄﾛ PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	セントロからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	−
	USB PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	USBからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	○
	NET PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	ネットワークカードからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	○
	ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｼﾞｮﾌﾞ	PS：この設定によらずジョブ中のみエラーを表示します。 PCL：復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［オン］は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。 ［ジョブ］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	−	○	−

9章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ｴﾗｰ ｼﾞﾄﾞｳ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｵﾌ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかを設定します。	－	○	－
	ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	60 ﾋﾞｮｳ 30 ﾋﾞｮｳ ｵﾌ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。	○	○	○
	ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	ｵﾌ 5 ﾋﾞｮｳ 〳 40 ﾋﾞｮｳ 〳 300 ﾋﾞｮｳ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 PSはジョブをキャンセルします。	◎	○	◎
	ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ ﾁｭｳｼ	［トナー　フソク］が表示されたときに印刷を継続させるかどうか設定します。 チュウシの場合は［***　トナーフソク］（***はトナー色）が表示されるとオフライン状態になります。	○	○	○
	ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ ｵﾌ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○	○	○
	ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	ｵﾝ ｵﾌ	ポストスクリプトエラーが発生したとき、エラーレポートを印刷するかどうか設定します。	◎	－	◎
	ｹﾞﾝｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ ｴｲｺﾞ	操作パネルの表示言語を設定します。	○	○	○
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾖｳ ﾌｫﾝﾄ	ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ﾌｫﾝﾄ	使用するフォントの場所を指定します。 ［ダウンロードフォント］はRAMにフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	－	－	－
	ﾌｫﾝﾄ No.	I000 〳	使用するフォントの番号を選択します。	－	－	－
	ﾌｫﾝﾄ ﾋﾟｯﾁ	0.44 CPI 〳 10.00 CPI 〳 99.99 CPI	フォントの幅を設定します。 （単位：character/inch） ［フォントNo.］で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	－	－	－
	ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ	4.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〳 12.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〳 999.75 ﾎﾟｲﾝﾄ	フォントの高さを設定します。 （単位：ポイント） ［フォントNo.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	－	－	－
	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	WIN3.1J* 〳	シンボルセットを選択します。	－	－	－

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	A4 ｲﾝｼﾞ ﾊﾊﾞ	78 ｹﾀ 80 ｹﾀ	A4 用紙の自動改行する桁数を設定します。	－	－	－
	ﾊｸｼ ﾍﾟｰｼﾞ ｼﾞｮｶﾞｲ	ｵﾌ ｵﾝ	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	－	－	－
	CR ﾄﾞｳｻ	CR ﾉﾐ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	－	－	－
	LF ﾄﾞｳｻ	LF ﾉﾐ LF+CR	LF コード受信時の動作を設定します。	－	－	－
	ｲﾝｻﾂ ﾘｮｳｲｷ	ﾉｰﾏﾙ 1/5 ｲﾝﾁ 1/6 ｲﾝﾁ	用紙の印刷不可能領域を設定します。	－	－	－
	ｲﾒｰｼﾞ ｸﾛ ｾﾝﾀｸ	ｺﾝｺﾞｳ ｸﾛ ﾀﾝｼｮｸ ｸﾛ	イメージデータの黒を CMYK 混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。	－	◎	－
	ﾍﾟﾝﾊﾊﾞ ﾎｾｲ	ｵﾝ ｵﾌ	細い線を見えるように補正します。	－	◎	－
ｾﾝﾄﾛ ﾒﾆｭｰ	ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パラレルインタフェースの有効／無効を設定します。	○	○	－
	ｿｳﾎｳｺｳ ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	双方向通信の有効／無効を設定します。	○	○	－
	ECP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ECP モードの有効／無効を設定します。	○	○	－
	ACK ﾊﾊﾞ	ｾﾏｲ ﾌﾂｳ ﾋﾛｲ	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。	○	○	－
	ACK/BUSY ﾀｲﾐﾝｸﾞ	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。	○	○	－
	I-PRIME	3 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ 50 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ ﾑｺｳ	I-PRIME 信号の有効時間／無効を設定します。	○	○	－
	ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞｭｼﾝ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。	○	○	○
USB ﾒﾆｭｰ	USB	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USB インタフェースの有効／無効を設定します。	○	○	○
	ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○	○	○
	SPEED	12Mbps 480Mbps	USB インタフェースの最大転送速度を設定します。	○	○	○
	ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞｭｼﾝ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
NETWORK MENU	TCP/IP	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	NETBEUI	ENABLE DISABLE	NetBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	NETWARE	ENABLE DISABLE	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	ETHERTALK	ENABLE DISABLE	EtherTalk プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	FRAME TYPE	AUTO 802.2 802.3 ETHERNETII SNAP	フレームタイプを設定します。	○	○	○
	IP ADDRESS SET	AUTO MANUAL	IP アドレスの設定方法を設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。	○	○	○
	IP ADDRESS	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	SUBNET MASK	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	INITIALIZE NIC ?	EXECUTE	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○	○	○
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	TELNET	ENABLE DISABLE	TELNET の有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	FTP	ENABLE DISABLE	FTP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
NETWORK MENU	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○	○	○
	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB LINK SETTINGを設定します。	○	○	○
ﾒﾓﾘ ﾒﾆｭｰ	ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB	受信バッファサイズを設定します。 装着しているメモリ容量により、設定値が異なります。	○	○	○
	ﾘｿｰｽｾｰﾌﾞ ｴﾘｱ	ｼﾞﾄﾞｳ ｵﾌ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB	フォントキャッシュエリアのサイズを設定します。 装着しているメモリ容量により設定値が異なります。	○	○	○
	FLASHﾒﾓﾘ ｼｮｷｶ*1	ｼﾞｯｺｳ	FLASHメモリのイニシャライズを行います。	○	○	○
ﾃﾞｨｽｸ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ*1*2 *2：オプションのハードディスク装着時に表示。	HDD ｼｮｷｶ	ｼﾞｯｺｳ	ハードディスクのパーティション分割を行い、各パーティションをフォーマットします。	○	○	○
	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ ｻｲｽﾞ	ｼﾞｯｺｳ	パーティションサイズの変更を行います。	○	○	○
	PCL/ｷｮｳﾂｳ/PSE	nnn%/　mmm% ｜｜｜%	変更後のパーティションサイズを割合で指定します。	○	○	○
	HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ	PCL ｷｮｳﾂｳ PSE	指定パーティションのフォーマットを行います。	○	○	○

＊1: プリントジョブアカウンティング（オプション）で「HDD/FLASHの初期化を禁止する」に設定している場合は非表示。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ	X ﾎｾｲ	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
	Y ﾎｾｲ	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PSではマイナス方向の補正は無効です。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ X ﾎｾｲ *	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 *：オプションの両面印刷ユニット装着時に表示。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ Y ﾎｾｲ *	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PSではマイナス方向の補正は無効です。 *：オプションの両面印刷ユニット装着時に表示。	○	○	○
	PCL ﾄﾚｲ2 ID # *	1 ～ 5 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ2指定の#を指定します。 *：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	－	○	－
	PCL MP ﾄﾚｲ ID #	1 ～ 4 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパストレイ指定の#を指定します。	－	○	－
	ﾄﾞﾗﾑｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ｵﾌ ｵﾝ	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。画質改善の効果がある場合があります。	◎	◎	◎
	ﾍｷｻ ﾀﾞﾝﾌﾟ	ｼﾞｯｺｳ	16進ダンプで印刷します。16進ダンプの印刷を終了するには、電源をOFFにします。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰ ﾘｾｯﾄ	ｼﾞｯｺｳ	メニューの設定値を初期化します。	○	○	○
	ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲﾁ ﾎｿﾞﾝ	ｼﾞｯｺｳ	現在のメニュー設定を保存します。	○	○	○
	ﾎｿﾞﾝﾒﾆｭｰ ﾆ ﾓﾄﾞｽ	ｼﾞｯｺｳ	保存しているメニュー設定に変更します。メニューを保存したときのみ表示されます。	○	○	○
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パワーセーブモードの有効 / 無効を設定します。 有効時のパワーセーブ移行時間は［システムコウセイメニュー］の［パワーセーブ イコウジカン］で設定します。	○	○	○
	ﾌﾂｳｼ ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	OHP ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	OHP ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○	○	○

注　メモリメニュー、ディスクメンテナンスメニュー、システムホセイメニューは工場出荷時の設定ではユーザメニューに表示されません。アドミニストレータメニューで「MEMORY MENU」、「DISK MAINTENANCE」、「SYS ADJUST MENU」の設定を「ENABLE」に変更するとユーザメニューに表示されます。詳しくは 251 ページをご覧ください。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	ﾄｰﾀﾙ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	−	−	−
	ﾄﾚｲ1 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	トレイ１の総印刷枚数を表示します。	−	−	−
	ﾄﾚｲ2 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ*	nnnnnn	トレイ２の総印刷枚数を表示します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	−	−	−
	MPﾄﾚｲ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。	−	−	−
	ｶﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	−	−	−
	ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	−	−	−
	K ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	黒のドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	C ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	シアンのドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	M ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	マゼンタのドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	Y ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	イエローのドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	ベルトユニットの残り寿命を表示します。	−	−	−
	ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	定着器ユニットの残り寿命を表示します。	−	−	−
	K ﾄﾅｰ	ﾉｺﾘ xxx %	黒トナーの残量を表示します。	−	−	−
	C ﾄﾅｰ	ﾉｺﾘ xxx %	シアントナーの残量を表示します。	−	−	−
	M ﾄﾅｰ	ﾉｺﾘ xxx %	マゼンタトナーの残量を表示します。	−	−	−
	Y ﾄﾅｰ	ﾉｺﾘ xxx %	イエロートナーの残量を表示します。	−	−	−

トナー残量は目安です。以下の場合には正しい残量は表示されません。

- 製品添付トナーを使用している場合
- イメージドラム交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けた場合
- 新しいドラムに付けた１本目のトナーを使用している場合

アドミニストレータメニューを変更します

❶ プリンタの電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

❷ 「設定」スイッチを押しながらプリンタの電源を ON にします。

［OP MENU］が表示されたら指を離します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、設定する「項目」を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押します。

❼ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、「設定値」を表示します。

❽ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。

❾ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

注 アドミニストレータメニューの項目は 251 ページを参照ください。

9章

プリンタのアドミニストレータメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリの有効/無効などを設定できます。無効のカテゴリはユーザメニューに表示されません。
システム管理者の方のみ使用してください。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ALL CATEGORY	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ユーザメニューのすべてのカテゴリの有効 / 無効を設定します。
	PRINT JOBS MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インサツジョブメニューの有効 / 無効を設定します。
	INFORMATION MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インフォメーションメニューの有効 / 無効を設定します。
	SHUTDOWN MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	シャットダウンメニューの有効 / 無効を設定します。
	TESTPRINT MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	テストプリントメニューの有効 / 無効を設定します。
	PRINT MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インサツメニューの有効 / 無効を設定します。
	MEDIA MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メディアメニューの有効 / 無効を設定します。
	COLOR MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	カラーメニューの有効 / 無効を設定します。
	SYS CONFIG MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	システムコウセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	PCL EMULATION	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	PCL エミュレーションメニューの有効 / 無効を設定します。
	PARALLEL MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	セントロメニューの有効 / 無効を設定します。
	USB MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	USB メニューの有効 / 無効を設定します。
	NETWORK MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NETWORK メニューの有効 / 無効を設定します。
	MEMORY MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メモリメニューの有効 / 無効を設定します。
	DISK MAINTENANCE	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ディスクメンテナンスメニューの有効 / 無効を設定します。
	SYS ADJUST MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	システムホセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	MAINTENANCE MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メンテナンスメニューの有効 / 無効を設定します。
	USAGE MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ジュミョウメニューの有効 / 無効を設定します。

注　変更方法は 250 ページを参照ください。

9章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
COLOR MENU	RESET C GAMMA	EXECUTE	シアンの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET M GAMMA	EXECUTE	マゼンタの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET Y GAMMA	EXECUTE	イエローの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET K GAMMA	EXECUTE	ブラックの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
BLOCK DEV MENU	INITIAL LOCK	YES NO	フラッシュメモリの初期化の有効 / 無効を設定します。［YES］にするとメモリメニューの［FLASH メモリショキカ］は表示されません。
FILE SYS MAINTE	CHK FILE SYS	OFF FLASH HDD	ファイルシステムの空き容量と管理データの修復を行います。
	CHK ALL SECTORS	OFF ON	エラー訂正不能セクタの修正とファイルシステムの空き容量と管理データの修復を行います。
	HDD	ENABLE DISABLE	オプションのハードディスクの使用 / 不使用を設定します。

9
章

現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）

- ユーザメニューの設定とネットワークの設定情報のみ印刷されます。アドミニストレータメニューの設定は印刷されません。
- プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

注 A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

❷ ＋「メニュー＋」スイッチを押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。（2枚）
続いてネットワークの設定情報（Network Information）が印刷されます。（4枚）

（サンプル）

MenuMap　　MICROLINE 5300

Printer Serial Number:N31131B　13 302A 1002007　プリンタ管理番号:
CU version:X1.27 [I00.92 S2.3.0q B02.60(FB) PPC750CX 400MHz 00082202 00020010 F33 J0]
PU version:01.01.08 [PI02.12 L000.09.19]　ET:000202050504 1D191F0000000000000
PCL Program version:01.45 [0A.16 X00.32 P F]
PSE Program version:3010, PSE67 00.01　　DIMM Slot A:CU Program ROM
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [F33]
HDD:uninstalled
JP1　DPR:1.1 23

インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
PSEフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	

印刷メニュー	
コピー枚数	1
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	使用しない
用紙チェック	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー	
トレイ1用紙サイズ	A4
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	普通紙
MPトレイ用紙サイズ	A4
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	普通紙
用紙サイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

カラーメニュー	
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
インクシミュレーション	オフ
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効
CMYK変換	オン

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
動作モード	自動
セントロ PS-プロトコル	ASCII
USB PS-プロトコル	RAW
NET PS-プロトコル	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語

PCL エミュレーション	
使用フォント	内蔵フォント
フォントNo.	I000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン

セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効

USBメニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
SPEED	480Mbps
オフライン受信	無効

NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	172. 31. 91.141
SUBNET MASK	255.255.255. 0
GATEWAY ADDRESS	172. 31. 91.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ
FLASHメモリ 初期化	

Disable
Disable
Disable

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

・ユーザメニューのみ保存できます。
・「NETWORK MENU」カテゴリは保存されません。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[メニュー　セッテイヲ　ホゾン／ジッコウ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？] を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押します。

設定値が保存されます。

メモ　現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[ホゾンメニューニ　モドス／ジッコウ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？] を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

・ユーザメニューのみ初期化します。
・「NETWORK MENU」カテゴリの初期化は、「NETWORK MENU」カテゴリ内の［INITIALIZE　NIC?］で行ってください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、［メンテナンス　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、［メニュー　リセット／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

9
章

10 ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、ネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。
設定値を変更するには、TELNET, Web ブラウザ, NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）, Quick Setup（Windows）, Setup Utility（Macintosh）を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
TCP/IP Protocol	TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address	IPアドレス	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
RARP Protocol	RARP	RARPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	RARPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DHCP/BOOTP Protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	DHCP/BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
Auto IP Address	サーバを使用しないアドレス解決	Network PnP 設定IPアドレス自動設定*1	ENABLE（自動設定する） DISABLE（自動設定しない）	サーバを使用しないでIPアドレスを取得する機能の使用／非使用を設定します。
DNS Server (Pri.)	DNSサーバアドレス(プライマリ)	DNSサーバ プライマリサーバ*1	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNSサーバアドレス(セカンダリ)	DNSサーバ セカンダリサーバ*1	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。

*1: Setup Utility では設定できません。

10 章

網かけ部は初期値です。

項 目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
root Pass-word	パスワード設定	rootパスワード	イーサネットアドレス下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
Network PnP Discovery	検出機能	Network PnP 設定Network PnPを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	ネットワークPlug&Play機能の 使用／非使用を設定します。
Network PnP Device Name	デバイス名	Network PnP 設定デバイス名*1	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ネットワークPlug&Play機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。

*1: Setup Utility では設定できません。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項 目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
SysContact	System Contact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysName	System Name	SysName	なし	プリンタの名前を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysLocation	System Location	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
―	プリンタ管理番号	―	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetWare Protocol	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWareの使用／非使用を設定します。
Protocol	通信プロトコル	プロトコル*1	IPX TCP/IP	NetWareを動作させるプロトコルをIPXかTCP/IPに設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO ETHER-II（ETHERNET-II） 802.2（IEEE802.2） 802.3（IEEE802.3） SNAP(SNAP)	NetWare上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
PrinterName	プリンタ名	NetWareプリンタ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」+「-prn1」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
NetWare Mode	印刷モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。

*1: Setup Utility では設定できません。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IP NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Password	−	−	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Job Polling Time	−	−	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IPX NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Job Polling Time	ジョブポーリング時間	ジョブポーリング間隔	2秒 ～ 4秒 ～ 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Bindery Mode	バインダリモード	バインダリモード	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWareのバージョンが、6.0/5.0/4.1のバインダリネットワーク、または3.12へ接続するときには「Enable」、6.0/5.0/4.1のNDSで使用するときには「Disable」を設定します。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX File Server #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバ #1-8	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX PrintServer #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-8	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX JobTimeout	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4秒 ≀ 10秒 ≀ 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定で使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルからの印刷がなかなか始まらなくなります。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
EtherTalk Protocol	EtherTalk	EtherTalkプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	EtherTalkの使用／非使用を設定します。
EtherTalk Printer Name	EtherTalkプリンタ名	EtherTalkプリンタ名	製品名	EtherTalkのプリンタ名を指定します。32文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalkゾーン名	ゾーン名	＊	EtherTalkゾーン名を指定します。32文字以内の英数字です。

10章

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetBEUI Protocol	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetBEUIの使用／非使用を設定します。
Computer Name	コンピュータ名	コンピュータ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。この名前でNet-BEUI上で識別されます。Windowsであればネットワークコンピュータ中のPrintServerグループに表示されます。15文字以内の英数字です。*2
Workgroup Name	ワークグループ名	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称でWindowsのネットワークコンピュータ中に表示されます。15文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	EthernetBoard MLETB12	コメントを設定します。Windowsのネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48文字以内の英数字です。
WINS Server (Pri.)	WINSサーバ（プライマリ）	WINSサーバプライマリサーバ*1	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINSサーバ（セカンダリ）	WINSサーバセカンダリサーバ*1	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Scope ID	スコープID	WINSサーバスコープID*1	なし	WINSのScopeIDを設定します。1～223文字の英数字です。

*1:　Setup Utility では設定できません。
*2:　表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機　能
SETUP	Config.ini	IPアドレスの設定変更ができます。 このファイル中のIPアドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタのIPアドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつWeb Pageを起動します。
REPORT	Status.txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設計値を表示するファイルですから、Report.txtとは内容が異なる場合があります。
	Report.txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定した値を表示するファイルですから、Status.txtとは内容が異なる場合があります。

- 本プリンタのMaster Browser機能は、Workgroup名が「PrintServer」の場合にのみ起動します。Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
- ML5300 以外の機器の Workgroup に「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。（その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。）
- 本プリンタの Master Browser 機能で管理できるプリンタは最大 8 台です。
- NetBEUI プロトコルでは、他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	プリンタTrapコミュニティ名*1	public	プリンタTRAPのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trapを有効にする*1	ENABLE（有効にする） DISABLE（有効にしない）	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	プリンタTrapアドレス設定 #1-5	TCP#1-5*1	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。

*1: Setup Utility では設定できません。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX Trap Enable	IPX Trap送信許可	IPX Printer Trapを有効にする*1	ENABLE（有効にする） DISABLE（有効にしない）	IPXでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Printer Reboot Trap	IPX プリンタ再起動	IPX プリンタリブート*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Receive Illegal Trap	IPX 不正Trap受信	IPX 受信異常*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/Net	IPX プリンタTrapアドレス設定	IPX*1	00000000: 000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス（8桁）+ノードアドレス（12桁）で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

*1: Setup Utility では設定できません。

10章

SMTP（E-Mail）

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
SMTP Transmit	SMTP送信	SMTP送信プロトコルを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Server Name	SMTPサーバ	SMTPサーバアドレス/サーバ名*1	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTPポート番号	SMTPポート番号*1	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail Address	プリンタEmailアドレス	E-Mailアドレス*1	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Reply-To Address	返信先Emailアドレス	返信用アドレス*1	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Event To Address #1-5	Emailアドレス #1-5	送信先アドレス #1-5*1	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Signature line #1-4	署名 #1-4 行目	署名 #1-4*1	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は64文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
Re-send Interval #1-5	チェック間隔 #1-5	チェック間隔 #1-5*1	DISABLE（無効） 30min 60min 24hour	DISABLE（無効）の場合は、プリンタイベントが発生した時点でのみメールが送信されますが、30min、60min、24hour に設定した場合は、設定された間隔でプリンタイベントが発生しているかどうか確認し、選択されているプリンタイベントが発生していれば、発生しているプリンタイベントを1通のメールにまとめて送信します。
Off Line #1-5	オフライン#1-5	オフライン #1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタがオフラインになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Consumable Message #1-5	メンテナンス #1-5	メンテナンス #1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタの消耗品（ドラムカートリッジ、ベルト、定着器）が寿命になったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Toner Low/Out #1-5	トナー交換 #1-5	トナー交換 #1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタのトナーが少なくなった場合やトナーエラー時に、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Low/Out #1-5	用紙補充 #1-5	用紙補充 #1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに用紙がなくなったときや少なくなったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Jam #1-5	用紙ジャム #1-5	用紙ジャム #1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに用紙がつまったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Cover Open #1-5	カバーオープン #1-5	カバーオープン #1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタのカバーが開いているときに、メールを送信するかどうか設定します。

*1: Setup Utility では設定できません。

10章

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Stacker Error #1-5	スタッカーエラー#1-5	スタッカーエラー#1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタのスタッカに用紙がいっぱいになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Mass Storage Error #1-5	ストレージエラー#1-5	ストレージエラー#1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタのハードディスクがディスクフルエラーになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Recoverable Error #1-5	復旧可能エラー#1-5	復旧可能エラー#1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタがエラーになったとき（復旧可能）に、メールを送信するかどうか設定します。
Service Call Req. #1-5	サービスコール要求#1-5	サービスコール要求#1-5*1	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタにエラー（復旧不可能）が発生したときに、メールを送信するかどうか設定します。

*1: Setup Utility では設定できません。

10章

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
FTP Service	FTPサービス	FTP Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Telnet Service	Telnetサービス	Telnet Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web Service	Web(IPP)サービス	Web Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。
SNMP Service	SNMPサービス	SNMP Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/非使用を設定します。通常はENABLE(使用する)でお使いください。
LAN Scale	LAN	LAN Scale*1	NORMAL(普通) SMALL(小型)	Normal(普通):通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小型):コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
DefaultTTL	−	DefaultTTL	0 ～ 255	IPパケット生存値(TTL値)を設定します。この値は通常変更する必要はありません。
−	オペパネのロック	−	ロック解除 ロック	オペレータパネルの殆どの操作を禁止させることが出来ます。
−	HEXダンプモード	−	OFF ON	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

*1: Setup Utility では設定できません。

10章

printer port

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
BOJ String	−	−	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。 印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に次の特殊コードも指定できます。 ¥b: バックスペースコード(0x08) ¥t: タブコード(0x09) ¥n: 改行コード(0x0a) ¥v: 垂直タブコード(0x0b) ¥f: 改頁コード(0x0c) ¥r: 復帰コード(0x0d) ¥xnn nnで表現される16進コード ¥" " コード(0x22) ¥¥ ¥ コード(0x5c)
EOJ String	−	−	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。 印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
BOJ String (KANJI)	−	−	なし	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。 印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。 また、文字列以外に特殊コードも指定できます。 特殊コードは「BOJ string」と同じです。
EOJ String (KANJI)	−	−	¥x04	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。 印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。 また、文字列以外に特殊コードも指定できます。 特殊コードは「BOJ string」と同じです。
Printer Type	−	−	PS(PostScript)固定	漢字フィルタのプリンタTypeを設定します。
TAB Size (char.)	−	−	0 〜 8 〜 16	漢字フィルタ経由で出力するときに、タブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字数を設定します。この文字幅を0にすると、タブ変換処理は行われません。
Page Width (char.)	−	−	0 〜 78 〜 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ幅を設定します。

10章

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Page Length (line)	—	—	0 〜 66 〜 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ長を設定します。
FTP/LPR Banner	—	FTP/LPRバナーを使用する	YES（使用する） NO（使用しない）	LPRやFTPで印刷する場合にバナーページを使用するかどうか設定します。TCP/IPプロトコルのみ有効です。

10章

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IP Filtering	IPフィルタリング	IPフィルタを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	IPアドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。 ただし、この機能はIPアドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ずDISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。 ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとTCP/IPによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Filtering range #1-10	IPアドレスの範囲#1-10	IPファイルアドレスの範囲 #1-10*1	なし-なし	プリンタへアクセスを許可するIPアドレスを指定します。
Start Address	開始アドレス	開始アドレス*1	0.0.0.0	単一のIPアドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲(「開始アドレス」と「終了アドレス」)を設定してください。0.0.0.0は入力できません。
End Address	終了アドレス	終了アドレス*1	0.0.0.0	
range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10*1	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの印刷を許可します。
range #1-10 Configuration	設定 #1-10	設定を許可する #1-10*1	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者のIPアドレス	管理者のIPアドレス*1	0.0.0.0	管理者のIPアドレスが自動で設定されます。このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

＊1: Setup Utility では設定できません。

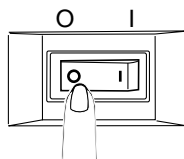
Job List

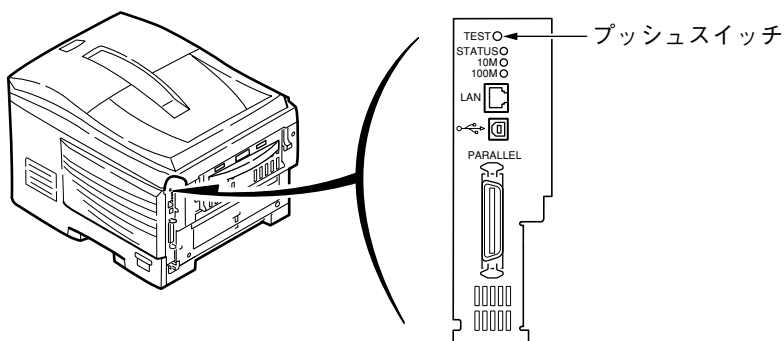
網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
ー	ジョブキュー表示項目設定	ー	ドキュメント名 ジョブ状態 コンピュータ名 ユーザー名	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ(印刷データ)の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

ネットワーク機能を初期化します

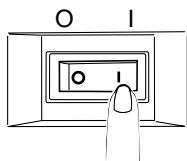
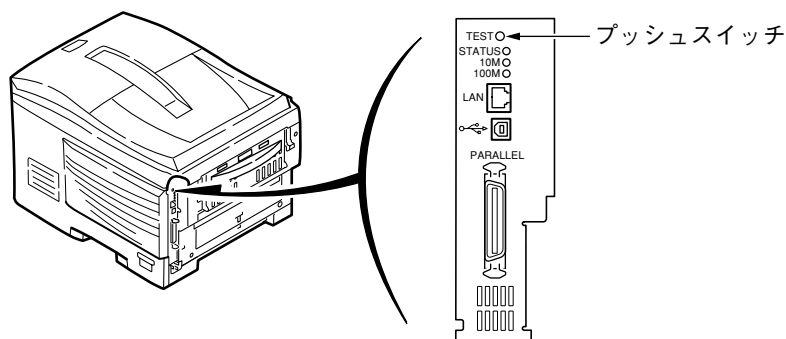
注 初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 プリンタの電源をOFFにします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

2 先端の細い道具（ボールペンなど）を使って、プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源をONにし、操作パネル上に［オンライン］が表示されたら、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

10章

ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷します

1 プリンタの電源を ON にし、［オンライン］になったことを確認します。

2 先端の細い道具（ボールペンなど）を使って、プッシュスイッチを３秒間以上押し続けてから、離します。

最初にプリンタのメニューマップが２枚印刷され、続いてネットワークの設定情報（Network Information）が４枚印刷されます。

（例）

イーサネットアドレス（MAC address）

Network Information

System Information

Serial Number
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	01.09
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting	Auto Negotiation		
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Half)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	0	
	Packets Transmitted	664	
	Total Packets Received	95	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Received	0	
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		
EtherTalk Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

Network Plug and Play(NPnP)	
Discovery	Enable
Device Name	ML849C9B
IP Address Set	MANUAL
IP Address	192.168.0.2
Subnet Mask	255.255.255
Default Gateway	192.168.0.1
Web Address	http://192.16
DNS Server (Primary)	0.0.0.0
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0
DefaultTTL	255

If your computer can not connect this printer with th
Step1:Set IP address of your computer to 19
(xxx:exclude 0,254,255 and print
How to set the IP address of the
See the manual of your compute
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL fi
If you will access the local addre

NetBEUI Configuration

Computer Name	ML849C9B
Workgroup Name	PrintServer
Comment	EthernetBoard MLETB12
Master Browser	ML849C9B
WINS Server Name(Primary)	0.0.0.0
WINS Server Name(Secondary)	0.0.0.0
Scope ID	

IPP Configuration

To print using IPP use the following URIs
http://192.168.0.2/ipp
http://192.168.0.2:631/ipp
http://192.168.0.2/ipp/lp
http://192.168.0.2:631/ipp/lp

SNMP Trap Configuration

Printer Trap Community Name　public

Trap Destination	Trap Enable/Disable	Address
Address 1	Disable	0.0.0.0
Address 2	Disable	0.0.0.0
Address 3	Disable	0.0.0.0
Address 4	Disable	0.0.0.0
Address 5	Disable	0.0.0.0
IPX	Disable	00000000:000000000000

Trap Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5	IPX
Printer Reboot	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Receive Illegal Packet	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Online	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Offline	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Jam	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Cover Open	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Printer Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

(N/A = Not Available)

Email Setting Configuration

Email Transmit Settings

SMTP Transmit	Disable
SMTP Server	
Printer E-mail Address	
Reply-To Address	
SMTP Port Number	25

Email Recipients

Email Address 1
Email Address 2
Email Address 3
Email Address 4
Email Address 5

Email Alert Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5
Re-send Interval	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Offline	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Consumable Message	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Toner Low/Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Low/Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Jam	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Cover Open	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Stacker Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Mass Storage Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Recoverable Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Service Call Required	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Email Signature

Email Signature Line 1 :
Email Signature Line 2 :
Email Signature Line 3 :
Email Signature Line 4 :

NetWare Configuration

Network No	00000000
Printer Name	SOFT22-PS-prn1
NetWare Mode	Queue Server Mode (Print server + Bindery/NDS + IPX)

P-Server Mode

Print Server Name	SOFT22-PS
Password	
Job Polling Rate	4 Sec
Bindery Mode	Enable
NDS Mode	
Tree Name	CORPORACIO
Context Name	SLP_SCOPE.HCP

	Status	Server Name
File Server1	Not Connected	HCP_SBD
File Server2		
File Server3		
File Server4		
File Server5		
File Server6		
File Server7		
File Server8		

R-Printer Mode

Job Timeout　10 Sec

	Status	Server Name
Print Server 1	Not Connected	SOFT22-PS
Print Server 2		
Print Server 3		
Print Server 4		
Print Server 5		
Print Server 6		
Print Server 7		
Print Server 8		

EtherTalk Configuration

Printer Name	MICROLINE 5300
Type Name	LaserWriter
Zone Name	*
Address	65280
Node	179

Maintenance

Service Option

If Web and Telnet Service is disable and Operator Panel locked, product configuration is not available.

Web/IPP Service	Enable
Telnet Service	Enable
FTP Service	Enable
SNMP Service	Enable

Operator Panel Lockout　Lock printer's operator panel to prevent menu changes　Enable

LAN scale Setting　NORMAL
Usually set "NORMAL".
If printer connect to small LAN, set "SMALL". Then printer network connection is much more efficient.

Network Chip Check　OK
Flash ROM Check　OK

10章

IP アドレスの設定

IP アドレスとは…

TCP/IPプロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスはネットワーク上に接続されたコンピュータやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

- Macintosh をネットワーク接続する場合は、EtherTalk プロトコルを使用するため、IP アドレスを設定する必要はありません。
- Macintosh 環境で Web ブラウザ（282 ページ）や Setup Utility（88 ページ）を使用する場合には、IP アドレスを設定してください。

（例）

IP アドレス　：192.168.　0.　3
（192.168.0：ネットワークアドレス　3：ホスト ID）
サブネットマスク　：255.255.255.　0
ゲートウェイ　：192.168.　0.　1

IP アドレス　：192.168.　0.　2
（192.168.0：ネットワークアドレス　2：ホスト ID）
サブネットマスク　：255.255.255.　0
ゲートウェイ　：192.168.　0.　1

IP アドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3桁の数字が4つに区切られた形で設定します。
例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホスト ID といいます。標準的なネットワークの場合、コンピュータとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホスト ID は、どの機器とも重複しないような値で、1 ～ 254 の間で設定します。
また、IP アドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータの IP アドレスを指定します。通常、コンピュータとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピュータの IP アドレス

お手元のコンピュータに設定されている IP アドレスを確認しましょう。

コンピュータのIPアドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかやDHCPなどのサーバがあるかどうかは、プロバイダやルータメーカに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピュータは初期設定で「IP アドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルータ（ADSL ルータや ISDN ルータ）には DHCP サーバが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピュータに何も設定しなくても、ルータに接続し、コンピュータの電源を入れただけで、サーバより自動的に IP アドレスを取得します。

お手元のコンピュータの取得している IP アドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

Windows の場合

❶ Windows を起動します。

❷ コマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）を選択します。

WindowsXP の場合は、［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。
WindowsMe の場合は、［スタート］-［プログラム］-［コマンドプロンプト］-［MS-DOS プロンプト］を選択します。
Windows98/95 の場合は、［スタート］-［プログラム］-［MS-DOS プロンプト］を選択します。
Windows2000 の場合は、［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。
WindowsNT4.0 の場合は、［スタート］-［プログラム］-［コマンドプロンプト］を選択します。

❸ WindowsXP/Me/2000/NT4.0 の場合は、キーボードから［ipconfig］と入力し、［Enter］キーを押します。

Windows98/95 の場合は、キーボードから［winipcfg］と入力し、［Enter］キーを押します。

現在設定されている IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

（WindowsXP の場合）

Macintosh の場合

❶ Macintosh を起動します。

❷ Macintosh の場合、［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。

Mac OS X の場合、［アップルメニュー］-［システム環境設定］-［インターネットとネットワーク］-［ネットワーク］-［表示］で［内蔵Ethernet］を選択し、［TCP/IP］タブを選択します。

表示されない場合は、［すべて表示］をクリックしてください。

プリンタの IP アドレスの確認

現在、プリンタにどんな IP アドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷し、IP アドレスを確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）の詳細は 274 ページをご覧ください。

Network Information

System Information

Serial Number
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	01.09
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting	Auto Negotiation		
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Half)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	0	
	Packets Transmitted	664	
	Total Packets Received	95	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Received	0	
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		
EtherTalk Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

Network Plug and Play(NPnP)			
Discovery	Enable		
Device Name	ML849C9B		
IP Address Set	MANUAL		
		DHCP/BOOTP	Disable
		RARP	Disable
		Non Server Address Resolution(NPnP)	Disable
IP Address	192.168.0.2		
Subnet Mask	255.255.255.0		
Default Gateway	192.168.0.1		
Web Address	http://192.168.0.2		
DNS Server (Primary)	0.0.0.0		
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0		
DefaultTTL	255		

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 2 .)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.0.2
If you will access the local address,set the proxy server setting to disable.

プリンタのIPアドレスの設定

ネットワークの環境に応じて、プリンタにIPアドレスを設定しましょう。

(1)　初期設定のまま使用します。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合

プリンタは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。
現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてWindowsXPの場合

プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。つまり「ネットワークPlug & Play」が使用できる設定になって、「サーバを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。WindowsXPも「ネットワークPlug &Play」機能を搭載しています。そのため、ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなくても、ネットワークPlug & Play機能を使用し、お互いに通信して自動的にIPアドレスを取得することもできます。
現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてMacintoshで、WebブラウザやSetup Utilityを使用しない場合

Macintoshをネットワーク接続する場合は、EtherTalkプロトコルを使用するため、IPアドレスを設定する必要はありません。

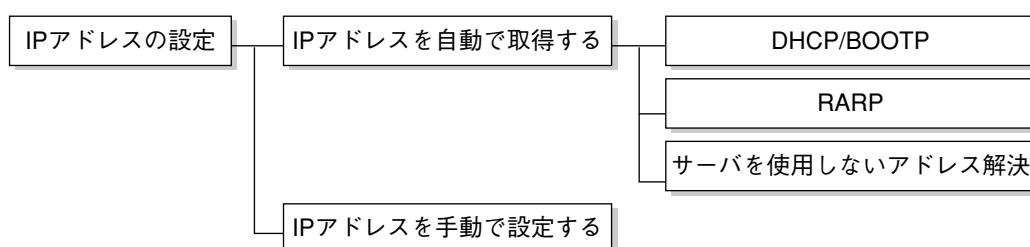
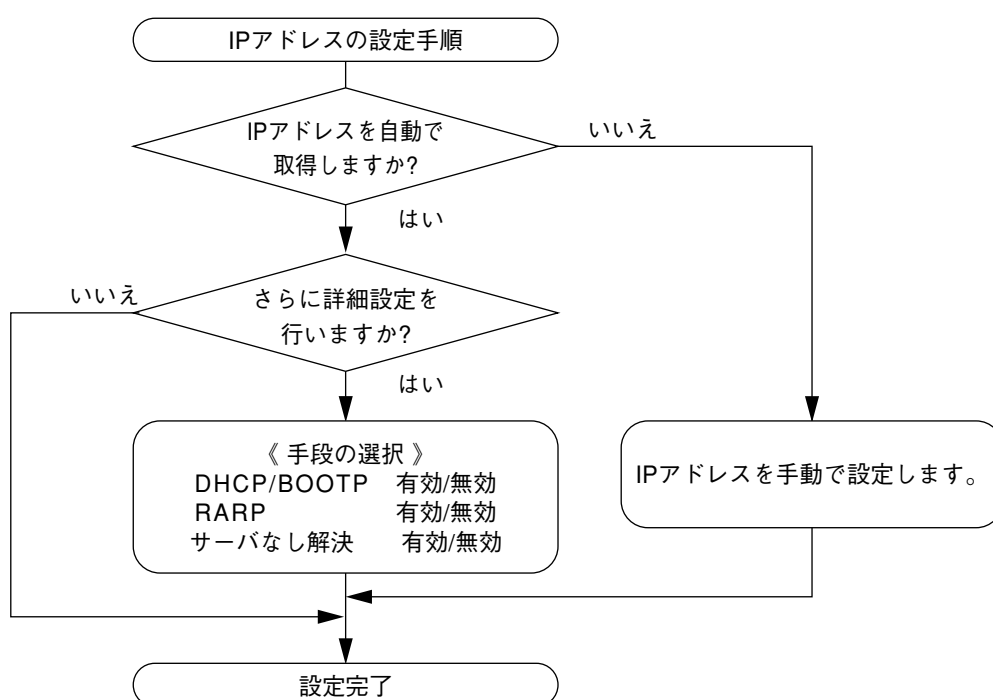
(2)　IPアドレスを手動で設定します。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められたIPアドレスを指定されたなど、(1)に当てはまらない場合

プリンタに決められたIPアドレスを手動で設定してください。IPアドレスは、プリンタの操作パネルやNICセットアップユーティリティ（AdminManager）（Windows）、Setup Utility（Macintosh）、TELNETなどで設定できます。

設定の詳細は、「NICセットアップユーティリティ（AdminManager）」（47ページ）、「Setup Utility」（88ページ）、「TELNETを使います」（290ページ）、「プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい」（226ページ）をご覧ください。

ＩＰアドレス設定のしくみ（参考）

IP アドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

IP アドレスを設定する手順はおおよそ以下のようになっています。

Web ブラウザを使います

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0 以上もしくは Netscape Navigator Ver.4.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

メモ　お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.4.x の場合は、[表示] メニューの [セキュリティ] - [このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.x の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.x の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [プライバシー] - [設定] を「中」に設定します。

Netscape Navigator 4.x の場合は、[編集] メニューの [設定] - [詳細] - [すべての Cookie を受け付ける] に設定します。

Netscape Navigator 6.x ～ 7 の場合は、[編集] メニューの [設定] - [プライバシーとセキュリティ] - [Cookie] - [すべての Cookie を有効にする] に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: ML5300
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

注　イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

起動方法

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス] に URL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

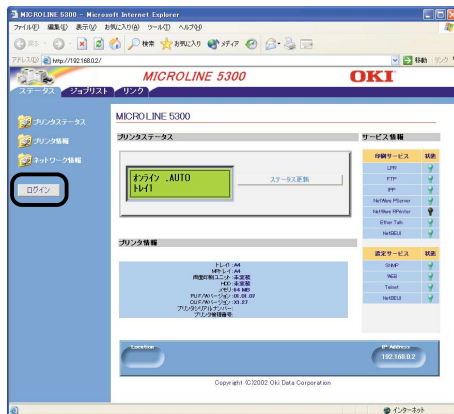
（例）正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

［プリンタステータス］画面の［ステータス更新］ボタンを有効にするにはWebブラウザで次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、［表示］メニューの［インターネットオプション］を選択し、［全般］タブ-［インターネット一時ファイル］-［設定］-［保存しているページの新しいバージョンの確認：］を［ページを表示するごとに確認する］に設定します。

Netscape Navigator4.04Jの場合は、［編集］メニューの［設定］を選択し、［詳細］-［キャッシュ］-［キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較］を［セッション毎］に設定します。
設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、［セキュリティ情報］ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の［次回もこの警告を表示する］のチェックを外してください。

設定方法

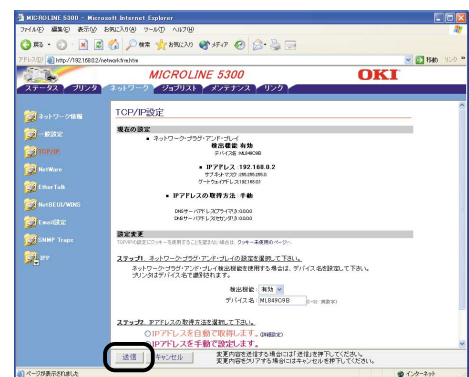
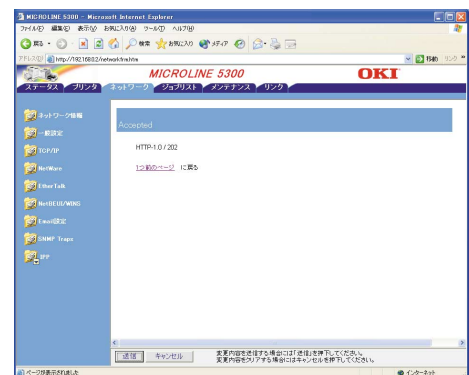
Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶ ［ログイン］をクリックします。

❷ ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

注　パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

❸ 必要な設定をした後、［送信］をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

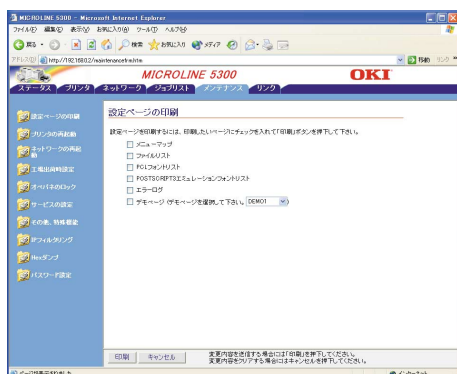
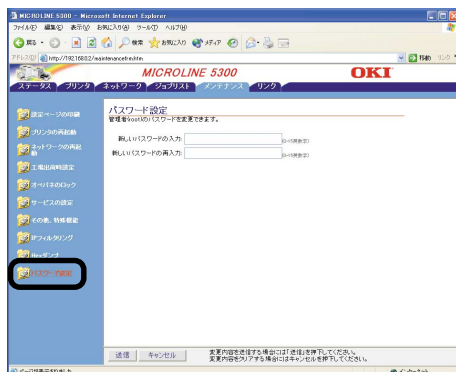
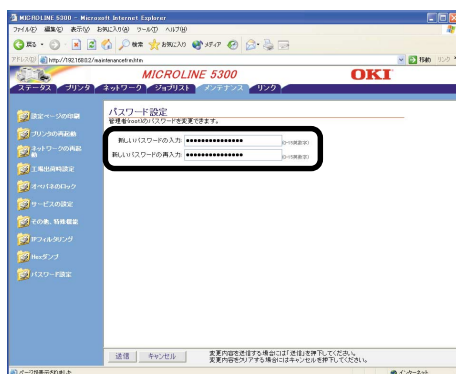
10章

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

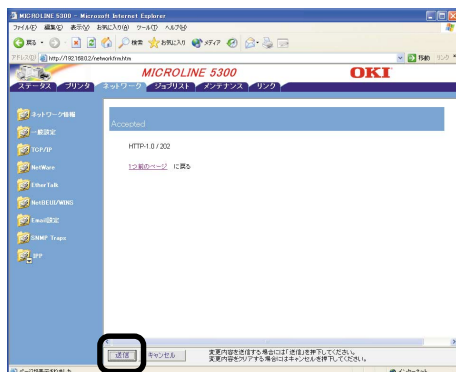
❶ ［ログイン］をクリックします。

❷ ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

❸ ［メンテナンス］タブをクリックします。

❹ ［パスワードの設定］をクリックします。

❺ ［新しいパスワードの入力］に新しいパスワードを入力し、［新しいパスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

注
- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❻ ［送信］をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、次のような画面が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

注 このパスワードはTELNET、AdminManagerのパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、AdminManagerのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

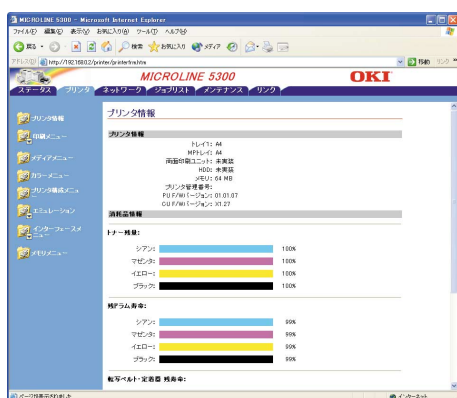
［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［ネットワーク情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［印刷メニュー］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［メディアメニュー］

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［カラーメニュー］

色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

［プリンタ構成メニュー］

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［エミュレーション］

サポートしているエミュレーションを設定できます。

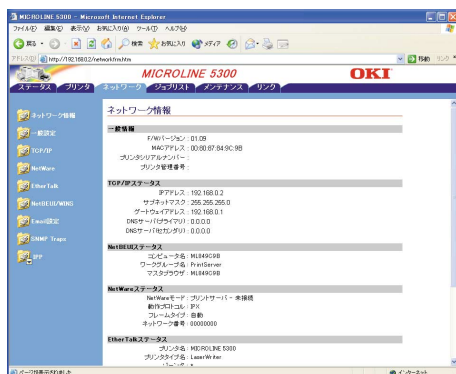
［インタフェースメニュー］

ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

［メモリメニュー］

受信バッファサイズの設定。受信バッファ中のデータ消去を実行します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［ネットワーク情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

［一般設定］

ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

1) System Contact.. 管理者への連絡先記載エリア
2) System Name ...... プリンタの名称記載エリア
3) System Location プリンタの置き場所記載エリア

［TCP/IP］

TCP/IP に関する情報を設定できます。

［NetWare］

NetWare に関する情報を設定できます。

［EtherTalk］

EtherTalk に関する情報を設定できます。

［NetBEUI/WINS］

NetBEUI/WINS に関する情報を設定できます。

［Email 設定］

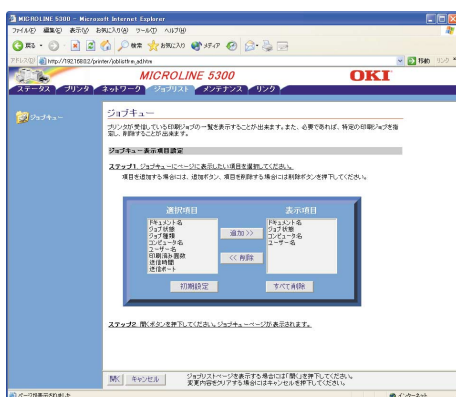
プリンタに発生した事象を Email で通知する機能を設定できます。

［SNMP Traps］

プリンタに発生した事象を SNMP で通知する機能を設定できます。

［IPP］

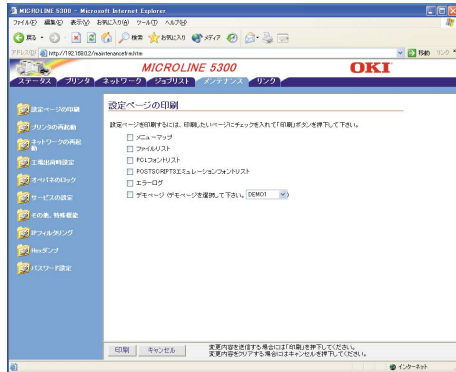
IPP 印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト　タブ

［ジョブキュー］

プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

10
章

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［設定ページの印刷］

メニューマップ、ネットワークの設定情報（Network Information）、デモページを印刷します。メニューマップ、ネットワークの設定情報（Network Information）は一緒に印刷されます。デモページを上記印刷と同時に印刷させることはできません。

［プリンタの再起動］

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

［ネットワークの再起動］

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

［工場出荷時設定］

プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Pageも表示できなくなってしまいます。

［オペパネのロック］

操作パネル（オペレータパネル）の操作を禁止状態に設定します。

［サービスの設定］

ネットワーク上の各サービスを停止させることができます。ウィルスの発生によりプリンタが攻撃されるような場合には、この機能を使用して回避する必要があります。SNMPだけはなるべく「ENABLE」で使うようお願いします。

［その他、特殊機能］

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

［IPフィルタリング］

TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います」（305ページ）をご覧ください。
「この人には印刷だけ許可しよう」「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

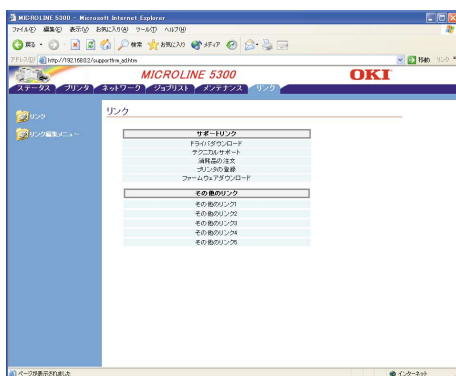
［Hexダンプ］

受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

［パスワード設定］

管理者のパスワードを変更します。初期状態でのパスワードはイーサネットアドレス下6桁です。

10
章

リンク　タブ

［リンク］

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

［リンク編集メニュー］

管理者が好きな URL を設定できます。
サポートリンクを５件、その他リンクを５件登録できます。
URL は、http:// も含めて入力してください。

telnet を使います

プリンタの設定ができます。

設定方法

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows : Windows2000 Professional
プリンタ : ML5300
IP アドレス : 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❶ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。

❷ pingコマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS ping 192.168.0.2
```

❸ telnetでプリンタに接続します。

ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

ML5300は「MLETB12」と表示されます。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 TELNET server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message    Value    (level.1)
-------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 4 : Setup EtherTalk
 5 : Setup NetBEUI
 6 : Setup printer trap
 7 : Setup SMTP(E-Mail)
 8 : Setup printer trap
 9 : Maintenance
10 : Setup printer port
11 : Display Status
12 : IP Filtering Setup
97 : Network Reset
98 : Set default(Network)
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

注
11：設定内容を表示します。
97：ネットワークを再起動します。
98：プリンタのネットワークの設定を初期化します。
99：設定を変更して前画面に戻ります。

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

10章

設定項目

TCP/IP設定画面

```
Please select(1 - 99)? _1

 No.  Message                Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
  2 : IP Address          : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol       : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol: DISABLE
  7 : Auto IP Address     : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
 10 : root Password       : "*******"
 11 : Network PnP Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 11

 No.  Message                Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Discovery              : ENABLE
  2 : Device Name            : “ML849C9B”
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SNMP設定画面

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                Value (level.2)
---------------------------------------
  1 : SysContact             : “”
  2 : SysName                : “”
  3 : SysLocation            : “”
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetWare設定画面

```
Please select(1-99)? _3

 No.  Message                  Value (level.2)
---------------------------------------
  1 : NetWare Protocol : ENABLE
  2 : Protocol         : IPX
  3 : Frame Type       : AUTO
  4 : Printer Name     : “ML849C9B-prn1”
  5 : NetWare Mode     : PSERVER
  6 : Setup PSERVER(IP)
  7 : Setup PSERVER(IPX)
  8 : Setup RPRINTER(IPX)
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                  Value (level.3)
-----------------------------------------
  1 : NDS Tree                 : “”
  2 : NDS Context              : “”
  3 : Print Server Name        : “ML849C9B”
  4 : Password                 : “”
  5 : Job Polling Time         : 4
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
-----------------------------------------
  1 : NDS Tree               : “”
  2 : NDS Context            : “”
  3 : Print Server Name      : “ML849C9B”
  4 : Password               : “”
  5 : Job Polling Time       : 4
  6 : Bindery Mode           : ENABLE
  7 : File Server 1          : “”
  8 : File Server 2          : “”
  9 : File Server 3          : “”
 10 : File Server 4          : “”
 11 : File Server 5          : “”
 12 : File Server 6          : “”
 13 : File Server 7          : “”
 14 : File Server 8          : “”
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _8

 No.  Message                  Value (level.3)
-----------------------------------------
  1 : Print Server 1           : “”
  2 : Print Server 2           : “”
  3 : Print Server 3           : “”
  4 : Print Server 4           : “”
  5 : Print Server 5           : “”
  6 : Print Server 6           : “”
  7 : Print Server 7           : “”
  8 : Print Server 8           : “”
  9 : Job Timeout              : 10
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

EtherTalk設定画面

```
Please select(1-99)? _4

 No.  Message               Value (level.2)
--------------------------------------
  1 : EtherTalk Protocol: ENABLE
  2 : Printer Name      : "MICROLINE 5300"
  3 : Zone Name         : "*"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetBEUI設定画面

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message               Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : NetBEUI Protocol : ENABLE
  2 : Computer Name    : "ML849C9B"
  3 : Workgroup Name   : "PrintServer"
  4 : Comment          : "EthernetBoard
                                  MLETB12"
  5 : Setup WINS
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message               Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : WINS Server (Pri.)    : 0.0.0.0
  2 : WINS Server (Sec.)    : 0.0.0.0
  3 : Scope ID              : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer trap設定画面

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message               Value (level.2)
----------------------------------------
1 : Prn-Trap Community    : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX   trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message               Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : TCP#1 Trap Enable      : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
  4 : Online Trap            : DISABLE
  5 : Offline Trap           : DISABLE
  6 : Paper Out Trap         : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
  8 : Cover Open Trap        : DISABLE
  9 : Printer Error Trap     : DISABLE
 10 : TCP#1 Trap Address     : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message               Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : IPX   Trap Enable     : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap   : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap  : DISABLE
  4 : Online Trap           : DISABLE
  5 : Offline Trap          : DISABLE
  6 : Paper Out Trap        : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap        : DISABLE
  8 : Cover Open Trap       : DISABLE
  9 : Printer Error Trap    : DISABLE
 10 : IPX   Trap Address    : "000000000000"
 11 : IPX   Trap Net        : "00000000"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

10章

SMTP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SMTP Transmit           : DISABLE
  3 : SMTP Server Name        : ""
  4 : SMTP Port Number        : 25
  5 : E-mail Address          : ""
  6 : Reply-To Address        : ""
  7 : Event to Address 1
  8 : Event to Address 2
  9 : Event to Address 3
 10 : Event to Address 4
 11 : Event to Address 5
 12 : Signature line 1        : ""
 13 : Signature line 2        : ""
 14 : Signature line 3        : ""
 15 : Signature line 4        : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : To Address 1            : ""
  2 : Re-send Interval        : DISABLE
  3 : Off Line                : DISABLE
  4 : Consumable Message      : DISABLE
  5 : Toner Low/Out           : DISABLE
  6 : Paper Low/Out           : DISABLE
  7 : Paper Jam               : DISABLE
  8 : Cover Open              : DISABLE
  9 : Stacker Error           : DISABLE
 10 : Mass Storage Error      : DISABLE
 11 : Recoverable  Error      : DISABLE
 12 : Service Call Req.       : DISABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Maintenance設定画面

```
Please select(1-99)? _9

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : FTP Service             : ENABLE
  2 : Telnet Service          : ENABLE
  3 : Web Service             : ENABLE
  4 : SNMP Service            : ENABLE
  5 : LAN Scale               : NORMAL
  6 : DefaultTTL              : 255
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer port設定画面

```
Please select(1-99)? _10

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : BOJ String              : ""
  2 : EOJ String              : ""
  3 : BOJ String(KANJI)       : ""
  4 : EOJ String(KANJI)       : "\x04"
  5 : Printer Type            : PS
  6 : TAB Size    (char.)     : 8
  7 : Page Width (char.)      : 78
  8 : Page Length(line)       : 64
  9 : FTP/LPR Banner          : NO
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

IP Filtering設定画面

```
Please select(1-99)? _12

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : IP Filtering            : DISABLE
  2 : IP Address range 1
  3 : IP Address range 2
  4 : IP Address range 3
  5 : IP Address range 4
  6 : IP Address range 5
  7 : IP Address range 6
  8 : IP Address range 7
  9 : IP Address range 8
 10 : IP Address range 9
 11 : IP Address range 10
 12 : Admin IP Address        : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

10章

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

注「Webブラウザを使います」（282ページ）の「動作環境」を確認してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　　　: ML5300
プリンタのIPアドレス　: 192.168.0.2
Webブラウザ　　　　　　: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

起動方法

❶ Webブラウザを起動します。

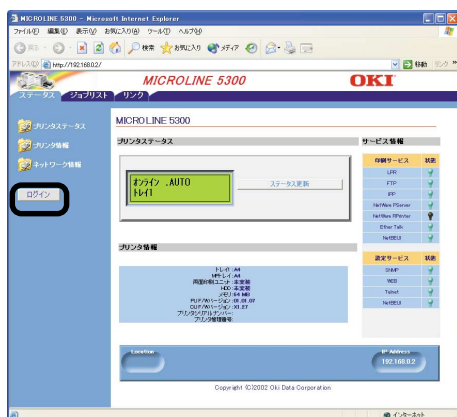
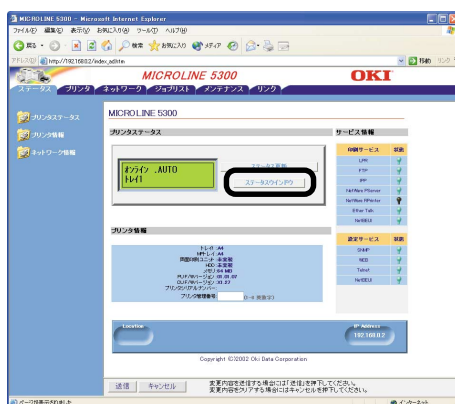
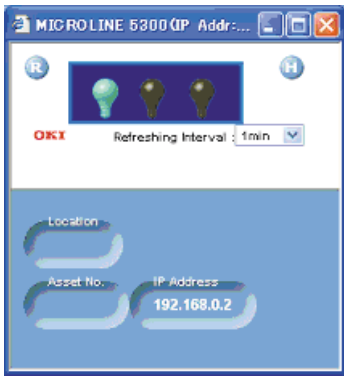
❷ [アドレス] にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

❸ [ログイン] をクリックします。

❹ [ユーザ名] に「root」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

❺ [ステータスウインドウ] をクリックします。

10章

ステータスウインドウが開きます。

機能説明

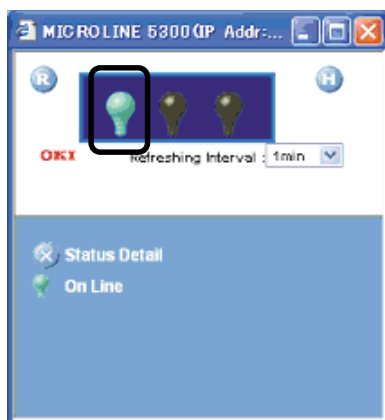
プリンタの状態は、3つのランプで表示されます。

	点　灯	消　灯
左のランプ	オンライン	オフライン
中央のランプ	軽障害（印刷は可能）	軽障害なし
右のランプ	重障害（印刷は不可能）	重障害なし

10章

表示例

• オンラインの場合

左のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

［×］ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

• トレイに用紙がない場合

中央のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

［×］ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

- カバーが開いている場合

右のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

［×］ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

10
章

DHCP/BOOTP を使います

DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスを取得できます。

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCP サーバの設定

DHCPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに動的にIPアドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

プリンタには、固定のIPアドレスが割り当てられるようにDHCPサーバを設定してください。ランダムにIPアドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定のIPアドレスを割り当てる方法については、各DHCPサーバのマニュアルをご覧ください。

動作確認環境

Windows2000 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows2000 Advanced Server 日本語版 DHCP サーバ
WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバ
WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP リレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバを例にしています。

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［ネットワーク］をダブルクリックし、［サービス］タブを開きます。

［ネットワークサービス］に［Microsoft DHCP サーバー］が表示されている場合は？

☞ ❻ へ進みます。

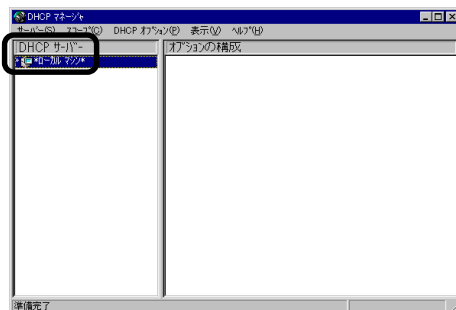
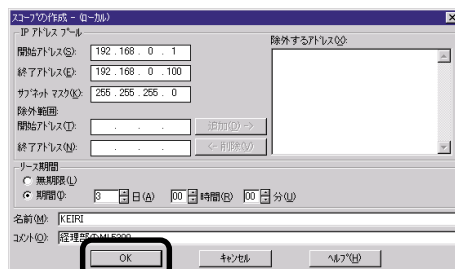
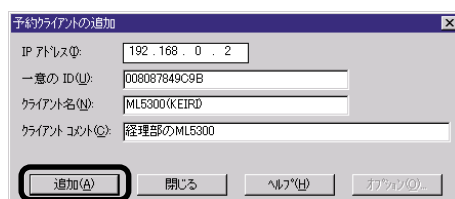
❸ ［追加］をクリックします。

❹ ［Microsoft DHCP サーバー］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ Windows を再起動します。

☞ ❷ からの続き

❻ ［スタート］-［プログラム］-［管理ツール（共通）］-［DHCP マネージャ］を選択します。

❼ ［DHCPサーバー］一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

❽ ［スコープ］メニューの［作成］を選択し、［IP アドレス　プール］の設定を行い、［OK］をクリックします。

❾ ［スコープ］メニューの［予約の追加］を選択し、各項目を入力し、［追加］をクリックします。

① IP アドレスを入力します。

② ［一意の ID］に、プリンタのイーサネットアドレスを入力します。

③ ［クライアント名］、［クライアントコメント］に任意の名前を入力します。

- 必ず［予約の追加］で IP アドレスを割り当ててください。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❿ ［閉じる］をクリックします。

⓫ ［スコープ］メニューの［アクティブ化］を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

⓬ ［DHCP マネージャ］を終了します。

10
章

BOOTP サーバの設定

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション　：HP-UX 9.x の BOOTP サーバ
IP アドレス　：192.168.0.2
イーサネットアドレス：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名　：ML5300

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❶ /etc/hosts ファイルに、プリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML5300
```

❷ /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

```
ML5300:\
```
/etc/hosts に登録したホスト名

```
ht=ether:\
```
ハードウェアタイプを [ether] にします。

```
ha=008087849C9B:\
```
イーサネットアドレス

```
ip=192.168.0.2:\
```
IP アドレス

```
sm=255.255.255.0:\
```
サブネットマスク

```
gw=192.168.0.1:\
```
ゲートウェイ

❸ /etc/inetd.conf ファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /
etc/ bootpd bootpd
```

❹ inetd を再起動します。

```
# kill -1 1
```

❺ プリンタの電源を ON にします。

10 章

プリンタの設定

以下の説明は、NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）と WindowsXP Home Edition を例にしています。

注 プリンタの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。
プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

10 章

❿ [OKI Device Standard Setup] をクリックします。

⓫ [インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する] を選択し、[次へ] をクリックします。

AdminManager が起動します。

⓬ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

⓭ [設定] メニューの [OKI Device の設定] を選びます。

⓮ [TCP/IP] タブの [DHCP/BOOTP を使用する] をチェックし、[設定] をクリックします。

⓯ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰ 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

10章

RARP を使います

RARP サーバから IP アドレスを取得できます。

- セットアップにはスーパーユーザの権限が必要です。
- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション　：SunOS4.1.x
IP アドレス　　　　：192.168.0.2
イーサネットアドレス：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名　　　　　　：ML5300

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

RARP サーバの設定

RARP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、RARP サーバに登録した IP アドレスを割り当てるプロトコルです。プリンタの電源を ON にすることで IP アドレスを取得することができます。

❶ /etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML5300
```

❷ /etc/ethersファイルにイーサネットアドレスとホスト名の組み合わせを追加します。ホスト名は、/etc/hosts ファイルに登録したホスト名と同じにします。

```
00:80:87:84:9C:9B ML5300
```

❸ RARPD を起動します。

```
#rarpd -a
```

- rarpd の起動方法については、UNIX のマニュアルをご覧ください。
- rarpd は UNIX を起動するたびに必要になりますので、/etc/rc などのファイルから起動するようにしておくと便利です。

❹ プリンタの電源を ON にします。

10
章

プリンタの設定

telnet で設定します。

プリンタの初期設定では「RARP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ arpコマンドを使って、プリンタに一時的な IP アドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

❷ ping コマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

応答がない場合は、IP アドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

❸ telnet でプリンタにログインします。

詳細は、「telnet を使います」（290 ページ）をご覧ください。

❹ TCP/IP 設定画面で［RARP protocol］を［ENABLE］にします。

❺ プリンタからログアウトします。

❻ 設定値を有効にするため、プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタの電源を OFF/ON するまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源を ON してください。

10
章

IPアドレスでのアクセス制限機能(IPフィルタ)を使います

プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。
NICセットアップユーティリティ（AdminManager）、Webブラウザ、telnetで設定ができます。

- プリンタの初期設定では、「IPフィルタ」が「DISABLE」に設定されています。
- IPアドレスの入力を間違えると、IPプロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

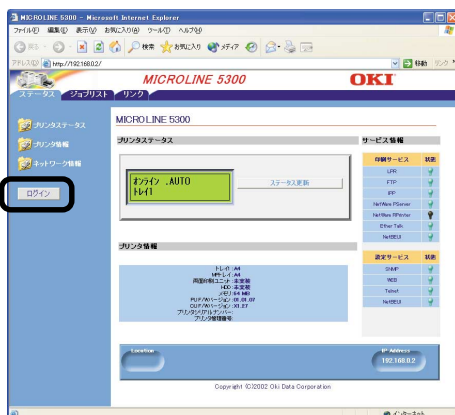
プリンタ　：ML5300
プリンタのIPアドレス　：192.168.0.2
Webブラウザ　：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

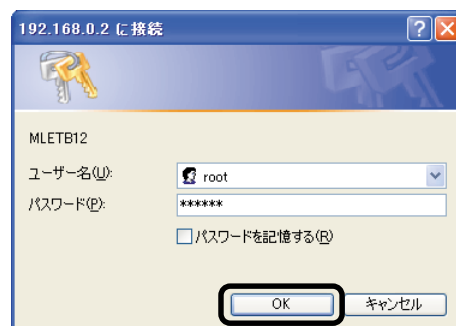
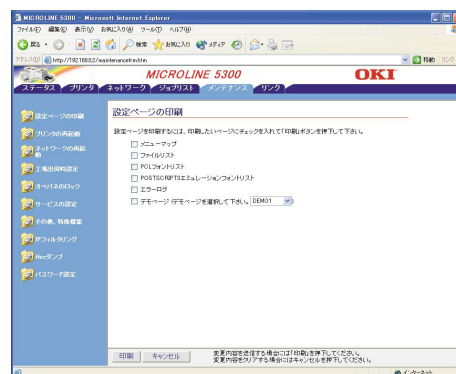
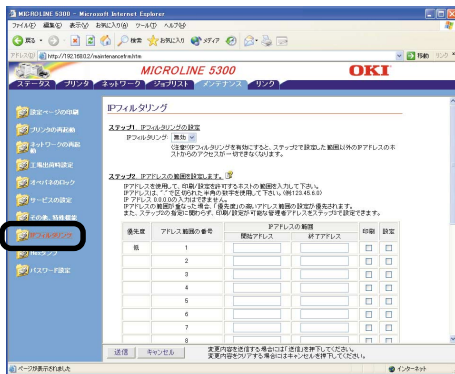
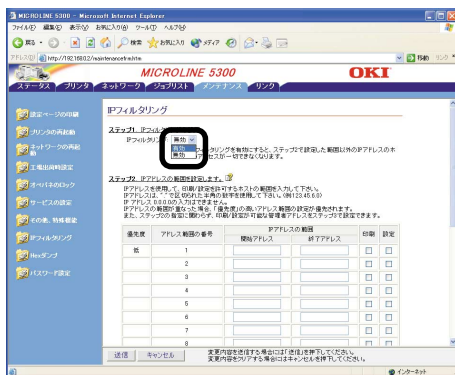
起動と設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

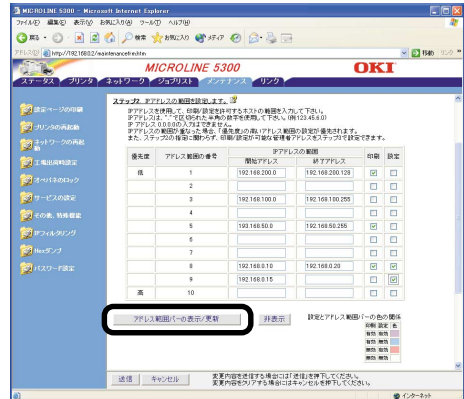
プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［ログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

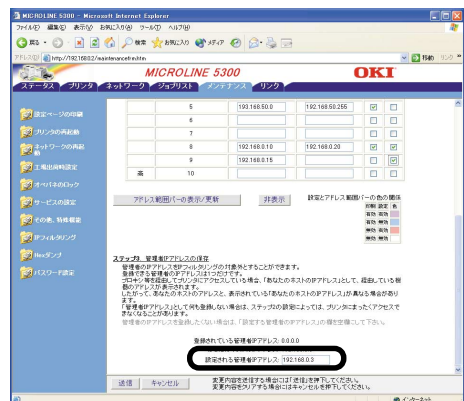
メモ　パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

❺ 「メンテナンス」タブをクリックします。

❻ ［IP フィルタリング］をクリックします。

❼ 「ステップ 1」で、「IP フィルタリングの設定」を［有効］にします。

注 IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ 2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❽ 「ステップ2」で、IPアドレスの範囲を設定します。

注
- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IPアドレス0.0.0.0の入力はできません。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

❾ ［アドレス範囲バーの表示 / 更新］ボタンをクリックします。

IP アドレスの範囲を、修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックしてください。

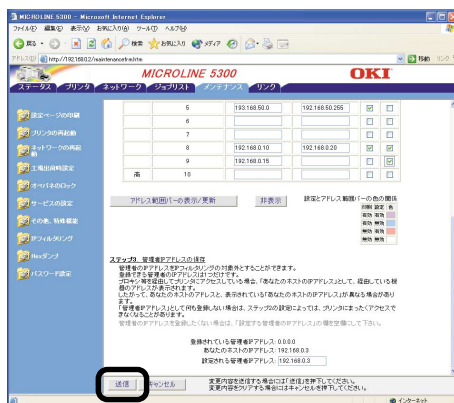
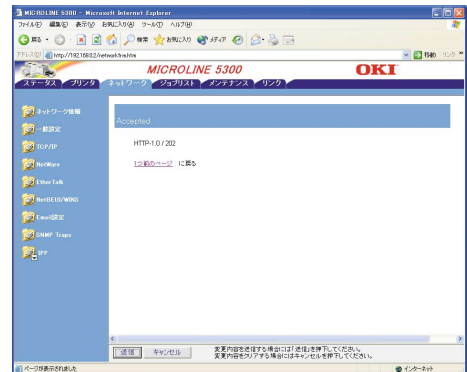
❿ 「ステップ 3」で、「設定される管理者IP アドレス」の値を設定します。

10 章

「設定される管理者IPアドレス」に管理者のIPアドレスを入力することにより、万一「Step2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者IPアドレス」で設定したIPアドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者IPアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

⓫ 「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

10章

メール送信機能（SMTP）を使います

メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。
NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）、Web ブラウザ、telnet で設定ができます。

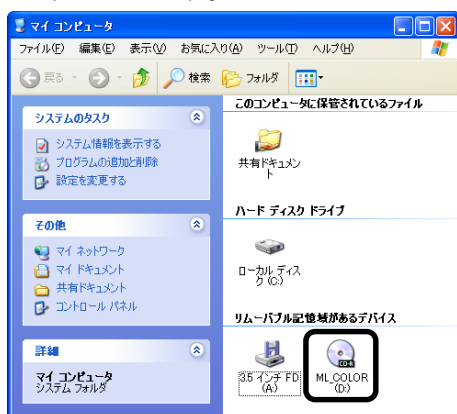
WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）、WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

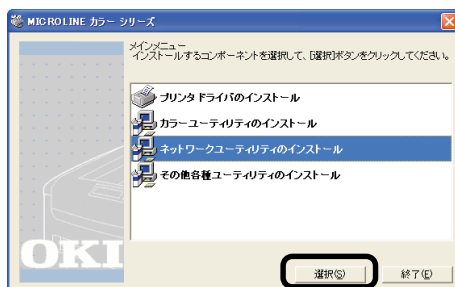
❸ [スタート] - [マイコンピュータ] を選択します。

❹ [リムーバブル記憶域があるデバイス] の [ML_COLOR] CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

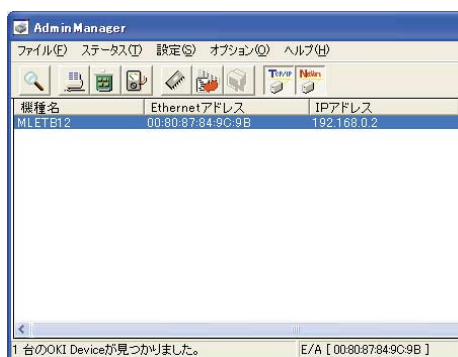
❼ [ネットワークユーティリティのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❽ [NIC セットアップユーティリティ] を選択し、[インストール] をクリックします。

❾ [日本語] をクリックします。

⑩ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⑪ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⑫ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300の代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

⑬ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

⑭ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順⑫で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑮ ［SMTP］タブを選択し、各項目を設定します。

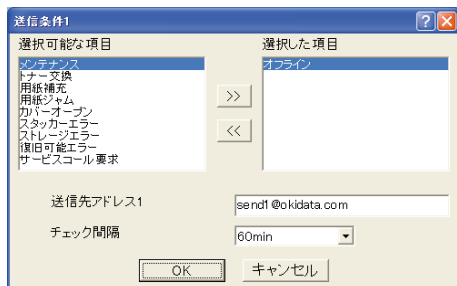
① 「SMTP送信プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② SMTPサーバアドレス/サーバ名を入力します。

③ 返信用アドレスを入力します。

④ E-Mailアドレスを入力します。

注 「SMTPサーバアドレス/サーバ名」にドメイン名を入力する場合は、［TCP/IP］タブの［DNSサーバ］を設定してください。

⑯ ［送信条件 1-5］をクリックし、各項目を設定し、［OK］をクリックします。

① メールを送信する条件を設定します。

② 送信先アドレスを入力します。

③ チェック間隔を設定します。

⑰ ［詳細設定］をクリックし、各項目を設定し、［OK］をクリックします。

① SMTP のポート番号を設定します。通常は25（初期設定）でご使用ください。

② メールの文末に付加する署名（コメント）を入力します。

⑱ ［設定］をクリックします。

⑲ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⑳ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

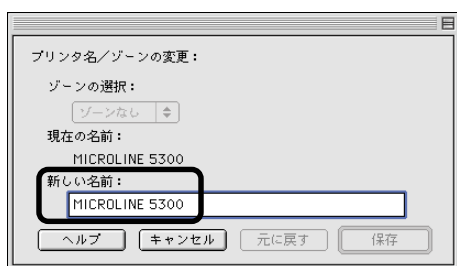
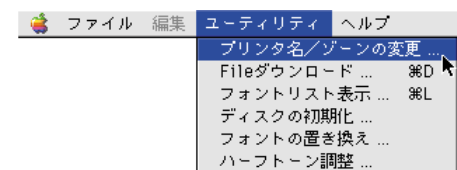
SNMPを使います

ML5300は、SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、ML5300はMIB-IIおよび沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」の［Utility］-［Nic］-［Mib］フォルダの中の「Readme-j.txt」を参考にしてください。

EtherTalk プリンタ名を変更したい

EtherTalk の場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

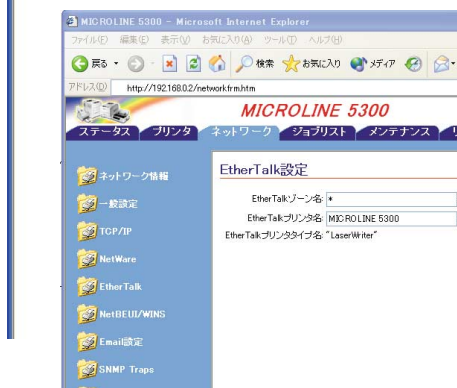
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

・ EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
・ Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［プリンタ名／ゾーンの変更 ...］を選択します。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

注 プリンタ名の文字長は最大 31 文字にすることができます。ただしプリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用できません。
2 バイトコードの上下どちらかのバイトに（=:*@˜≈）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

Web ブラウザを使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。
「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ［ログイン］をクリックします。

❸ ［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下 6 桁」です。

❹ ［ネットワーク］タブの［EtherTalk］をクリックします。

❺ ［EtherTalkプリンタ名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

・プリンタ名は 32 文字以内の英数字で設定できます。
・プリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用しないでください。

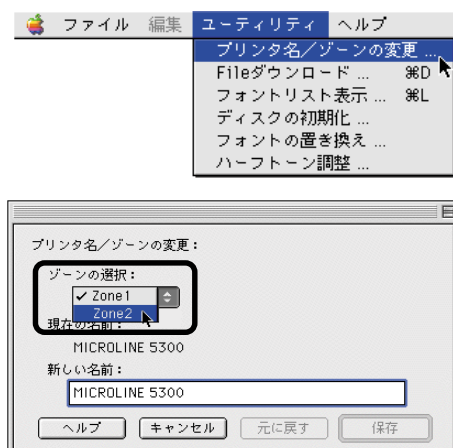
10章

EtherTalk ゾーンを変更したい

複数の論理ゾーンで区切られているEtherTalkで､プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

注 選択できるゾーンは同一セグメント内です。

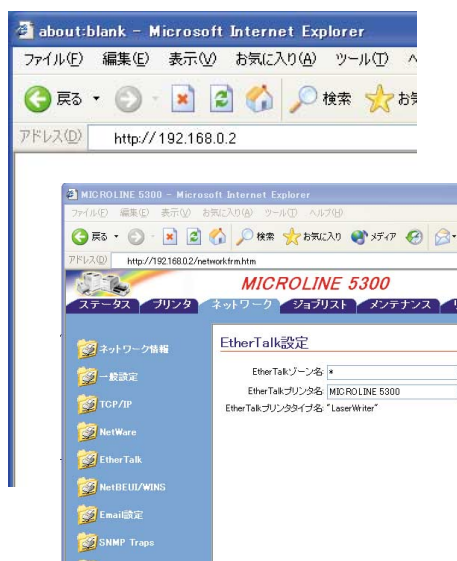
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

注
- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［プリンタ名 / ゾーンの変更 ...］を選択します。

❸ 変更したいゾーン名を選び､［保存］をクリックします。

Web ブラウザを使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し､［アドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し､Enterキーを押します。
「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ［ログイン］をクリックします。

❸ ［ユーザ名］に「root」､［パスワード］に現在のパスワードを入力し､［OK］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下 6 桁」です。

❹ ［ネットワーク］タブの［EtherTalk］をクリックします。

❺ ［EtherTalk ゾーン名］に新しい名前を入力し､［送信］をクリックします。

11 困ったときには

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター（372ページ）へご連絡ください。

ttttttt　：トレイ
mmmmm　：用紙サイズ
pppppppp：メディアタイプ

ステータス

プリンタの状態を示すメッセージです。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	消灯	消灯	プリンタの初期化中です。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源をOFFしないでください。
	RAM ﾁｪｯｸﾁｭｳ ******************	消灯	消灯	RAMチェック中です。
	ｵﾝﾗｲﾝ ttttttt	点灯	不定	オンラインです。
	ｵﾌﾗｲﾝ ttttttt	消灯	不定	オフラインです。
	ﾌｧｲﾙ ｱｸｾｽﾁｭｳ	不定	不定	プリントジョブアカウンティング（オプション）でフラッシュメモリにアクセスしています。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源をOFFしないでください。
	ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ ttttttt	不定	不定	データ受信中です。
	ｼｮﾘﾁｭｳ	点滅	不定	データ受信中または受信したデータを処理しています。
	ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ ttttttt	不定	不定	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
	ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	不定	不定	印刷しています。
	ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	デモ印刷中です。
	ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	フォント印刷中です。
	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	メニューマップを印刷中です。
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	ファイルリスト印刷中です。
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	エラーログ印刷中です。
	ﾁｮｳｱｲ iii/jjj	不定	不定	丁合印刷をしています。
	ｺﾋﾟｰ kkkkk/lllll	不定	不定	コピー部数が2部以上のとき、現在印刷しているコピー部数を表示します。
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ	点滅	不定	受信したデータをキャンセルしています。

11章

ステータス

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ｲﾝｻﾂｷｮｶ ﾅｼ)	点滅	不定	プリントジョブアカウンティング（オプション）で印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 (1) 使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ (2) 使用制限でカラー印刷不可が設定されているユーザのジョブ (3) 設定された制限値を超えたユーザのジョブ
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ﾊﾞｯﾌｧ ﾌﾙ)	点滅	不定	プリントジョブアカウンティング（オプション）のログフル時の操作が「ジョブをキャンセルする」に設定されているとき、ログを格納する領域が足りなくなり、ジョブがキャンセルされました。
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ｼﾞｬﾑ)	点滅	不定	受信したデータをキャンセルしています。（紙づまり復旧後の動作）
	ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	不定	不定	ウォーミングアップ動作中です。
	ｵﾝﾄﾞ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	ドラムが高温になっているため、しばらく印刷を停止しています。
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	不定	不定	省電力モード中です。
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	色ずれ調整中です。
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲﾁｭｳ	不定	不定	自動濃度補正または自動階調補正中です。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	点灯	不定	ネットワークの設定を変更しています。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｶｷｺﾐﾁｭｳ	点灯	点灯	ネットワークの設定を保存しています。

ワーニング

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、対処方法に従って対処してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	Y ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。イエローの新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。
	M ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。マゼンタの新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。
	C ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。シアンの新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。

ワーニング

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
	K ﾄﾅｰｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。ブラックの新しいトナーカートリッジを準備してください。
	Y ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	イエローの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとイメージドラムの故障の原因になります。
	M ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとイメージドラムの故障の原因になります。
	C ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	シアンの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとイメージドラムの故障の原因になります。
	ｵﾝﾗｲﾝSWｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ	不定	点灯	無効データを受信しました。または、「システムコウセイメニュー」の「タイムアウトインサツ」で指定した時間以上、データ受信が中断しています。「オンライン」スイッチを押してください。
	PS3 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ	点滅	不定	データ処理中にポストスクリプトエラーが発生しました。ジョブに誤りがあるか、複雑すぎます。
	Y ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	不定	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。イエローの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	M ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。マゼンタの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	C ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。シアンの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	K ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。ブラックの新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
	ﾃｲﾁｬｸｷ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	定着器ユニットの寿命が近づいています。新しい定着器ユニットを準備してください。
	ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	ベルトユニットの寿命が近づいています。新しいベルトユニットを準備してください。
	ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	定着ユニットの交換時期です。定着器ユニットを交換してください。
	ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。
	Y ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	イエロートナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
	M ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	マゼンタトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。

ワーニング

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
	C ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	シアントナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
	K ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	ブラックイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	Y ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	イエローイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	M ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	マゼンタイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	C ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	シアンイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	K ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ブラックイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
	tttttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	不定	点灯	tttttt トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
	ﾃﾞｨｽｸﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ﾌﾙ	不定	点灯	内蔵ハードディスクがいっぱいです。
	ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐ ｷﾝｼ	不定	点灯	内蔵ハードディスクに書き込めません。
	ﾁｮｳｱｲ ｴﾗｰ	不定	消灯	丁合印刷のためのメモリが不足しています。指定された部数ではなく、1部のみ印刷されます。「オンライン」スイッチ以外は無効です。「オンライン」スイッチを押して表示を消してください。
	ｷｮｶｻﾚﾃｲﾅｲID. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	不定	点灯	プリントジョブアカウンティング（オプション）で「データ　クリアチュウ（インサツキョカナシ）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。 「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
	ﾛｸﾞﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	不定	消灯	プリントジョブアカウンティング（オプション）で「データ　クリアチュウ（バッファフル）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。 「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
	ﾃﾞｨｽｸ ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ			内蔵ハードディスクに不正なアクセスがありました。
	mmmmmﾃ MPﾄﾚｲﾆ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	点灯	消灯	手差し印刷を行います。表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、「オンライン」スイッチを押してください。

11章

エラー

プリンタが停止するメッセージです。対処方法に従って対処してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
300	ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ 300：ﾈｯﾄﾜｰｸ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ネットワークエラーが発生しました。プリンタの電源をOFF/ONしてください。
310	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 310：ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
311	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 311：ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
316	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 316：ﾘｱｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	両面印刷ユニットカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
320	ﾃｲﾁｬｸｷｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 320：ﾃｲﾁｬｸｷ ｴﾗｰ	消灯	点滅	定着器ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
330	ﾍﾞﾙﾄｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 330：ﾍﾞﾙﾄ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ベルトユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
340	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 340：Y ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	イエローイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
341	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 341：M ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	マゼンタイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
342	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 342：C ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	シアンイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
343	ﾍﾞﾙﾄｦ ﾛｯｸｼ、ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 343：K ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ベルトのロックが外れているか、ブラックイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。ベルトのロックを確認し、ブラックイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
350	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 350：Y ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	イエローイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
351	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 351：M ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	マゼンタイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
352	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 352：C ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	シアンイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
353	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 353：K ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ブラックイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。
354	ﾃｲﾁｬｸｷｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 354：ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	定着器ユニットの交換時期です。定着器ユニットを交換してください。
355	ﾍﾞﾙﾄｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 355：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。

エラー

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
356	ﾍﾞﾙﾄｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 356 :ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。
360	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ ﾕﾆｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 360 :ﾘｮｳﾒﾝｲｻﾂ ﾕﾆｯﾄｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	消灯	点滅	両面印刷ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
370	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 370 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
371	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 371 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。中央付近に用紙があります。
372	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 372 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。手前の方に用紙があります。
373	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 373 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
380	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 380 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
381	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 381 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。ドラムの下に用紙があります。
382	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 382 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器付近に用紙があります。
383	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 383 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器から両面印刷ユニット入口付近に用紙があります。
389	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 389 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	場所を特定できない紙づまりが発生しました。トップカバーまたはフロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
390	ﾁｪｯｸ MPﾄﾚｲ 390 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	マルチパーパストレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
391	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 391 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	トレイ１からの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
392	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 392 :ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	トレイ２からの給紙中に紙づまりが発生しました。用紙カセットを抜き、つまった用紙を取り除いてください。用紙除去後、フロントカバーを開閉してください。
400	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 400 :ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	消灯	点滅	用紙サイズが違っています。フロントカバーを開けて用紙を取り除き、正しいサイズの用紙を入れてください。

エラー

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
410	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 410：Y ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	イエロートナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
411	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 411：M ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	マゼンタトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
412	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 412：C ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	シアントナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
413	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 413：K ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	ブラックトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
414	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 414：Y ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	イエローの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
415	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 415：M ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
416	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 416：C ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	シアンの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
	Y ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	イエローの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
	M ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
	C ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	シアンの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
420	ﾒﾓﾘｰｦ ﾂｲｶｼﾃｸﾀﾞｻｲ 420：ﾒﾓﾘｰｵｰﾊﾞﾌﾛｰ	消灯	点滅	メモリ不足です。「オンライン」スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリをお求めください。
430	ｶｾｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 430：ﾄﾚｲ1 ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ 1 のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
440	ｶｾｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 440：ﾄﾚｲ1 ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ 1 のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。

11章

エラー

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
460	mmmmm/pppppppﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 460：MPﾄﾚｲ ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	マルチパーパストレイの用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
461	mmmmm/pppppppﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 461：ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１の用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
462	mmmmm/pppppppﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 462：ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ２の用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
460	mmmmm/pppppppﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 460：MPﾄﾚｲ ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	マルチパーパストレイの用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
461	mmmmm/pppppppﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 461：ﾄﾚｲ1 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１の用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
462	mmmmm/pppppppﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 462：ﾄﾚｲ2 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ２の用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
490	mmmmmﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 490：MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	マルチパーパストレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
491	mmmmmﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 491：ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ１に用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
492	mmmmmﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 492：ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ２に用紙がありません。またはトレイ２から印刷しようとしましたが、トレイ２のカセットが抜かれていて給紙できません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
540	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 540：Y ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。イエローのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
541	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 541：M ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。マゼンタのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
542	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 542：C ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。シアンのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
543	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 543：K ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。ブラックのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

サービスコールエラー

プリンタの異常を示すメッセージです。

<table>
<tr><th>ｴﾗｰｺｰﾄﾞ
nnn</th><th>操作パネル表示</th><th>ｵﾝﾗｲﾝ
ランプ</th><th>点検
ランプ</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td></td><td rowspan="4">ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
nnn: ｴﾗｰ

ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ
nnn: ｴﾗｰ</td><td rowspan="4">消灯</td><td rowspan="4">点滅</td><td>プリンタに異常が発生しています。電源をOFF/ONしてください。復旧しない場合は、OAコールセンタへご連絡ください。
エラーコードが下記の場合は、次の処置も行ってください。</td></tr>
<tr><td>031</td><td>メモリチェックエラーです。メモリを取り付け直してください。オプションの増設メモリは純正品を使用してください。</td></tr>
<tr><td>181</td><td>オプションの両面印刷ユニットを取り付け直してください。</td></tr>
<tr><td>182</td><td>オプションのセカンドトレイユニットを取り付け直してください。</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったとき

電源をONにしても「オンライン」にならない。		
電源コードが抜けています。	☞	電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。		
エラーが表示されています。	☞	プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は「操作パネルのメッセージ」（316ページ）をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞	プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞	プリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定してください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

印刷処理が中断する。		
プリンタケーブルが断線しています。	☞	プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞	タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞	プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞	トップカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。		
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞	プリンタのメニュー設定で、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞	しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞	印刷処理が中断するまでお待ちください。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。 反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞	一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。
用紙がそろっていません。	☞	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を1枚だけセットしています。	☞	用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞	用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞	正しくセットしてください。
連量151～172kgの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを用紙カセットにセットできません。	☞	連量151～172kgの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。詳しくは5章をご覧ください。

用紙が送られない。		
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバで手差しの指定をしています。	☞	マルチパーパストレイに用紙をセットして、「オンライン」スイッチを押してください。または「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。		
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞	トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。		
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。
薄い紙を使用しています。	☞ より厚手の用紙を使用してください。
推奨紙以外のOHPシートを使用しています。	☞ 推奨紙を使用してください。推奨紙以外を使用すると種類によっては定着器ユニットのローラに巻きつく可能性があります。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞ 用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

Windows から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

USB接続でセットアップできない。		
Windows95/NT4.0でセットアップできません。	☞	USB接続できるのWindowsMe/98/2000/XPです。Windows95/NT4.0は接続できません。
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	☞	動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	☞	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［USB］を「ユウコウ」にしてください。
セットアップ手順が間違っています。	☞	セットアップ編の3章をご覧ください。
USBケーブルが外れています。	☞	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	☞	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「D:¥WIN98¥PS¥JPN」 （CD-ROMドライブがD：の場合）
セットアップを中断しました。	☞	もう一度初めからセットアップしてください。
WindowsXP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	☞	セットアップ編の3章をご覧ください。

11章

パラレル接続でセットアップできない。		
WindowsNT4.0でプラグアンドプレイでセットアップできません。	☞	プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsMe/98/ 95/2000/XPです。WindowsNT4.0はセットアップブログラムからセットアップしてください。 （セットアップ編 160ページ）
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	☞	双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［セントロ］を［ユウコウ］にしてください。（234ページ）
セットアップ手順が間違っています。	☞	セットアップ編の4章をご覧ください。
パラレルケーブルが外れています。	☞	パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	☞	予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「D:¥WIN98¥PS¥JPN」 （CD-ROMドライブがD：の場合） （セットアップ編 156、158ページ）
セットアップを中断しました。	☞	もう一度初めからセットアップしてください。 （セットアップ編 156、160ページ）

11
章

印刷できない。		
プリンタの電源がOFFになっています。	☞	プリンタの電源をONにしてください。（セットアップ編 24ページ）
［オフライン］になっています。	☞	「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［セントロ］または［USB］を［ユウコウ］にしてください。（234ページ）
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞	処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞	［通常使うプリンタ］にしてください。
双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞	他のプリンタドライバを削除してみてください。
I-PRIMEの設定がコンピュータに合っていません。	☞	プリンタのメニュー設定で［I-PRIME］を［3u SEC］または［5u SEC］にしてください。
LCD表示が「オンラインSWヲ　オシテクダサイ／ムコウデータ」と表示され印刷しません。	☞	プリンタのメニュー設定で「タイムアウト　インサツ」の設定値を長くしてみてください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞	プリントジョブアカウンティング（オプション）を使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
USB接続でプリンタアイコンが［オフライン］になっています。	☞	プリンタアイコンを右クリックして［プリンタをオフラインにする］のチェックを外してください。

PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。		
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞	書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

メモリ不足になる。		
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞	使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。		
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞	処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［きれい］を選択しています。	☞	プリンタドライバの［印刷オプション］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。
パラレルインタフェースで接続しています。	☞	コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードに変更してみてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。		
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞	「ネットワーク経由で印刷できない」（337ページ）をご覧ください。

11章

Macintoshから印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

USB接続でセットアップできない。	
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［USB］を［ユウコウ］にしてください。（234ページ）
MacOSのバージョンが対応していません。	☞ USB接続できるのはMacOS9.0以降です。それ以前のMacOSにはネットワーク経由で接続してください。（セットアップ編 182、202ページ）
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	☞ セットアップ編の6章、8章をご覧ください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	☞ USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	☞ USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	☞ 予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	☞ プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	☞ もう一度初めからセットアップしてください。（セットアップ編184、204ページ）

USB接続で印刷できない。	
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	☞ プリンタの電源をONにしてください。（セットアップ編 24ページ）
USBケーブルが外れています。	☞ USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	☞ 予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	☞ プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	☞ Macintoshのプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	☞ プリンタドライバを再インストールしてください。（セットアップ編 190、209ページ）
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［USB］を［ユウコウ］に設定してください。（234ページ）
［オフライン］になっています。	☞ 「オンライン」を押して、［オンライン］にしてください。

メモリエラーになる。	
デスクトップ・プリントモニタのメモリサイズが不足しています。	☞ メモリサイズを大きくしてください。

印刷が遅い。	
印刷処理をMacintosh側でも行っています。	☞ 処理速度の速いMacintoshを使用してください。
［印刷品位］の［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品位］で［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 「ネットワーク経由で印刷できない」（337ページ）をご覧ください。

PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

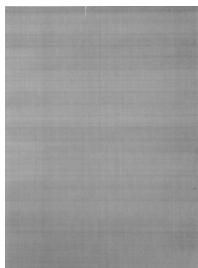
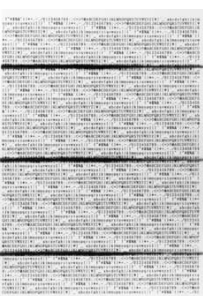
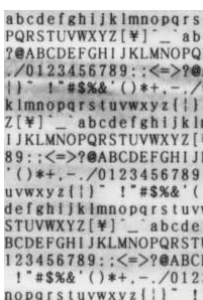
多くの書体を使用した文書を印刷すると、PostScriptエラーになる。	
MacOSの制限です。	☞ ［用紙設定］-［PostScriptオプション］で［ダウンロード可能フォントの制限なし］にチェックを付けてください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。			
	LEDヘッドが汚れています。	☞	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	異物がつまっています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	イメージドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れています。	☞	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

縦方向にかすれる。			
	LEDヘッドが汚れています。	☞	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞	推奨紙を使用してください。

印刷が薄い。			
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。			
	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	［セッティング］の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［フツウシ　ブラック　セッティング］または［フツウシ　カラー　セッティング］の値を変更してみてください。 OHPシートに印刷している場合は、［OHP　ブラック　セッティング］または［OHP　カラー　セッティング］の値を変更してみてください。

縦方向にスジが入る。			
	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。			
	約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約42mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約87mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	☞	定着器ユニットを交換してください。
	イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。

白地の部分が薄く汚れる。			
	用紙が静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚い用紙を使用しています。	☞	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。		
abcdefghijklmnopqrs PQRSTUVWXYZ[¥]^_`ab ?@ABCDEFGHIJKLMNOPQ ./0123456789:;<=>?@ ¦}~ !"#$%&'()*+,-./ klmnopqrstuvwxyz{¦} Z[¥]^_`abcdefghijkl IJKLMNOPQRSTUVWXYZ[89:;<=>?@ABCDEFGHIJ '()*+,-./0123456789 uvwxyz{¦}~ !"#$%&'(defghijklmnopqrstuv STUVWXYZ[¥]^_`abcde BCDEFGHIJKLMNOPQRST 123456789:;<=>?@ABC !"#$%&'()*+,-./012 nopqrstuvwxyz{¦}~ !	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまた柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

はがき、封筒またはコート紙を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。		
	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。
	コート紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。コート紙はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。

光沢にムラが出る。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。

思った色合いで印刷されない。	
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
［黒の生成］の設定がアプリケーションに合っていません。	☞ プリンタドライバの［黒の生成］で［CMYKトナーで生成］または、［黒トナーのみで生成］を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上がりを変更したい」（191ページ）をご覧ください。
カラー調整を変更しています。	☞ プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「簡単にカラーマッチングしたい」（171ページ）をご覧ください。
カラーバランスがとれていません。	☞ プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞ トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは「色ずれ補正調整をします」（28ページ）、「色ずれ補正を微調整したい」（208ページ）をご覧ください。

ネットワーク経由で印刷できない

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔（1秒あるいは0.1秒）で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- HUB の LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの２種類が存在します。HUB との接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［NETWORK MENU］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［HUB LINK SETTING］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、［10BASE-T HALF］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［✽］を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法は HUB に付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

WindowsMe/98/95

◆OKI LPRユーティリティを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［ネットワークの設定タブ］-［現在のネットワークコンポーネント］で、［TCP/IP → ***］（*** はアダプタ名）が表示されていることを確認します。
- ［TCP/IP → ***］（*** はアダプタ名）の［プロパティ］で、［IP アドレス］,［サブネットマスク］,［ゲートウェイ］が正しいか確認します。
- ［スタート］-［設定］-［プリンタ］-［使用しているプリンタ］の［プロパティ］を選択し、［詳細タブ］-［スプールの設定］で［このプリンタの双方向通信をサポートしない］にチェックが付いていることを確認します。
- OKI LPR ユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、［リモートプリントメニュー］-［一時停止］のチェックを外します。
- 「OKI LPR ユーティリティ」画面で、［使用しているプリンタ］を選択してから［リモートプリントメニュー］-［プリンタの再設定］を選択し、［IP アドレス］がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPR ユーティリティの最新版は沖データホームページ（http://www. okidata.co.jp）で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦 “OKI LPR ユーティリティを削除” してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

［IP アドレス］	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
［サブネットマスク］	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
［ゲートウェイ］	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

◆NetBEUIを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［ネットワークの設定タブ］-［現在のネットワークコンポーネント］で ［NetBEUI → ***］（*** はアダプタ名）が表示されていることを確認します。

WindowsXP/2000

◆OKI LPRユーティリティを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されていることを確認します。
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］をクリックし、［IP アドレス］,［サブネットマスク］,［デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindowsXP/2000の仕様によるものです。
- 「OKI LPR ユーティリティ」画面で、［使用しているプリンタ］を選択してから［リモートプリントメニュー］-［プリンタの再設定］を選択し、［IP アドレス］がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPR ユーティリティの最新版は沖データホームページ（http://www. okidata.co.jp）で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦 “OKI LPR ユーティリティを削除” してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPR ユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、［リモートプリントメニュー］-［一時停止］のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

［IP アドレス］	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
［サブネットマスク］	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
［ゲートウェイ］	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

◆IPP（TCP/IP）を利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されていることを確認します。
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］をクリックし、［IP アドレス］,［サブネットマスク］,［デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- セットアップするプリンタの IP アドレスや URL が正しいか確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindowsXP/2000の仕様によるものです。

◆NetBEUIを利用する場合　（Windows2000のみ）

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［NetBEUI プロトコル］が表示されていることを確認します。
- WindowsXP は、OS がサポートしていないため、NetBEUI プロトコルは利用できません。

WindowsNT4.0

◆OKI LPRユーティリティを利用する場合

- [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] をダブルクリックし、[プロトコルタブ] の [ネットワークプロトコル] で [TCP/IPプロトコル] が表示されていることを確認します。
- [TCP/IPプロトコル] の [プロパティ] で、[IPアドレス], [サブネットマスク], [デフォルトゲートウェイ] が正しいことを確認します。
- [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] をダブルクリックし、[サービスタブ] の [ネットワークサービス] で [Microsoft TCP/IP印刷] が表示されていることを確認します。
- [スタート] - [設定] - [プリンタ] - [使用しているプリンタ] の [プロパティ] を選択し、[ポートタブ] - [印刷するポート] で「xxx.xxx.xxx.xxx:lp」(「xxx.xxx.xxx.xxx:はプリンタのIPアドレス) と表示されていることを確認します。「lp」以外のプリントキュー名は無効です。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ] を選択してから [リモートプリントメニュー] - [プリンタの再設定] を選択し、[IPアドレス] がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ (http://www. okidata.co.jp) で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦 “OKI LPRユーティリティを削除” してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー] - [一時停止] のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

◆NetBEUIを利用する場合

- [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] をダブルクリックし、[プロトコルタブ] の [ネットワークプロトコル] で [NetBEUIプロトコル] が表示されていることを確認します。

Macintosh

- [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [AppleTalk] で [経由先] が [Ethernet] になっていることを確認します。
- [アップルメニュー] - [セレクタ] で、「LaserWriter 8」をクリックしたとき「プリンタ名」が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は「MICROLINE 5300」です。プリンタ名はネットワークの設定情報 (Network Information) に表示されている [EtherTalk Configuration] の [Printer Name] です。

Mac OS X

- [アップルメニュー] - [システム環境設定] - [インターネットとネットワーク] - [ネットワーク] - [表示] - [ネットワークポート設定] で [内蔵Ethernet] にチェックがついていることを確認します。
- [表示] - [内蔵Ethernet] - [AppleTalk] で [AppleTalk使用] にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [プリントセンター] (Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]-[Print Center]) で、[追加]をクリックし、[AppleTalk] を選択したときに [MICROLINE 5300] が表示されるか確認します。

UNIX

- 「etc/hostsファイル」にプリンタの［IPアドレス］と［ホスト名］が登録されているか確認します。
- lpプロトコルを利用する場合は、「etc/printcapファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名（例：rp=lp）が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftpプロトコルを利用する場合は、出力先（イーサネットボードの論理ディレクトリ名）が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

NetWare

◆プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）の「File Server#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）の「Printer Name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）の「Print Server Name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- イーサネットボードが複数存在する場合はイーサネットボード同士の「Printer Name」が同じにならないようにします。

◆リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）の「Print Server#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）の「Printer Name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- NICセットアップユーティリティ（AdminManager）（Windows）でプリンタを検出できるか確認します。
- Setup Utility（Macintosh）でプリンタを検出できるか確認します。
- Webブラウザでプリンタを検出できるか確認します。
- telnetでプリンタを検出できるか確認します。
- pingでプリンタを検出できるか確認します。WindowsのコマンドプロンプトWindows（MS-DOSプロンプト）で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxxはプリンタのIPアドレス）と入力し、Enterキーを押します。

12 使用できる用紙について

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の［メディアウェイト］、［メディアタイプ］で設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」（セットアップ編）と「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」（セットアップ編）をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～172kg(64～200g/m^2)
	A5	148×210	
	A6	105×148	両面印刷(オプション)の場合、連量55～90kg(64～105g/m^2)使用できる用紙サイズは、「A4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブ」です。
	B5	182×257	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13インチ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(13.5インチ)	215.9×342.9(8.5×13.5)	
	リーガル(14インチ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)	
	カスタム	幅　100～215.9 長さ148～1200 ただし、長さが356mm以上の場合は幅は210～215.9mmです。	連量55～172kg(64～200g/m^2) 長さが356mm以上の長尺用紙の場合は110kg(128g/m^2)です。
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m^2の紙を使用したもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	封筒4(A4サイズ)	210×297	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.38×9.02)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.2mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.125mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	―	―	連量55～172kg(64～200g/m^2)
カラー用紙	―	―	連量55～172kg(64～200g/m^2)

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：J 紙（富士ゼロックス）、両面印刷の場合は JD 紙（富士ゼロックス）
- 用紙の厚さが連量 55 ～ 172kg（64 ～ 200g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙　銘柄名： Green 100（富士ゼロックス製）
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

12
章

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 封筒 1 ～ 4 は坪量 85g/m² の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A6XX（コクヨ製）（総厚：147μm）
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.2mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨紙 ： MLOHP01（3M社製　CG3720）
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート
- 用紙の厚さが0.1～0.125mmのOHPシート

- ・OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
- ・印刷後はうねりが発生することがあります。
- ・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- ・トナーの定着が低下することがあります。
- ・表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
- ・推奨紙以外のOHPシートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
- ・OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で230℃に耐えるもの

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、画像伸縮：±1mm/100mm
（連量70kgの場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

12
章

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：しらおい（大昭和製紙製）　連量 110kg（128g/m²）
- 用紙サイズは幅 210 ～ 215.9mm、長さ 356 ～ 1200mm

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 長さが 400mm を超える用紙は、「きれい」（1200 × 600dpi）では印刷されません。「ふつう」（600 × 600dpi）で印刷されます。
- 連量 110kg 以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 長尺印刷を行う場合は、64MB 増設メモリの追加を推奨します。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

注　長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

付　録

付録

仕様

主な仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC750CXプロセッサ(400MHz)
RAM容量	64MB(最大128MB)
対応OS	WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0日本語版 MacOS 8.1～9.2.2、Mac OS X 10.0～10.2.4日本語版　　詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PostScript3エミュレーション、PCL5cエミュレーション
内蔵フォント	PSE　：日本語2書体、欧文136書体 PCL5c　：日本語4書体、欧文84書体
インタフェース	USB（Hi-Speed USBをサポート）100BASE-TX/10BASE-T、IEEE std 1284-1994準拠パラレル
印刷速度 *1	カラー　：12ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、6ページ/分（OHPシート）、 8ページ/分（104kg(121g/m2)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 10ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時） モノクロ：20ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、12ページ/分、（OHPシート）、 8ページ/分（104kg(121g/m2)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 16ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、 エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（9種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～172kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンドトレイユニット（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　:普通紙300枚／連量70kg　総厚30mm以下 マルチパーパストレイ :普通紙100枚／連量70kg　総厚10mm以下　はがき40枚､封筒10枚／坪量85g/m2
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg　　フェイスダウン：約250枚／連量70kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kgの場合）
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ時間	電源投入後95秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大850W、平均400W(25℃) 待機時　：最大750W、平均100W(25℃) 節電モード時 ：最大30W
突入電流	50A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH
標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　　平均印刷枚数　：1,500枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット
装置寿命	5年または42万枚
総重量 *3/ 本体重量 *4	約25.8kg/約20.4kg

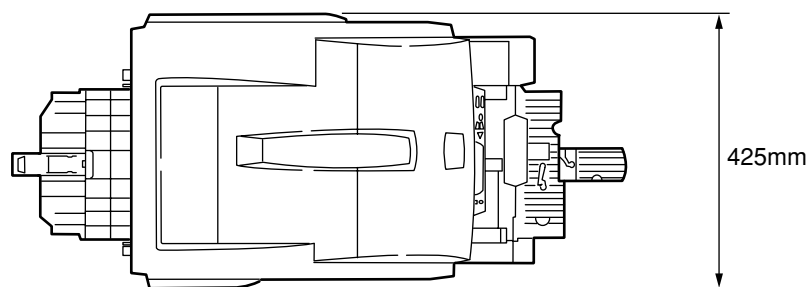
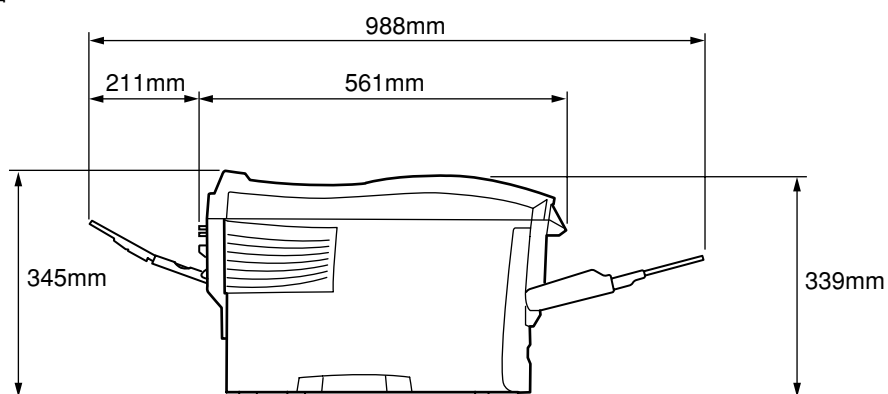
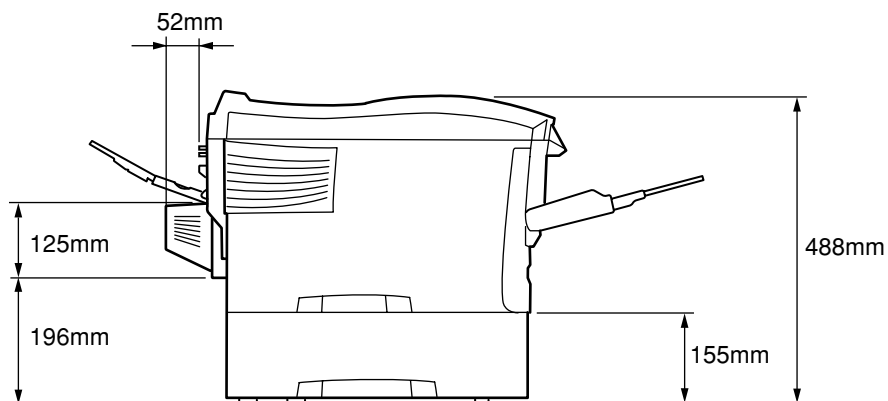
*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4：本体のみ、消耗品を含みません。

外形寸法

平面図

側面図

オプション装着時

付録

USBインタフェース仕様

基本仕様

USB（Hi-Speed USBをサポート）

コネクタ

プリンタ側　Bレセプタクル(メス)
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1
（日本圧着端子製造株式会社製)相当品
ケーブル側　Bプラグ(オス)

ケーブル

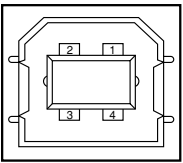
2m以下のUSB2.0仕様のケーブル
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

フルスピード(最大12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード(最大480Mbps ± 0.05%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

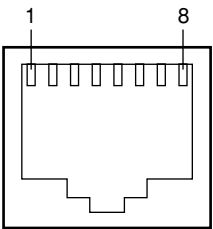
ネットワークプロトコル
TCP/IP関連
NetWare関連
EtherTalk関連
NetBEUI関連

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　　能
1	TXD+	FROM PRINTER	送信データ+
2	TXD-	FROM PRINTER	送信データ-
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ+
4	―	―	使用していません。
5	―	―	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ-
7	―	―	使用していません。
8	―	―	使用していません。

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36 極レセプタクル(メス)
57RE-40360-830B-D29 型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル側　36 極プラグ(オス)
57FE-30360 型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

1.8m以下のIEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋0.0〜＋0.8V
ハイレベル　＋2.4〜＋5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	−	−	使用していません。
16	GND	−	信号グランド
17	FG	−	シャーシグランド
18	＋5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19〜30	GND	−	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	−	信号グランド
34	−	−	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

注

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEEstd1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

フォントサンプル（PostScript3 エミュレーションモード）

日本語2書体

注 Macintosh、Mac OS X では使用できません。

平成角ゴシック体TMW5
株式会社 沖データ
平成明朝体TMW3
株式会社 沖データ

欧文136書体

- OS によって使用できる書体に制限があります。
- Mac OS X では使用できません。

AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Candid

Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic

COPPERPLATE-THIRTYTHREEBC
COPPERPLATE-THIRTYTWOBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

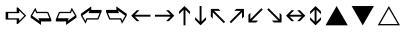
StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol　ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Taffy

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular
Wingdings2 ⓪①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
Wingdings3 ⇨⇦⇨⇦⇨←→↑↓↖↗↙↘↔↕▲▼△

ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

付録

フォントサンプル（PCLエミュレーションモード）

 Macintosh環境では使用できません。

日本語4書体

平成明朝	平成角ゴシック
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

P平成明朝	P平成角ゴシック
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

欧文84書体

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line PrinterはWindows環境では使用できません。
- ビットマップフォントとUSPS POSTNET Bar Codesは、固定サイズです。

Scalable Font（80書体）

No.		No.	
000	Courier	028	Garamond Kursiv Halbfett
001	Courier Bold	029	Marigold
002	Courier Italic	030	Albertus Medium
003	Courier Bold Italic	031	Albertus Extra Bold
004	CG Times	032	Letter Gothic
005	CG Times Bold	033	Letter Gothic Bold
006	CG Times Italic	034	Letter Gothic Italic
007	CG Times Bold Italic	035	Arial
008	CG Omega	036	Arial Bold
009	CG Omega Bold	037	Arial Italic
010	CG Omega Italic	038	Arial Bold Italic
011	CG Omega Bold Italic	039	Times New
012	Coronet	040	Times New Bold
013	Clarendon Condensed	041	Times New Italic
014	Univers Medium	042	Times New Bold Italic
015	Univers Bold	043	ITC Avant Garde Gothic Book
016	Univers Medium Italic	044	ITC Avant Garde Gothic Demi
017	Univers Bold Italic	045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
018	Univers Medium Condensed	046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
019	Univers Bold Condensed	047	ITC Bookman Light
020	Univers Medium Condensed Italic	048	ITC Bookman Demi
021	Univers Bold Condensed Italic	049	ITC Bookman Light Italic
022	Antique Olive	050	ITC Bookman Demi Italic
023	Antique Olive Bold	051	CourierPS
024	Antique Olive Italic	052	CourierPS Bold
025	Garamond Antique	053	CourierPS Oblique
026	Garamond Halbfett	054	CourierPS Bold Oblique
027	Garamond Kursiv	055	Helvetica

付録

No.	
056	**Helvetica Bold**
057	*Helvetica Oblique*
058	***Helvetica Bold Oblique***
059	Helvetica Narrow
060	**Helvetica Narrow Bold**
061	*Helvetica Narrow Oblique*
062	***Helvetica Narrow Bold Oblique***
063	New Century Schoolbook Roman
064	**New Century Schoolbook Bold**
065	*New Century Schoolbook Italic*
066	***New Century Schoolbook Bold Italic***
067	Palatino Roman
068	**Palatino Bold**
069	*Palatino Italic*
070	***Palatino Bold Italic***
071	Times Roman
072	**Times Bold**
073	*Times Italic*
074	***Times Bold Italic***
075	*ITC Zapf Chancery Medium Italic*
076	Symbol
077	SymbolPS
078	Wingdings
079	ITC Zapf Dingbats

ビットマップフォント（3書体）

No.	
080	Line Printer ABCDEfghij12345
081	OCR-A ABCDEfghij12345
082	OCR-B ABCDEfghij12345

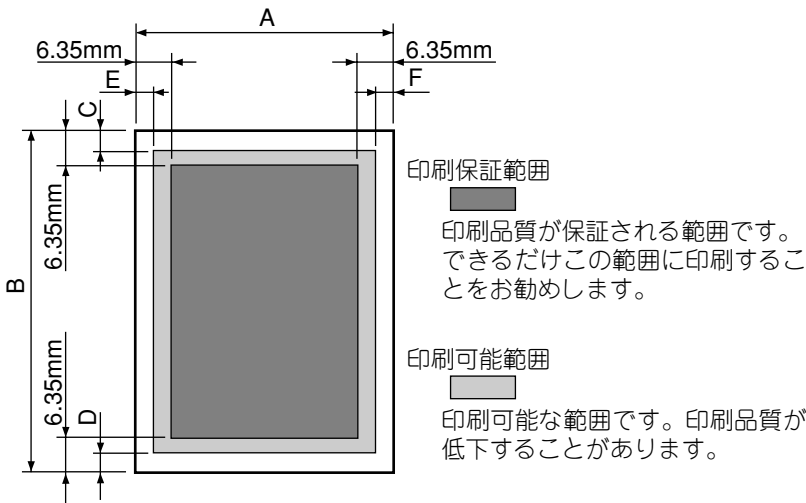
USPS POSTNET Bar Codes

No.	
083	USPS POSTNET Bar Codes

付録

印刷範囲と印刷精度（PostScript3 エミュレーションモード、PCL エミュレーションモード）

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量 70kg の場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は±2.5mm です。

単位：mm

			PSプリンタドライバ				PCLプリンタドライバ（Windows）			
用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5インチ）	215.9	342.9	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	100～215.9	148～1,200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒4（A4サイズ）	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

付録

文字コード表（PostScript3 エミュレーションモード）

- ***-83pv-RKSJ-H は、主に Macintosh で使用します。（*** はフォント名）
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-H および ***-Ext-RKSJ-H は、主に Windows で使用します。（*** はフォント名）
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェアCD-ROM」の以下のフォルダにPDFファイルで入っています。
  ［Windows］.............. ［ML_COLOR］ - ［DOC］ フォルダ
  ［Macintosh］............ ［ML_COLOR］ - ［漢字コード表］ フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code

High code	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code

High code	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	φ	γ	η	ι	ϕ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

Wingdings-Regular

Low　code / High　code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	○	🞅	🞇	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬀	⬁	⬃	⬂	🢬	🢭	🗶	✔	🗷	🗹	⊞

ZapfDingbats

Low　code / High　code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

付録

文字コード表（PCL エミュレーションモード）

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

WIN3.1J
PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-866
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Sebro Croat1
Sebro Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int'l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L5
ISO L6
ISO L9

PCL平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			"	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			'	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

付録

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	|	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	∼			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				📁	🖎	🏱	♊	🞐	⓪	❺	·	⌖	🕙	🙖	🡪	⇨
1			🖉	📂	✌	✈	♋	❑	①	❻	⚪	⌖	🕚	🙐	🡩	⇧
2			✂	📄	👌	☼	♌	❒	②	❼	🞆	✧	🕛	🙑	🡫	⇩
3			✁	🗏	👍	💧	♍	⬧	③	❽	🞈	⌑	⮰	🙒	🡬	⬄
4			👓	🗐	👎	❄	♎	⧫	④	❾	◉	⯑	⮱	🙓	🡭	⇳
5			🕭	🗄	☜	🕆	♏	◆	⑤	❿	◎	✪	⮲	⌫	🡯	⬁
6			🕮	⌛	☞	✞	♐	❖	⑥	🙢	🔿	✰	⮳	⌦	🡮	⬀
7			🕯	🖮	☝	🕈	♑	⬥	⑦	🙠	▪	🕐	⮴	⮘	🡸	⬃
8			🕿	🖰	☟	✠	♒	⌧	⑧	🙡	◻	🕑	⮵	⮚	🡺	⬂
9			✆	🖲	🖐	✡	♓	⮹	⑨	🙣	🟂	🕒	⮶	⮙	🡹	🢬
A			🖂	🖳	☺	☪	🙰	⌘	⑩	🙞	✦	🕓	⮷	⮛	🡻	🢭
B			🖃	🖴	😐	☯	🙵	🏵	⓿	🙜	★	🕔	🙪	⮈	🡼	🗶
C			📪	🖫	☹	ॐ	●	🏶	❶	🙝	✶	🕕	🙫	⮊	🡽	✔
D			📫	🖬	💣	☸	🔾	🙶	❷	🙟	✴	🕖	🙕	⮉	🡿	🗷
E			📬	✇	☠	♈	■	🙷	❸	·	✹	🕗	🙔	⮋	🡾	🗹
F			📭	✍	🏳	♉	□		❹	•	✵	🕘	🙗	🡨	⇦	⊞

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店またはサービス拠点（374ページ）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
MLカラーOHPシート	MLOHP01	専用OHPシート
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4BK1	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4BY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4BM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4BC1	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C4BK	イメージドラムカートリッジ トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C4BY	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C4BM	
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C4BC	
ベルトユニット	MLBLT-C4B	ベルトユニット
定着器ユニット	MLFUS-C4B	定着器ユニット
ML64MB増設メモリ	MLMEM64C	増設メモリ（64MB）
内蔵ハードディスク	MLHDD-C2A	内蔵ハードディスク（10GB）
セカンドトレイユニット	MLTRY-C4B1	セカンドトレイユニット
両面印刷ユニット	MLDXU-C4B	両面印刷ユニット
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア

- 消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0～35˚C、湿度：20～85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップ印刷で「JobAccounting : ON」と印刷されます。

内蔵ハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量

プリントジョブアカウンティングを使用するためには、内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティション（内蔵ハードディスクを搭載しているときのみ）およびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量が以下の条件を満たす必要があります。この条件のとき、ユーザIDの登録可能数とログの保存可能数は以下のとおりです。

内蔵ハードディスク *1			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID数	保存可能ログ数
有/無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	ー	ー	500KB以上	500ID *2	約150ログ *2
有	10%以上	1.2MB以上	500KB以上	5000ID	約150ログ

*1 内蔵ハードディスクは「PCL」、「キョウツウ」および「PSE」の3つのパーティションに分割されており、出荷時または内蔵ハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL　　　=20%（2GB）
キョウツウ　=50%（5GB）
PSE　　　=30%（3GB）

*2 内蔵ハードディスクを搭載していない場合は、ユーザIDとログは保存領域が同じため、両方の最大値まで保存できるわけではありません。

付録

最大登録可能なユーザID数、および最大保存可能ログ数と必要なメモリ条件

ユーザIDの最大登録可能数およびログの最大保存可能数とそのときに必要な内蔵ハードディスクおよびフラッシュメモリのサイズは以下のとおりです。

内蔵ハードディスク			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID数	保存可能ログ数
有/無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	－	－	1.2MB以上	5000ID	約400ログ
有	10%以上	20MB以上	500KB以上	5000ID	約5000ログ

メモ　プリントジョブアカウンティングで「ログを格納するのに十分な領域がありません。」とエラーが表示された場合は以下を行ってください。

- 内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確認します。空き容量を確認する方法は、「内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）」（227ページ）をご覧ください。
- 上記の内蔵ハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量を満たしていない場合は、内蔵ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確保します。空き容量を確保する方法は、「内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保したい」（228ページ）をご覧ください。

付録

課金額の定義の追加

本プリンタの各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。

❶ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

❷ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［ファイル名を指定して実行］を選択します。

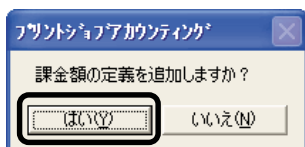
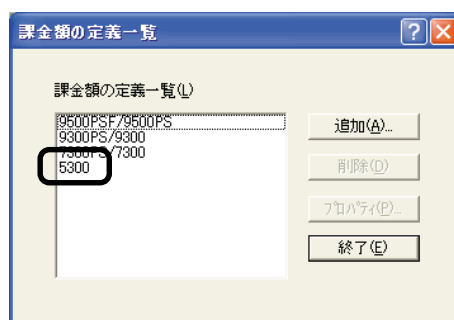
❹ ［名前］に「D:¥UTILITY¥PRINTJA¥CPADD」(CD-ROM ドライブがD: のとき）を入力し、［OK］をクリックします。

❺ 確認画面で［はい］をクリックします。

❻ 完了画面で［はい］をクリックします。

❼ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

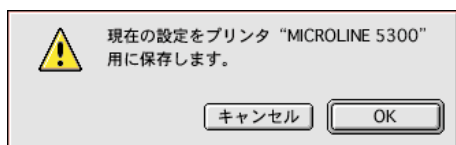
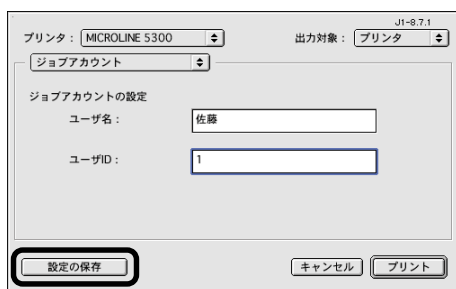
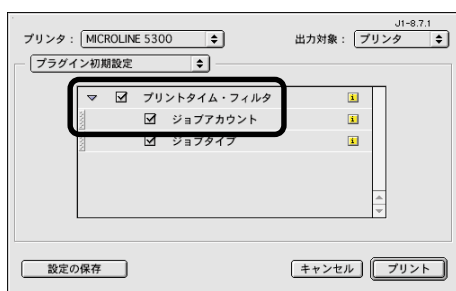
❽ ［プリンタ］メニューから［課金額の定義］を選択します。

❾ 課金額の定義一覧に「5300」が追加されていることを確認します。

課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法

Macintoshプリンタドライバでのユーザ名、ユーザIDの設定方法です。Windowsプリンタドライバでの設定方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

- ML5300 では、Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法が「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」に記述された方法と異なります。
- 設定しないで印刷した場合、ユーザ名は空白、ユーザ ID は 0 でログに残ります。
- Mac OS X プリンタドライバはユーザ名、ユーザ ID を設定することができません。ユーザ名は空白、ユーザ ID は 0 でログに残ります。

Macintosh プリンタドライバ

❶ ［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント］を選択します。

❷ ［プラグイン初期設定］パネルで［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブアカウント］にチェックを付けます。

❸ ［ジョブアカウント］パネルでユーザ名、ユーザIDを設定し、［設定の保存］をクリックします。

❹ ［OK］をクリックします。

❺ ［キャンセル］をクリックし、ダイアログを閉じます。

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは､「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは 03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

■西日本地区（東海・北陸以西）での修理のご依頼をお受けします。

西日本 OA コールセンタ（大阪）　0120-003-544

（携帯電話からは 06-6459-0111）

受付時間　9 : 00 ～ 17 : 30 月曜日～金曜日
(但し　祝日を除く)

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　）

コンピュータ環境

☐Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☐Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐パラレル　☐USB　☐ネットワーク

☐TCP/IP　☐IPX/SPX　☐EtherTalk　☐NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：☐正常　☐印刷できない

他のコンピュータからの印刷　　：☐正常　☐印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くのサービス拠点へお電話でご連絡ください。

(株)沖北海道サービス(札幌)	〒060-0001	札幌市中央区北一条西9-3-27(第3古久根ビル)	011-261-3261
(株)沖東北サービス(仙台)	〒980-0802	仙台市青葉区二日町3-10(グランシャリオビル3F)	022-212-5167
(株)沖情報機器サービス(新潟)	〒950-0082	新潟市東万代町1-30 (新潟第一生命戸田建設共同ビル)	025-241-6838
(株)沖関東サービス(秋葉原)	〒111-0052	台東区柳橋2-19-6(秀和柳橋ビル9F)	03-3865-6599
(株)沖北関東サービス(新宿)	〒160-0022	新宿区新宿2-19-1(ビックス新宿ビル3F)	03-3225-3131
(株)沖中部サービス(名古屋)	〒453-0861	名古屋市中村区岩塚本通2-1-2(MSビル2F)	052-413-6510
(株)沖電気カスタマアドテック(金沢)	〒921-8163	金沢市横川7-35-1(大洋不動産ビル7F)	076-242-3300
(株)沖関西サービス(大阪)	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-4-12(本町富士ビル)	06-6459-0120
(株)沖中国サービス(広島)	〒731-0138	広島市安佐南区祇園2-9-31	082-871-2601
(株)沖四国サービス(高松)	〒761-8058	高松市勅使町632-4	087-868-3040
(株)沖九州サービス(福岡)	〒815-0035	福岡市南区向野2-9-21	092-512-4197

※各サービス拠点の住所、電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。
※弊社ホームページでは最新の住所、電話番号を記載しておりますので、こちらもご覧ください。
　http://www.okidata.co.jp

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

このプリンタは重量が約25Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

付録

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下記用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 024-594-2798

沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日時　：　　　年　　月　　日　　午前／午後　　　時

回収依頼品

品名		数量
イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
EPトナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

索　引

索引

数字

A

B

C

D

E

F

I

L

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

索引

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ヘ

ホ

ラ

リ

レ

ロ

ワ

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 5300
ユーザーズマニュアル（リファレンス編）

発行日　2004年　7月　第5版
発行者　株式会社 沖データ

42424402EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。